

令和3年度決算

---

# 主要施策成果報告書

## 第六次鳴門市総合計画 実施計画

令和3年(2021年)度～令和5年(2023年)度  
実績兼評価シートまとめ

---



鳴門市

---

# 目 次

---

## 1. 主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和3年度実績及び令和4年度行政評価について

(1) 主要施策成果報告書	・・・	1
(2) 鳴門市総合計画実施計画 令和3年度実績	・・・	1
(3) 令和4年度 鳴門市行政評価	・・・	2
(4) 総合計画体系図	・・・	3
(5) 成長戦略	・・・	5

## 2. 令和3年度決算の概要

(1) 各会計の決算額の状況	・・・	7
(2) 普通会計決算の概要	・・・	8
① 普通会計決算規模等	・・・	8
② 各種財政指標の推移	・・・	11

## 3. 実施計画兼評価シート

(1) 実施計画兼評価シートの見方	・・・	12
(2) 事業一覧表【組織機構順】	・・・	14
(3) 各実施計画兼評価シート		
① 企画総務部		
② 市民生活部		
③ 環境共生部		
④ 健康福祉部		
⑤ 都市建設部		
⑥ 産業振興部		
⑦ 消防本部		
⑧ 企業局		
⑨ 教育委員会		

【参考】令和3年度決算における入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

---

# 1.主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和3年度実績及び令和4年度行政評価について

---

## (1) 主要施策成果報告書

地方自治法第233条第5項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第六次鳴門市総合計画に基づき、令和3年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

## (2) 鳴門市総合計画実施計画 令和3年度実績

本市では、第六次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、向こう3か年の具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和3年度末時の進捗状況をまとめたものである。

### ◆推進体制

#### ①事務事業担当部署による内部評価

事業担当課による総合計画実施計画兼評価シートの作成。

#### ②総合計画策定委員会による内部評価

総合計画実施計画兼評価シートを、策定委員会にて審議し、内部評価の最終決定とする。

#### ③総合計画審議会による外部評価

策定委員会を経て、総合計画審議会にて外部の視点からの評価を受ける。

#### ④市議会への報告による外部評価

市議会においての外部評価を受ける。

#### ⑤最終的な評価の決定

策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

### (3) 令和4年度 鳴門市行政評価

#### ◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方にに基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

#### <鳴門市行政評価の4つのねらい>

- ①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
- ②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
- ③事業の効果的で効率的な執行
- ④職員の意識改革による政策形成能力の向上

#### ◆令和4年度実施方針

- ① 公正の確保と透明性向上のため市民との情報の共有化を推進する。
- ② 鳴門市自治基本条例第25条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
- ③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
  - i 評価の対象：事務事業
  - ii 評価の機関：内部
  - iii 評価の時期：令和3年度に実施した事務事業に対する事後評価

#### ◆評価対象となる事務事業

令和3年度総合計画実施計画（R3-5）に掲載されている事務事業

131事業

#### ◆令和5年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和5年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

#### ◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

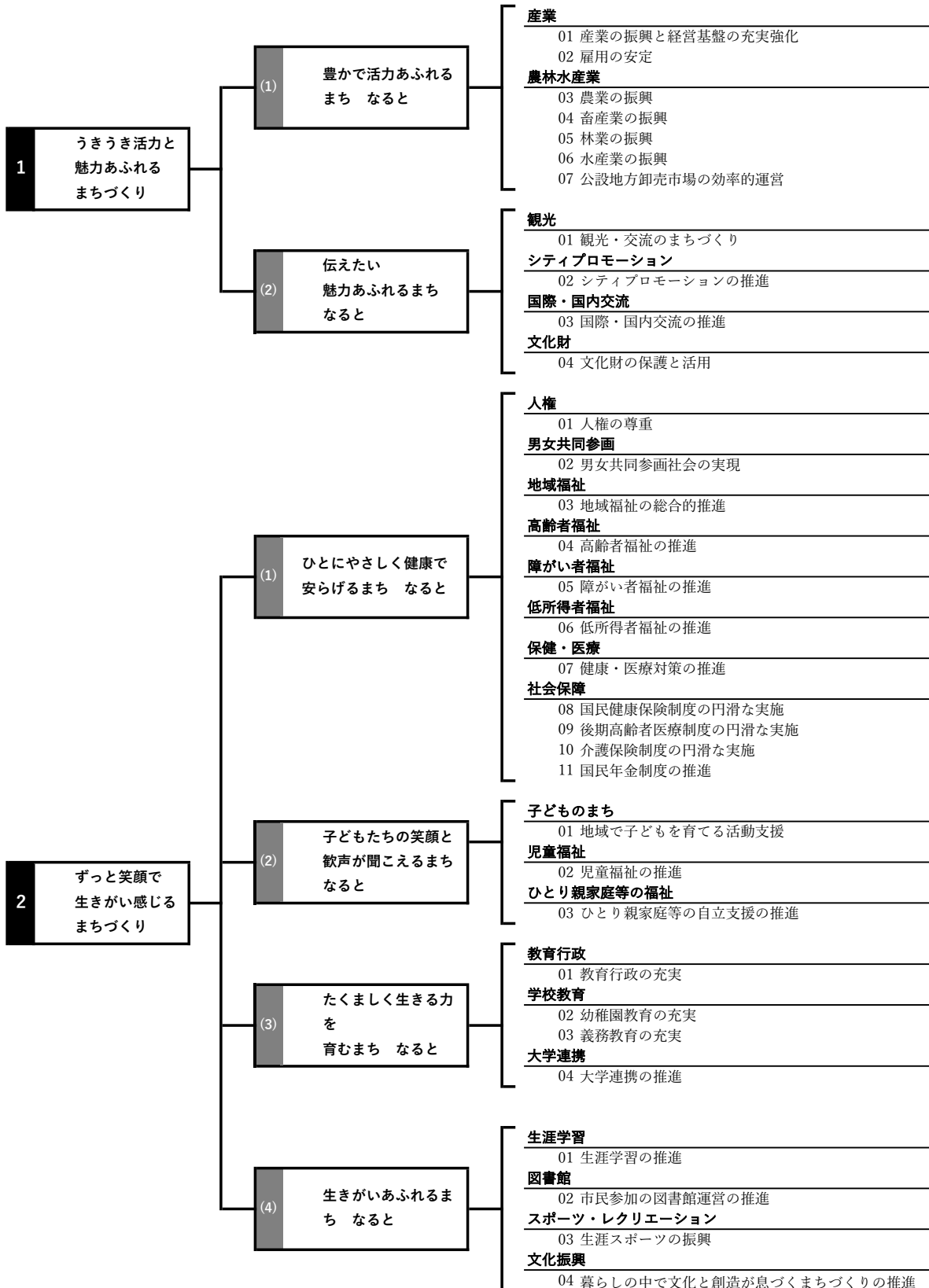
将来都市像

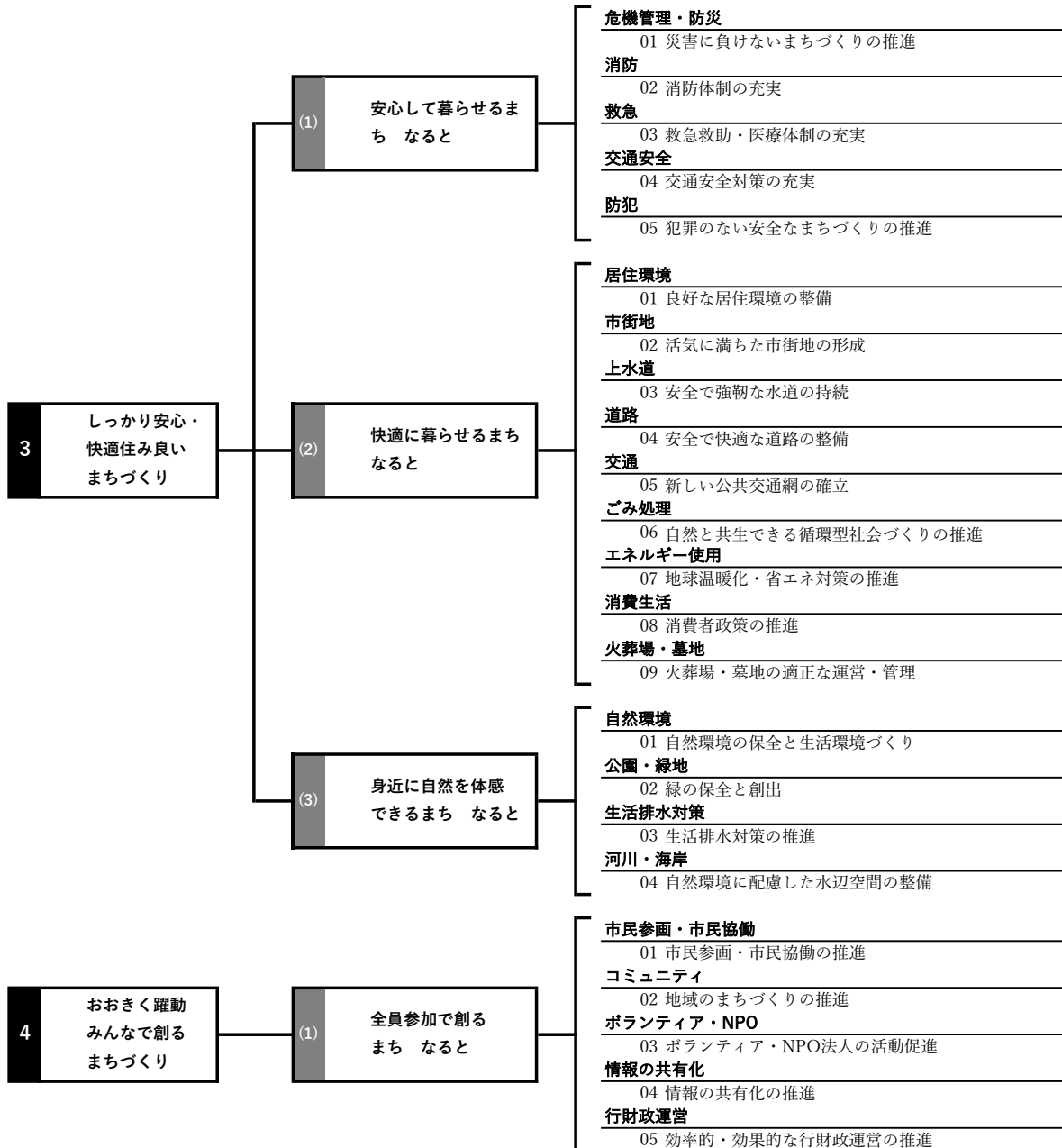
結びあう絆が創る 笑顔と魅力うずまく鳴門

【基本政策(大項目)】

【政策(中項目)】

【小項目・施策】





## (5) 成長戦略

### 戦略1 地域の資源を活かし市民が誇れる 魅力づくり

～地域の魅力があふれるまち なる～

#### 1 ブランド力の向上

##### 1 鳴門の魅力づくり

- ① 鳴門海峡の渦潮の世界遺産化推進
- ② 観光ブランドづくり
- ③ 農水産物のブランド化の推進
- ④ アジア初演「なる」と第九」ブランド化プロジェクトの推進
- ⑤ 四国八十八箇所霊場と遍路道、世界遺産化への協力

##### 2 鳴門の魅力発信

- ① 「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション
- ② イメージアップの推進
- ③ 鳴門ブランドの情報発信強化

##### 3 イベント等の活用

- ① 鳴門市阿波おどり・花火大会のさらなる活性化
- ② 民間事業者との連携強化
- ③ 大型イベント等の誘致・開催の検討

#### 2 誘客の促進とにぎわいと交流の創出

##### 1 基盤整備

- ① 鳴門駅周辺の整備
- ② 外国人観光客の誘客促進
- ③ 文化財の保護と活用
- ④ 公園の整備

##### 2 誘客の促進

- ① 体験型・滞在型観光の振興
- ② にぎわいと交流の創出
- ③ 国際・国内交流の推進
- ④ コンベンションの誘致

### 戦略2 住んでみたい 住み続けたいまちづくり

～だれもが満足するまち なる～

#### 1 いきいきと働くことができるまちづくり

##### 1 新たな産業の創出

- ① まちづくりエリア活用による雇用創出
- ② 企業誘致の推進
- ③ 新たなビジネス展開
- ④ 農漁業における新たな商品開発と六次産業化の推進

##### 2 市内産業の振興

- ① エコノミックガーデニングの推進
- ② ブランド産地生産増進対策
- ③ 農業の高度化
- ④ 農業・漁業経営の安定化
- ⑤ ふるさと納税を活用した地場産品のPR
- ⑥ 広域連携による産業振興
- ⑦ 道の駅の活用と設置の検討

##### 3 雇用支援と後継者対策

- ① 市内企業への就職支援
- ② 農漁業の後継者対策

#### 2 住み心地の良いまちづくり

##### 1 移住者への支援

- ① 移住交流の促進
- ② 政府関係機関の誘致及び企業本社機能の移転誘致

##### 2 社会資本等の整備

- ① 危機管理・防災体制の強化
- ② 消防・救急体制の充実
- ③ 道路の整備・維持管理
- ④ 公共下水道事業の推進と水洗化率の向上
- ⑤ 合併処理浄化槽の普及促進
- ⑥ 浸水対策の実施
- ⑦ 安心・快適な給水の確保

##### 3 住環境の整備

- ① 公共交通機関の確保と整備
- ② 住宅ストックの有効活用
- ③ 住宅のリフォーム支援の実施
- ④ 木造住宅の耐震診断支援・改修支援の実施
- ⑤ 空き家の適正管理及び除却の促進
- ⑥ 都市計画マスタープランの推進
- ⑦ 商店街等の基盤強化
- ⑧ 公共施設等総合管理の検討
- ⑨ 地域医療を考える医療連携強化（鳴門病院等）

##### 4 循環型社会の形成

- ① 循環型社会への取り組み
- ② 地球温暖化・省エネ対策の推進

## 戦略3 健やかで元気に笑顔あふれる ひとづくり

～一人ひとりが主役のまち なんと～

### 1 健やかで元気に 笑顔あふれる ひとづくり

#### 1 恋愛・出産の支援

- ① 恋活・婚活の支援
- ② 妊産婦健康管理事業
- ③ 出産前の子育てサポート

#### 3 保護者への支援

- ① 子どもの医療費助成
- ② 女性子ども支援センター事業の推進
- ③ 子育て施策のPR
- ④ 保育料の軽減

#### 5 市民の健康づくり

- ① 健康なると21の推進
- ② がん検診の実施
- ③ 特定健診・特定保健指導の推進
- ④ 国民健康保険被保険者に対する保健事業の実施

#### 2 子育ての環境支援

- ① 子ども・子育て支援事業計画の推進
- ② 子育て相談・支援のワンストップ窓口の設置
- ③ 子どものまちな推進

#### 4 仕事と子育ての両立支援

- ① 保育所・認定こども園における子どもの発達支援
- ② 民間保育施設の施設整備への支援
- ③ 保育環境のさらなる充実
- ④ 健診・発達相談の実施
- ⑤ 幼児教育の推進
- ⑥ 児童クラブでの児童の預かり支援

#### 6 福祉サービスの充実

- ① 高齢者福祉の推進
- ② 地域包括ケアシステムの構築
- ③ 障がい者福祉の推進

### 2 鳴門のまちを担う ひとづくり

#### 1 教育の充実

- ① 教育行政の充実
- ② 就学前教育の充実
- ③ 義務教育の充実
- ④ 校種間連携の充実
- ⑤ 小中学校における学力向上の取り組み

#### 3 生きがいづくり

- ① 生涯学習の推進
- ② 各種学級（女性・成人・高齢者学級）の開設
- ③ スポーツ活動の推進

#### 2 教育環境の充実

- ① 鳴門教育大学と連携した教育環境の整備
- ② 多様な教育環境の研究
- ③ 学校や幼稚園での防災
- ④ 幼・小・中における給食の実施
- ⑤ 学校（園）施設の耐震化及び教育環境の改善等

### 3 人が輝く仕組みづくり

#### 1 環境づくり

- ① 市民参画・協働の推進
- ② 情報の共有化の推進
- ③ 男女共同参画社会の実現

#### 2 活動の促進

- ① ボランティア・NPO法人の活動促進
- ② コミュニティビジネスの推進
- ③ 大学連携の推進



## 2. 令和3年度決算の概要

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策をはじめ、市民生活や地域活動等への支援、地域経済対策などを優先課題として取り組んだ結果、歳入歳出ともに過去最大であった令和2年度を更に上回る決算規模となった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やワクチン接種等へ迅速かつ的確に対応するため、10回にわたる補正予算を編成し、「第9弾」から「第15弾」までの緊急支援策を打ち出した。

また、ウィズコロナやアフターコロナを見据える中で、引き続き本市の将来都市像の実現に向け、「第六次鳴門市総合計画」や「なると未来づくり総合戦略2020」に基づく施策についても積極的に取り組むとともに、新庁舎整備事業や道の駅「くるくるなると」整備事業、公立保育所再編事業といった大規模事業を実施するなど、市政発展に資する事業に重点をおいて取り組んだ。

### (1) 各会計の決算額の状況

(単位：千円)

年度 会計区分	令和3年度			令和2年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	35,742,061	34,513,375	1,228,686	33,528,976	32,485,163	1,043,813
特別会計	23,289,561	22,844,095	445,466	23,030,717	22,817,651	213,066
国民健康保険事業 特別会計	7,250,255	7,188,121	62,134	7,118,012	7,061,802	56,210
後期高齢者医療 特別会計	985,253	951,575	33,678	978,847	955,467	23,380
介護保険事業 特別会計	6,903,575	6,553,921	349,654	6,804,049	6,670,573	133,476
光熱水費等支出 特別会計	564,096	564,096	-	527,826	527,826	-
給与費等管理 特別会計	4,808,885	4,808,885	-	4,823,393	4,823,393	-
公債費管理 特別会計	2,777,497	2,777,497	-	2,778,590	2,778,590	-
合 計	59,031,622	57,357,470	1,674,152	56,559,693	55,302,814	1,256,879

## (2) 普通会計決算の概要

### ① 普通会計決算規模等

令和3年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約357億3千万円であり、前年度に比べて約22億1千万円の増となった。その主な要因については、ポートレース事業収益金（約47億円増）、市債（約8億2千万円増）、地方交付税（約6億7千万円増）などが挙げられる。

一方、歳出決算額は、約345億円であり、前年度に比べて約20億3千万円の増となっている。その主な要因は、国の施策である臨時特別給付金事業等による扶助費の増（約13億3千万円増）や、財政調整基金等への積立金の増（約11億円増）、道の駅「くるくる なると」整備事業などによる投資的経費の増（約12億6千万円増）などの影響が挙げられる。

以上の要因により、歳入決算額と歳出決算額との差引額である形式収支は約12億3千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である実質収支は約8億8千万円の黒字となった。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である単年度収支は約3千万円の黒字となっており、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である実質単年度収支は、約15億4千万円の黒字となった。

積立金残高は約91億4千万円であり、前年度に比べて約46億6千万円の増とほぼ倍増した。その一方で、地方債現在高は道の駅「くるくる なると」整備事業等の大型事業に係る借入の影響により、約276億3千万円で約7億7千万円の増、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約169億円であり約5億9千万円の増となった。

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
歳入決算額 (A)	35,732,895	33,519,827	25,988,660
歳出決算額 (B)	34,504,209	32,476,014	25,076,335
歳入歳出差引額【形式収支】 (C) (A) - (B)	1,228,686	1,043,813	912,325
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	345,554	189,658	191,182
実質収支 (E) (C) - (D)	883,132	854,155	721,143
単年度収支 (F) (E) - 前年度 (E)	28,977	133,012	▲ 9,389
財政調整基金への積立 (G)	1,810,081	713,531	423,152
地方債繰上償還金 (H)	-	-	-
財政調整基金からの取崩 (I)	300,000	1,025,927	608,463
実質単年度収支 (F) + (G) + (H) - (I)	1,539,058	▲ 179,384	▲ 194,700
積立金残高 (年度末時点)	9,142,493	4,480,417	4,019,370
地方債現在高 (年度末時点)	27,626,566	26,856,560	26,884,613
※臨時財政対策債除く	16,903,544	16,313,181	16,334,077

◆普通会計歳入決算額

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
市 税	7,194,896	20.1%	7,277,551	▲ 82,655	▲ 1.1%
地方譲与税	207,249	0.6%	203,947	3,302	1.6%
利子割交付金	7,900	0.0%	9,091	▲ 1,191	▲ 13.1%
配当割交付金	72,817	0.2%	52,545	20,272	38.6%
株式譲渡所得割交付金	75,816	0.2%	51,875	23,941	46.2%
地方消費税交付金	1,265,298	3.5%	1,174,366	90,932	7.7%
ゴルフ場利用税交付金	44,100	0.1%	38,189	5,911	15.5%
自動車税環境性能割交付金	11,490	0.0%	14,163	▲ 2,673	▲ 18.9%
法人事業税交付金	120,119	0.3%	60,302	59,817	99.2%
地方特例交付金	153,889	0.4%	40,067	113,822	284.1%
地方交付税	5,168,235	14.5%	4,498,641	669,594	14.9%
うち普通交付税	4,687,419	13.1%	4,047,821	639,598	15.8%
うち特別交付税	480,816	1.4%	450,820	29,996	6.7%
交通安全対策特別交付金	8,809	0.0%	8,475	334	3.9%
分担金及び負担金	125,659	0.4%	119,219	6,440	5.4%
使 用 料	144,800	0.4%	147,721	▲ 2,921	▲ 2.0%
手 数 料	102,672	0.3%	103,985	▲ 1,313	▲ 1.3%
国庫支出金	6,665,013	18.7%	10,425,021	▲ 3,760,008	▲ 36.1%
県支出金	2,205,379	6.2%	1,973,670	231,709	11.7%
財産収入	301,930	0.8%	312,556	▲ 10,626	▲ 3.4%
寄 附 金	418,409	1.2%	349,929	68,480	19.6%
繰 入 金	1,626,251	4.6%	2,524,264	▲ 898,013	▲ 35.6%
繰 越 金	1,043,813	2.9%	912,325	131,488	14.4%
諸 収 入	5,341,151	15.0%	612,450	4,728,701	772.1%
地 方 債	3,427,200	9.6%	2,609,475	817,725	31.3%
合 計	35,732,895	100.0%	33,519,827	2,213,068	6.6%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和2年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
義務的経費	14,785,054	42.9%	13,471,183	1,313,871	9.8%
人件費	4,809,818	13.9%	4,828,694	▲ 18,876	▲ 0.4%
扶助費	7,197,738	20.9%	5,863,877	1,333,861	22.7%
公債費	2,777,498	8.1%	2,778,612	▲ 1,114	▲ 0.0%
物件費	3,765,736	10.9%	3,385,655	380,081	11.2%
維持補修費	405,397	1.2%	355,631	49,766	14.0%
補助費等	2,232,783	6.5%	7,684,754	▲ 5,451,971	▲ 70.9%
うち水道事業会計への繰出金	2,304	0.0%	216,740	▲ 214,436	▲ 98.9%
うちモーターボート競走 事業会計への繰出金	2,136	0.0%	1,328	808	60.8%
うち下水道事業会計への繰出金	451,256	1.3%	477,188	▲ 25,932	▲ 5.4%
積立金	6,085,603	17.6%	1,780,124	4,305,479	241.9%
うち財政調整基金への積立金	1,810,081	5.2%	713,531	1,096,550	153.7%
うち減債基金への積立金	1,670,146	4.8%	400,276	1,269,870	317.2%
投資及び出資金・貸付金	117,412	0.3%	39,709	77,703	195.7%
繰出金	2,845,530	8.2%	2,753,724	91,806	3.3%
投資的経費	4,266,694	12.4%	3,005,234	1,261,460	42.0%
うち普通建設事業費	4,266,694	12.4%	3,005,234	1,261,460	42.0%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合 計	34,504,209	100.0%	32,476,014	2,028,195	6.2%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和2年度 B	差引増減額 A - B = C	増減率 C / B × 100
	A	構成比			
議 会 費	226,017	0.7%	226,125	▲ 108	▲ 0.0%
総 務 費	10,256,420	29.7%	10,547,208	▲ 290,788	▲ 2.8%
民 生 費	11,260,523	32.6%	9,538,805	1,721,718	18.0%
衛 生 費	2,803,568	8.1%	2,486,291	317,277	12.8%
労 働 費	662	0.0%	357	305	85.4%
農 林 水 産 業 費	574,204	1.7%	472,664	101,540	21.5%
商 工 費	690,191	2.0%	389,728	300,463	77.1%
土 木 費	2,409,399	7.0%	2,084,788	324,611	15.6%
消 防 費	822,519	2.4%	948,687	▲ 126,168	▲ 13.3%
教 育 費	2,681,072	7.8%	3,001,421	▲ 320,349	▲ 10.7%
災 害 復 旧 費	-	-	-	-	-
公 債 費	2,777,498	8.0%	2,778,612	▲ 1,114	▲ 0.0%
諸 支 出 金	2,136	0.0%	1,328	808	60.8%
合 計	34,504,209	100.0%	32,476,014	2,028,195	6.2%

② 各種財政指標の推移

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
<b>経常収支比率</b> （財政構造の弾力性。低いほど良い）	93.9%	97.3%	96.7%
<b>財政力指数（3カ年平均）</b> （財政力の強さ。高いほど良い）	0.62	0.64	0.65
<b>実質収支比率</b> （財政の健全性。3～5%が望ましい）	6.2%	6.2%	5.4%
<b>実質公債費比率（3カ年平均）</b> （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	12.5%	13.2%	14.0%
<b>将来負担比率</b> （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	87.6%	127.7%	128.1%

---

## 3.実施計画兼評価シート

---

### (1) 実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和3年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

#### ①【計画ベース】の見方

##### i 基本情報について

新規事業又は継続事業の別や総合計画体系中の分類など、事業の基本的な情報を示している。

##### ii 事業概要について

事業の目的・指針・内容等を示したもの。

また、事業の評価指標となる、成果指標等の目標値を示している。

##### iii 事業費について

事業費を示している。

なお、令和4年度及び令和5年度の事業費については、「第六次鳴門市総合計画実施計画令和4年（2022年）度～令和6年（2024年）度」に記載している事業費を示している。

##### iv 当初からの変更点について

補正予算などにより当初予算額から変更があった場合に、その内容を示している。

#### ②【実績ベース】の見方

##### i 実施結果について

令和3年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。

なお、「事業費推移」中の「最終事業費」については、「決算額（前年度からの繰越額含む）」と「令和4年度への繰越額」の合計額を示したもの。

## ii 進捗状況欄の評価区分について

令和3年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。

なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

### (1) 前倒し実施

次年度以降の目標を前倒して達成したもの

### (2) 計画どおり

当初の予定どおり、目標や計画内容が達成に向かっているもの

### (3) ほぼ計画どおり

当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

### (4) 遅れている（事業全体の進捗状況欄のみに適用）

当初の予定より達成状況が下回っており、目標や計画内容の達成が困難と見込まれるもの

### (5) 未達成

取り組み目標や計画内容が達成できなかったもの

### (6) 未着手

計画内容に着手できなかったもの

## iii 成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(100%以上のもの)

B:おおむね目標を達成できた(70%以上のもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(50%~70%間のもの)

D:目標を達成出来なかった(50%未満のもの)

## iv 今後の方向性について

令和3年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう2年間の事業の方向性を下記の5区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が概ね適切であるもの。

4.現状維持(新型コロナ)：令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止又は縮小実施となったが、今後も事業を継続することで、目的を達成することが期待できるもの。

5.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大又は充実すべきもの。

(2) 掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	131事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	65事業
ほぼ計画どおり	60事業
未達成	5事業
未着手	0事業
完了	1事業
終了	0事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	66事業	廃止	0事業
B	36事業	要改善	0事業
C	14事業	現状維持	65事業
D	14事業	現状維持(新型コロナ)	40事業
-	1事業	拡充	25事業
		令和3年度完了(終了)事業	
		1事業	

No.	担当課	事務事業名	R3年度事業費 計画ベース (単位:円)	R3年度事業費 決算額 (単位:円)	今年度の進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性
1	行革デジタル推進本部	電子自治体情報化戦略推進事業	-	-	計画どおり	A	現状維持
2	総務課	情報公開・個人情報保護事務	8,778,000	8,209,164	ほぼ計画どおり	B	拡充
3	総務課・行革デジタル推進本部	電子申請等共同受付システム構築事業	576,000	575,672	計画どおり	A	現状維持
4	契約検査室	入札改革推進事業	2,843,000	2,544,600	計画どおり	A	現状維持
5	人事課	職員人財育成研修事業	8,044,000	8,425,067	計画どおり	B	現状維持
6	税務課	市税徴収率向上対策事業	6,676,000	6,633,202	計画どおり	A	現状維持
7	秘書広報課	広報活動の充実	13,724,000	13,182,950	計画どおり	A	拡充
8	秘書広報課	イメージアップ戦略推進事業	1,535,000	1,526,008	計画どおり	A	拡充
9	戦略企画課	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	1,055,000	768,478	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
10	戦略企画課	サイクリングツーリズム推進事業	3,439,000	1,969,437	ほぼ計画どおり	B	現状維持
11	戦略企画課	地域婚活支援事業	800,000	25,000	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
12	戦略企画課	公共交通対策事業	166,548,000	165,163,187	計画どおり	A	現状維持
13	戦略企画課	総合戦略推進事業(鳴門市の未来を担う人材育成)	9,400,000	9,400,000	計画どおり	A	現状維持
14	戦略企画課	「ふるさと納税寄附金」等推進事業(地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業)	259,614,000	240,319,940	計画どおり	A	拡充
15	戦略企画課・特定事業推進課	四国のゲートウェイ推進事業(道の駅整備)	1,787,140,000	1,531,392,313	計画どおり	A	現状維持
16	特定事業推進課	新庁舎整備事業	508,837,000	265,527,099	ほぼ計画どおり	B	現状維持
17	危機管理課	地震等災害対策普及啓発事業	8,525,000	2,069,900	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
18	危機管理課	新型コロナウイルス感染症対策事業	4,685,000	3,997,554	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
19	危機管理課	自主防災組織活動促進事業	5,713,000	4,986,508	ほぼ計画どおり	A	現状維持
20	危機管理課	災害用備蓄事業	8,907,000	7,284,418	計画どおり	A	現状維持
21	危機管理課	ハザードマップ作成・見直し事業	16,610,000	16,610,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
22	市民協働推進課	消費者相談窓口充実事業	7,917,000	5,700,077	ほぼ計画どおり	B	現状維持
23	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	3,919,000	2,196,280	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
24	市民協働推進課	自治振興会連携促進事業	11,004,000	10,789,020	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
25	市民協働推進課	コミュニティ助成事業	2,500,000	2,500,000	計画どおり	A	現状維持
26	スポーツ課	「頑張れ!徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	7,890,000	3,039,874	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
27	スポーツ課	スポーツ大会・合信誘致推進事業	3,327,000	3,100,800	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
28	スポーツ課	市民総参加型スポーツイベント実施事業	300,000	300,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
29	スポーツ課	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	1,800,000	1,800,000	計画どおり	A	現状維持
30	文化交流推進課・学校教育課	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	2,464,000	2,300,500	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
31	文化交流推進課・ドイツ館	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	1,588,000	1,287,390	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
32	文化交流推進課・観光振興課	国際・国内交流事業	419,000	260,624	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
33	文化交流推進課	文化振興事業	3,057,000	2,056,028	ほぼ計画どおり	B	現状維持
34	文化交流推進課	ドイツ村公園トイレ整備事業	14,700,000	11,110,484	計画どおり	A	現状維持
35	文化交流推進課	福永家住宅・塩田保存活用事業	2,991,000	2,820,334	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
36	文化交流推進課	史跡等地域文化財保存活用事業	8,590,000	8,585,342	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
37	環境政策課	環境学習推進事業	974,000	628,360	ほぼ計画どおり	B	現状維持
38	環境政策課	地球温暖化対策実行計画推進事業	234,000	218,600	計画どおり	A	拡充
39	環境政策課	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業	317,000	309,750	未達成	D	拡充
40	環境政策課	いぬねこ愛護推進事業	1,211,000	1,150,500	ほぼ計画どおり	B	拡充
41	環境政策課	水域環境改善・浄化対策事業	2,720,000	1,830,005	ほぼ計画どおり	C	現状維持
42	クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ減量対策事業	58,958,000	51,444,075	ほぼ計画どおり	B	現状維持
43	クリーンセンター廃棄物対策課	資源ごみ対策事業	13,395,000	10,482,102	ほぼ計画どおり	A	現状維持
44	クリーンセンター廃棄物対策課	不法投棄監視市民パトロール支援事業	346,000	65,000	計画どおり	A	現状維持
45	保険課	国民健康保険料収納対策事業	7,937,000	6,147,910	計画どおり	A	現状維持
46	保険課	国保健事業	26,739,000	21,922,264	計画どおり	B	現状維持
47	保険課	特定健診・特定保健指導事業	57,575,000	43,331,501	ほぼ計画どおり	B	現状維持
48	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	1,339,000	1,049,842	ほぼ計画どおり	B	現状維持
49	健康増進課	がん検診事業	21,000,000	18,861,765	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
50	健康増進課	子育て世代支援事業(鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)	45,370,000	36,981,515	計画どおり	A	拡充
51	健康増進課	子どもの発達支援事業	1,176,000	873,198	計画どおり	A	現状維持
52	健康増進課	救急医療対策事業	14,175,000	13,978,731	計画どおり	B	現状維持
53	健康増進課	地域医療連携強化事業	165,659,000	150,007,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
54	長寿介護課	高齢者無料バス優待事業	6,308,000	5,901,700	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
55	長寿介護課	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	223,161,000	184,265,175	ほぼ計画どおり	A	拡充
56	長寿介護課	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)	137,652,000	114,467,510	計画どおり	A	現状維持
57	長寿介護課・社会福祉課	避難行動要支援者登録制度推進事業	1,540,000	1,286,925	ほぼ計画どおり	B	現状維持
58	人権推進課	人権啓発推進事業	466,000	303,280	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
59	人権推進課	男女共同参画推進事業	337,000	188,527	計画どおり	A	現状維持
60	人権推進課	女性子ども支援事業	13,574,000	11,765,675	計画どおり	A	現状維持
61	人権福祉センター	人権文化祭開催事業	1,277,000	832,649	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
62	社会福祉課	地域生活支援事業	94,794,000	84,538,201	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
63	社会福祉課	心身障がい者等無料バス優待事業	1,677,000	1,268,750	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
64	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	42,241,000	31,953,635	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
65	子どもいきいき課	子どものまちな推進事業	40,000	800	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
66	子どもいきいき課	放課後児童健全育成事業	136,824,000	131,783,180	計画どおり	B	拡充
67	子どもいきいき課	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)	507,000	339,428	計画どおり	B	現状維持
68	子どもいきいき課	保育士人材確保推進事業	14,262,000	10,696,250	計画どおり	A	現状維持
69	子どもいきいき課	地域子育て支援拠点事業(民間施設活用)	14,542,000	14,542,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
70	子どもいきいき課	ファミリーサポートセンター事業	9,599,000	9,599,000	ほぼ計画どおり	A	現状維持



No.	担当課	事務事業名	R3年度事業費 計画ベース (単位:円)	R3年度事業費 決算額 (単位:円)	今年度の進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性
71	子どもいきいき課	子どもの居場所づくり推進事業	1,939,000	707,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
72	まちづくり課	住宅ストックの有効活用	52,883,000	52,882,500	計画どおり	A	現状維持
73	まちづくり課	木造住宅耐震化促進事業	42,502,000	25,300,414	ほぼ計画どおり	B	拡充
74	まちづくり課	住宅安心リフォーム支援事業	9,015,000	8,361,336	計画どおり	A	拡充
75	まちづくり課	空家等対策事業	19,259,000	16,875,000	計画どおり	A	拡充
76	まちづくり課	都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定	13,794,000	13,794,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
77	土木課	排水機場樋門整備事業	376,987,000	338,065,500	計画どおり	A	現状維持
78	土木課	道路維持補修事業	143,811,000	143,825,900	計画どおり	A	拡充
79	土木課	道路橋梁長寿命化事業	431,109,000	333,144,010	計画どおり	A	拡充
80	土木課	河川改良事業	104,626,000	104,480,500	ほぼ計画どおり	B	現状維持
81	下水道課	公共下水道維持管理事業(雨水)	100,340,000	15,027,440	ほぼ計画どおり	A	現状維持
82	下水道課	公共下水道整備事業(汚水)	595,803,000	309,345,381	ほぼ計画どおり	B	現状維持
83	下水道課	下水道普及促進事業	12,000,000	8,781,000	計画どおり	A	拡充
84	下水道課	合併処理浄化槽普及促進事業	16,993,000	12,031,977	計画どおり	A	拡充
85	公園緑地課	ドイツ村公園整備事業	2,557,000	1,870,850	計画どおり	A	現状維持
86	公園緑地課	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	4,168,000	88,000	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
87	商工政策課	地域経済活性化推進事業(エコノミックガーデニング)	7,867,000	3,865,336	計画どおり	A	現状維持
88	商工政策課	地場産品振興対策事業	1,076,000	779,294	ほぼ計画どおり	C	現状維持
89	商工政策課	就職マッチング事業	673,000	630,300	計画どおり	A	現状維持
90	商工政策課	企業誘致推進事業	20,411,000	18,049,344	計画どおり	A	拡充
91	商工政策課	移住交流支援事業	1,982,000	221,743	計画どおり	A	拡充
92	商工政策課	中心市街地活性化推進事業	1,100,000	400,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
93	観光振興課	なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)	3,000,000	2,062,640	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
94	観光振興課	阿波踊り振興事業	15,545,000	-	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
95	観光振興課	観光ボランティアガイド育成事業	300,000	300,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
96	観光振興課	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	2,674,000	1,980,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
97	観光振興課	広域観光推進事業	3,240,000	3,240,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
98	観光振興課	コンベンション誘致支援事業	2,000,000	560,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
99	観光振興課	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業	22,875,000	22,792,935	計画どおり	-	現状維持
100	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業(イベント開催支援等)	5,309,000	3,542,008	ほぼ計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
101	農林水産課	鳴門ブランドの強化	46,753,000	45,785,554	計画どおり	A	拡充
102	農林水産課	コウノトリブランド推進事業	3,448,000	1,206,854	ほぼ計画どおり	A	拡充
103	農林水産課	連携型の六次化(産直市・道の駅との連携)	1,825,000	841,750	ほぼ計画どおり	A	拡充
104	農林水産課	多面的機能支払交付金事業	48,959,000	48,958,223	ほぼ計画どおり	B	現状維持
105	農林水産課	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)	4,056,000	3,623,146	計画どおり	A	現状維持
106	水産振興室	海面環境保全推進事業	1,608,000	1,517,551	ほぼ計画どおり	C	拡充
107	水産振興室	ブランド産地推進事業(水産)	12,582,000	11,972,234	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
108	消防総務課	消防団車両・資機材等整備事業	28,399,000	27,908,430	計画どおり	A	現状維持
109	消防総務課	消防団安全装備品整備事業	8,724,000	7,255,180	計画どおり	A	現状維持
110	消防総務課	消防施設耐震化推進事業	66,896,000	64,827,400	ほぼ計画どおり	A	拡充
111	警防課	救急救命士等養成事業	3,076,000	3,034,262	計画どおり	A	拡充
112	水道企画課	水道事業経営基盤強化推進事業	-	-	計画どおり	A	現状維持
113	水道事業課・浄水場	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	289,245,000	289,245,000	計画どおり	A	現状維持
114	ポートルース企画課・ポートルース事業課	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	-	-	計画どおり	A	現状維持
115	教育総務課	地場産品の活用と食育の推進事業	40,000	16,620	計画どおり	A	現状維持
116	教育総務課	学校安全施設整備事業	28,246,000	28,239,008	計画どおり	A	現状維持
117	教育総務課	小中学校特別教室等空調設備整備事業	257,799,000	233,904,500	完了	A	-
118	学校教育課	学校づくり計画推進事業	2,141,000	1,464,932	ほぼ計画どおり	B	現状維持
119	学校教育課	幼児教育支援センター事業	120,000	100,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
120	学校教育課	一時預かり事業	54,261,000	47,772,929	計画どおり	A	現状維持
121	学校教育課	学力向上対策推進事業	2,786,000	2,390,533	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
122	学校教育課	特別支援教育推進事業	46,815,000	45,104,614	計画どおり	A	現状維持
123	学校教育課	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	396,000	328,469	計画どおり	A	現状維持
124	学校教育課	学園都市化構想連携協力推進事業	441,000	129,235	計画どおり	A	現状維持
125	教育支援室	外国語教育推進事業	8,286,000	7,288,604	ほぼ計画どおり	B	現状維持
126	教育支援室	GIGAスクール構想推進事業	31,129,000	29,722,765	計画どおり	A	現状維持
127	生涯学習人権課	人権教育推進事業	2,483,000	2,331,826	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
128	生涯学習人権課	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業	530,000	380,774	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
129	生涯学習人権課	公民館活用推進事業	29,856,000	29,185,963	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
130	生涯学習人権課	放課後子供教室推進事業	6,583,000	5,406,931	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
131	図書館	NPO法人との協働による図書館運営事業	27,699,000	27,698,400	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
	合計	131事業	7,044,861,000	5,719,917,986			



---

# 各実施計画兼評価シート

---

企 画 総 務 部



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業	担当部署	行革デジタル推進本部			
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成	24	年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと						
(小項目)		行財政運営			終期	未定		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進						
基本事業	5	ICTを活用した行政運営の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	情報化による業務の高度化や効率化を推進するため、鳴門市情報化計画「第5次なんとe-プラン」に基づき、情報システムの全体最適化等を図る。							
実施方針	①情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②全庁的な視点による効果的なICT投資の推進を行う。							
事業内容(R3)	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努める。							
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目(事業)数	72	未定	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	100	100	100	100	100	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②基幹業務システム更新 ③庁内ネットワーク端末更新	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②ペーパーレス会議システム導入	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②自治体向け申込み・アンケートフォーム及びビジネスチャット導入	情報化投資の一元管理体制の徹底	情報化投資の一元管理体制の徹底		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	—	—	—	—	—

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図った。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努めた。 ③自治体向け申込み・アンケートフォームの導入により、各種申込みや市民向けアンケート等について、パソコンやスマートフォン等を用いて、オンラインで利用いただける環境構築を進め、市民の利便性向上を図るとともに、行政内部の事務手続き等についてもデジタル化を進め、事務改善・効率化を図った。 ④自治体向けビジネスチャットの導入により、災害時やテレワーク時における職員間の連絡手段の確保や平常時における職員間のコミュニケーションの強化及び事務改善・効率化を図った。						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目(事業)数	48	48	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	0	0	0	0	0		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		成果指標に対する所見	全庁的な視点での情報化投資の推進を図るとともに、自治体向け申込み・アンケートフォーム及びビジネスチャットの導入についても予定通り完了した。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各業務システム間の情報連携が重要になっている状況であることから、今後も引き続き、情報化投資の一元管理体制の徹底を図り、全庁的な視点での効果的な情報化投資の推進に努める必要がある。また、国においてデジタル改革に向けた動きが加速している中、本市においても、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用することで、市民の利便性向上や業務の効率化に繋げていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①本市が目指すDX推進の目的を明らかにし、具体的な取り組み内容や目標を掲げた「鳴門市DX推進計画(仮称)」を策定する。 ②AI議事録作成支援システムの導入により、業務の効率化を図る。 ③情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。			
	令和5年度	①「鳴門市DX推進計画(仮称)」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。 ②情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.2

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務	担当部署	企画総務部 総務課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市情報公開条例・鳴門市個人情報保護条例 鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成 14 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定
(小項目)		情報の共有化					
施策	4	情報の共有化の推進					
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努める。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催			①公文書の開示手続の円滑な執行に努めるとともに、不服申立て等に対し、情報公開・個人情報保護審査会を開催する。 ②文書量の削減を含めた現行のファイリングシステムの見直しを図る文書管理制度の再構築を行う。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	情報公開開示請求件数	163	103	-	-	-	件
	2	保有個人情報開示請求件数	23	13	-	-	-	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	審査請求件数		2	2	0	0	0	件
事業の 実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	8,778	0	8,778	4,044	675

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	情報公開・個人情報保護事務
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>情報公開については111件、保有個人情報については17件(職員採用試験結果等6件の簡易開示含む)の開示請求に対し、開示等を行った。なお、情報公開に係る1件の諮問案件について、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、1件の答申を出した。</p> <p>また、文書管理制度の再構築に向け、紙文書等の削減の実地指導及び作業に取り組んだ。</p> <p>一部の事務について、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」で義務付けられている「特定個人情報保護評価」を実施した。</p>						
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	情報公開開示請求件数	120	111	-	-	-	件
	2	保有個人情報開示請求件数	16	17	-	-	-	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	審査請求件数		2	1	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			0.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		7,324,568	0	8,209,164	0	8,209,164	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		71,732	0	45,350	0	45,350		
一般財源		7,252,836	0	8,163,814	0	8,163,814		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	審査請求件数		成果指標に対する所見	1件の審査請求については、以前より同一人物から同案件について繰返し審査請求されているものであり、総評すると概ね目標は達成できている。		
	目標	0	件				
	実績	1	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>全庁的にファイリングシステムを導入し、文書管理に取り組んでいたが、文書量が年々増加する中、情報の更新方法及び文書の検索方法、全庁的な情報の共有という面での課題がある。</p> <p>また、維持管理のためのファイル基準表の作成、文書の引継ぎ及び廃棄文書の処理等についても、所属により作業にばらつきが見られる。新庁舎への移転に向け、執務室内の文書量の削減も必要となったことから、不要な紙文書の削減、現行のファイリングシステムによる文書管理の方法を見直し、将来的な働き方改革を見据え、より効率的に業務が遂行でき、適正な文書管理を可能とした制度の再構築を続ける必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及び文書管理制度再構築後の維持管理指導を行う。</p> <p>また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。</p>			
	令和5年度	<p>引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及び文書管理制度再構築後の維持管理指導を行う。</p> <p>また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。</p>			



実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.3

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業	担当部署	企画総務部 総務課 行革デジタル推進本部			
総合計画体系				根拠法令 計画など	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成	14	年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定	
(小項目)		情報の共有化						
施策	4	情報の共有化の推進						
基本事業	3	ICTを活用した市民サービスの推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	行政上サービスの向上と行政事務の効率化・高度化のため、オンラインによる申請・届出システムを確立する。							
実施方針	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討		事業 内容 (R3)	①電子申請が利用可能な手続の拡大に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。 ②電子申請が利用可能な手続の周知を行い、届出利用件数の増加を図る。				
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	手続件数	37	40	41	42	43	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	電子申請・届出利用件数		407	896	410	410	410	件
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	576	0	576	576	576

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		昨年度の状況を踏まえ、手続件数を増加させるために電子申請に適しているような手続きはないか調査を行い、既存の手続きに関しても、より利用しやすいものになるよう見直しを行った。また、ふるさと鳴門便や職員採用試験の申込等の6件の手続きについて、電子申請の受付を開始した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	手続件数	40	36	40	41	42	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	電子申請・届出利用件数		1,129	1,409	1,000	1,000	1,000	件
	目標達成率(実績/目標)			343.7	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算		令和4年度へ		
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		575,672	0	575,672	0	575,672	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		575,672	0	575,672	0	575,672		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	電子申請・届出利用件数		成果指標に対する所見	申請件数の増加に加え、電子申請が活用できる申請については手続きを開始するなど、一定の成果を上げている。		
	目標	410	件				
	実績	1,409	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市においては、既に手続きのひとつとして根付いているものであり、必要な手続きとなっている。更なる申請件数の増加を図るため、若年層や中年層のインターネット利用率が高い世代に電子申請が普及するよう努めるとともに、子育てワンストップサービス等のマイナンバー制度を活用したワンストップサービスによる電子申請についても有効に活用していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			
	令和5年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	入札改革推進事業	担当部署	企画総務部 契約検査室			
総合計画体系				根拠法令 計画など	地方自治法			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成	21	年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定	
(小項目)		情報の共有化						
施策	4	情報の共有化の推進						
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①入札業務の透明性・公平性の確保 ②入札業務の競争性の確保		事業 内容 (R3)					
実施方針	①建設工事及び測量・コンサルタント業務の電子入札を推進する。 ②入札情報及び入札結果の公表を推進する。 ③入札不調の低減に取り組む。			①建設工事及び測量コンサルタント業務 ・電子入札による指名競争入札及び制限付一般競争入札の継続実施 ・建設工事等の発注情報の公表 ・入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開 ②物品等 ・応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札の継続実施 ・入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	工事等入札件数	198	200	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	124	110	110	110	110	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
工事等の電子入札の割合			100	100	100	100	100	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,843	0	2,843	2,795	2,848

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	入札改革推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		建設工事及び測量・コンサルタント等業務においては、電子入札を継続し、金額や内容に応じて指名競争入札又は制限付一般競争入札における執行を継続した。また、入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を継続し、四半期ごとに発注情報を公開した。 物品等については、内容等に応じて応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札による執行を継続した。また入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	工事等入札件数	203	158	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	160	135	110	110	110	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	工事等の電子入札の割合		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		2,511,500	0	2,544,600	0	2,544,600	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		2,511,500	0	2,544,600	0	2,544,600		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	工事等の電子入札の割合		成果指標に対する所見	工事及び測量・コンサルタント等業務における電子入札の完全実施を継続することで、透明性・競争性・公平性が確保できた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市では、市内業者の振興及び育成の観点から、市内業者を優先した発注を行っているが、競争性を高めることと、市内業者の受注確保は相反するものであり、迅速な事業の執行の観点から、工事等の全ての案件で制限付一般競争入札を執行することは難しい。当面の間は、市内業者の受注機会確保を優先した運用を行う。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、競争性・透明性・公平性の確保に取り組む。			
	令和5年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、競争性・透明性・公平性の確保に取り組む。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.5

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	職員人材育成研修事業	担当部署	企画総務部 人事課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	地方公務員法第39条 鳴門市「人財」育成基本方針			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業期間	開始	平成	12	年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期		
(小項目)		行政運営						
施策	5	効率的・効果的な行政運営の推進						
基本事業	4	適正な人事管理の推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	市民満足度の高い行政サービスを提供できる職員を育成する。								
実施方針	①研修計画に基づく市主催職員研修の実施 ②県自治研修センター等への派遣研修の実施		事業内容 (R3)	①市主催職員研修の実施 ・各職階に応じて求められるスキルを養う階層別研修 ・専門的知識を習得する職務別研修 ・公務員として習得すべき課題別研修 ②派遣研修の実施 ・県自治研修センター主催研修の活用 ・市町村・国際文化アカデミー、自治大学校等への派遣 ※県外への派遣研修は、新型コロナウイルス感染症の状況により実施を判断する。					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	派遣研修等への派遣職員数		185	170	170	170	170	人
	2	庁内研修の受講者数	2207	1900	1900	1900	1900	人	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合			92.1	93	95	95	95	%	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②市町村アカデミー等への職員派遣研修の実施	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②県自治研修センター等への職員派遣研修の実施 ※県外への派遣研修は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い見合わせる。	①市主催職員研修の実施 ②県自治研修センター等への派遣研修の実施	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	8,523	△ 479	8,044	12,567	12,567

◎当初からの変更点

変更内容	※R4.3月補正 【歳入】研修事業助成金 △342 【歳出】旅費 △260 負担金 △219
------	---

事務事業名	職員人材育成研修事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ、公務員倫理研修等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。</p> <p>また、これまでの集合型研修に加え、オンライン型研修も導入したことで、より効果的かつ効率的な研修体制の構築及び職場研修の充実を図るとともに、市町村アカデミー及び自治大大学校等の外部研修機関が実施する研修へ職員を派遣し、専門的な知識の習得及び能力の向上を図った。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	派遣研修等への派遣職員数	174	234	230	230	230	人
	2	庁内研修の受講者数	2,056	2376	1700	1700	1700	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合		93.7	91.5	95	95	95	%
	目標達成率(実績/目標)			96.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		4,126,413	0	6,425,067	0	6,425,067	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	200,004	0	263,440	0	263,440	
一般財源		3,926,409	0	6,161,627	0	6,161,627		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合		成果指標に対する所見	目標数値は若干達成できていないが、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効率的かつ効果的に実施していく必要がある。		
	目標	95	%				
	実績	91.5	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>より市民満足度の高い行政サービスを提供するためには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることが不可欠である。また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との交流を通して得られるものも多いため、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知するとともに、研修内容の充実や研修機会の提供に努めるなど、一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画・実施していく必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>引き続き、第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣研修を行う。また、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を積極的に行う。さらに、「職員に求められる能力」を調査・研究し、市民サービスの向上に効果ある研修を今後も検討していく。</p>			
	令和5年度	引き続き取り組みを継続する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市税徴収率向上対策事業	担当部署	企画総務部 税務課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	国税徴収法、地方税法、鳴門市税賦課徴収条例		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業期間	開始	平成 13 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)		行財政運営			終期	未定	
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進					
基本事業	2	財政の健全化					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	主要財源の安定的な確保及び税負担の公平性確保を目的とする。								
実施方針	①納税義務者が市税を完納し、税負担の公平性を保つ。 ②税収が確保された状態をめざす。		事業内容(R3)	①徳島滞納整理機構等との連携や滞納処分の早期着手、現年度収入未済額の早期回収などにより、滞納繰越額の圧縮を進める。 ②口座振替の周知を行うなど口座振替加入率向上へ向けた継続的な取り組みを実施する。 ③未課税家屋について調査を進める。					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	現年度収入未済額		73,146	64,999	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	50,089	50,100	53,000	53,000	53,000	件	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
市税徴収率(現年+滞繰)			96.0	96.6	95.0	95.0	95.0	%	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,676	0	6,676	7,464	7,464

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	市税徴収率向上対策事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①「県の税務職員の市町村長期派遣制度」により東部県税局の支援を受け、市県民税の未納者に県市の共同催告を実施した。高額・悪質案件については、徳島滞納整理機構と連携し未済額の回収に努めた。 ②新規の口座振替申込者を対象に景品を進呈する「口座振替推進キャンペーン」を実施した(新規登録:131件)。 ③未課税家屋について、年次計画を基に1班体制(家屋担当職員2名及び会計年度任用職員1名)で調査及び課税を実施した。						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	現年度収入未済額	93,546	64,889	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	49,774	49,174	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	市税徴収率(現年+滞繰)		96.1	96.9	95.0	95.0	95.0	%
	目標達成率(実績/目標)			102.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		8,943,183	0	6,633,202	0	6,633,202	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		8,943,183	0	6,633,202	0	6,633,202		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市税徴収率(現年+滞繰)		成果指標に対する所見	徴収率向上については取り組み目標を達成できた。		
	目標	95	%				
	実績	97	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現年度収入未済額を着実に減少させるとともに、滞納繰越額の更なる圧縮を図っていく必要がある。限られた人員体制のなか現状の水準を維持できるよう、県東部県税局や徳島滞納整理機構との連携強化を図る必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	県職員の長期派遣による支援により、滞納整理に関する連携や対応能力の強化を図り、滞納繰越額の圧縮を進めていく。また口座振替の推進や、令和5年度以降の地方税統一QRコードへの対応(固定資産税、軽自動車税)を実施し、納税の利便性の向上による現年度の未収額の圧縮を図っていく。			
	令和5年度	令和4年度に引き続き取り組みを進めていくほか、令和6年度の固定資産税の評価替えに向け未課税家屋の調査及び現況把握に努める。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広報活動の充実	担当部署	企画総務部 秘書広報課		
総合計画体系				根拠法令 計画など			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	昭和 26 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定
(小項目)		情報の共有化					
施策	4	情報の共有化の推進					
基本事業	1	広報活動の充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市からの行政情報などをわかりやすく市民に周知するため、読みやすく魅力ある「広報なんと」の紙面づくり、また、多くの市民に視聴してもらえる見やすく親しまれるテレビ広報番組づくりを行う。		事業 内容 (R3)	①市民等の市政に関する関心や満足度を高めるため、広報に関する市民のニーズを調査し、市民からの意見や要望等を把握することで、本市の広報活動における課題を検証する。 ②検証結果を生かし、市民の声を反映させた紙面・テレビ番組づくりを行うとともに、SNSなどを活用した情報発信についても調査・研究を進め、効果的な広報活動を推進する。				
実施方針	効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報紙での市政の特集実施回数	9	8	8	8	8	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	2	3	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
広報モニターの肯定的評価			85.1	86.9	70.0	70.0	70.0	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	スマートフォンやタブレット端末を活用した新たな情報発信手段の調査を開始。	先進的な広報活動を行う他市町村の取り組みについての調査・研究。	広報に関する市民のニーズ調査の実施、調査結果の検証と検証結果を生かした広報活動の展開。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	13,724	0	13,724	15,172	15,172

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	広報活動の充実
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	令和元年度に改定した「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、より効果的かつ効果的な広報を実践できるよう複数の広報媒体を用いた情報発信を行った。広報紙やテレビ広報では、新型コロナウイルスワクチン接種などの重要な情報が幅広い世代に伝わるよう、写真やイラストを用いて読みやすいレイアウトを心掛けるとともに、若年層に対してはツイッターやウェブサイトを通じて重ねて情報発信を行うことで、情報の浸透を図った。また、SNSの利活用では、市長メッセージ動画の定期的な配信に加え、市内で行われるイベントなどを広報担当者が動画で撮影し投稿することで、より即時性のある情報発信や広報活動が図れるようになった。						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報紙での市政の特集実施回数	14	23	12	12	12	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	3	20	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	広報モニターの肯定的評価		86.7	87.6	90	90	90	%
	目標達成率(実績/目標)			125.1	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		12,834,800	0	13,182,950	0	13,182,950	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		855,082	0	881,511	0	881,511		
一般財源		11,979,718	0	12,301,439	0	12,301,439		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価		成果指標に対する所見	目標は達成したためA評価とするが、今後はSNSなどの活用も含め、広報媒体全体の内容をより充実させ、市民や広報モニターの評価を向上させるように努力する。		
	目標	70	%				
	実績	88	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	広報紙においては、市民の方から「内容が難しい」「わかりにくい」との声がある。また、コロナワクチン接種や支援策等の増加により、全体の情報量が増加傾向にある。すべての情報を広報紙やテレビ広報番組でお知らせすることは難しいため、情報の要約を行うとともに、ウェブサイトやSNSへの誘導を行うなど、受け手の世代に適した情報発信や市民等の目線に立ったわかりやすい情報発信に取り組む必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特にSNSによる情報発信を強化し、主に若年層をターゲットとしたYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、市の魅力や施策の発信を行う。			
	令和5年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特にSNSによる情報発信を強化し、主に若年層をターゲットとしたYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、市の魅力や施策の発信を行う。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.8

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	イメージアップ戦略推進事業	担当部署	企画総務部 秘書広報課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成	27	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		シティプロモーション					
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定		
基本事業	2	イメージアップの推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	本市のイメージアップ向上のため、小冊子の作成、配布等により、市内外にPRする。また、市外や県外向けのPRだけではなく、鳴門市民や近隣の方に対して鳴門・郷土に「誇り」と「愛着」を持ってもらい、定住人口を維持・向上させることを目的とする。							
実施方針	①写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」の実施 ②イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布							
事業内容(R3)	①写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第6回写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」を実施する。 ②イメージアップ小冊子「鳴門やけん」について、市内の小学校5・6年生や市内外の各施設等に配布する。							
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「Narustagram」応募作品数	1281	1200	1200	1200	1200	点
	2							
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
<small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small> イメージアップ事業実施数		4	3	2	2	2	件	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①「Narustagram」の実施 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「鳴門やけん」の作成 ④広報活動支援補助事業	①「Narustagram」の実施 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「鳴門やけん」の作成	①「Narustagram」の実施 ②「鳴門やけん」の作成	①「Narustagram」の実施 ②「鳴門やけん」の作成	①「Narustagram」の実施 ②「鳴門やけん」の作成		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,535	0	1,535	748	748

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	イメージアップ戦略推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第6回写真動画コンテスト「Narustagram(ナルスタグラム)」を開催した。 ②イメージアップ小冊子「鳴門やけん」のバックナンバーを増刷し、市内外へ配布した。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 「Narustagram」応募作品数	1,865	3,157	3,000	3000	3,000	点
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	イメージアップ事業実施数	3	2	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	3,050,914	0	1,526,008	0	1,526,008	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	3,050,914	0	1,526,008	0	1,526,008		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	イメージアップ事業実施数		成果指標に対する所見 様々な媒体を通して多角的な情報発信ができたと考えられる。今後も継続的に実施することにより、効果を高めていきたい。
	目標	2	件	
	実績	2	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業実施7年目を終えて、鳴門市の主要な素材については、ある程度取り上げてきたことから、今後新たな素材の選定について検討を重ねる必要があると考えている。また、テーマについても大きく変更することも検討すべきであると考えている。加えて、新たな広報媒体による情報発信についても検討していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を市内外へ配布。 ②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。 ③イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布。 ④YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」を開設し、若年層や子育て世代に向けた情報発信を行う。			
	令和5年度	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を市内外へ配布。 ②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。 ③イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布。 ④YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」から、若年層や子育て世代に向けた情報発信を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	担当部署	企画総務部 戦略企画課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	28	年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると				終期	未定	
(小項目)		産業						
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化						
基本事業	1	地場産業の育成・振興						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門の経済の活性化につながる新事業を創出させるため。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①ビジネスプランコンテストを開催する。 ②今までの受賞プランの紹介及び事業実現化に向けての支援を行う。			①多くの応募者の確保のため、部門を分けたり、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施する。 ②今までの受賞者・受賞プランを広報し、受賞者へのフォローを行うとともに、新たなビジネスプランの発掘を行う。 ③令和2年度実施のフェーズフリーコンテストの状況を見極めながら、新たなコンテスト事業の検討を図る。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
創業社数			1	0	1	1	1	社
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,055	0	1,055	1,055	1,055

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるとビジネスプランコンテストを実施したところ、県内外より12件の応募があった。</li> <li>・書類審査の結果、5件を最終選考の対象とした。また、プレゼンテーション講座の開催やプランのブラッシュアップを経て、最終選考を行った。</li> <li>・最終選考会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、動画審査での選考を行った。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	創業社数		0	0	1	1	1	社
	目標達成率(実績/目標)			0.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		432,878	0	768,478	0	768,478	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		432,878	0	768,478	0	768,478		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)		ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	創業社数		成果指標に対する所見	令和3年度中については、年度末に審査会を開いたこともあり、応募者による創業には至らなかったが、ビジネスチャンスの拡大や人脈づくり等の支援に寄与することができたと評価している。		
	目標	1	社				
	実績	0	社				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	年々応募者数は減少傾向にある等、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	令和3年度の実施状況等を踏まえ、内容等を検討する。			
	令和5年度	令和4年度の実施状況等を踏まえ、内容等を検討する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	サイクリングツーリズム推進事業	担当部署	企画総務部 戦略企画課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	28	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと						
(小項目)		観光						
施策	1	観光・交流のまちづくり			終期	未定		
基本事業	4	にぎわいと交流の創出						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①交流人口の増加及び地域経済活性化 ②市民の健康増進、地域活性化		事業 内容 (R3)					
実施方針	①自転車輸送事業の確立 ②サイクリングコースの周知啓発 ③市民の自転車利用を促進する ④大鳴門橋自転車道整備実現に向けて取り組む ⑤自転車関連イベントの実施			①自転車輸送事業の確立 ・路線バスによる自転車輸送 ②サイクリングコースの周知啓発 ・PR動画を活用した周知 ③市民の自転車利用促進 ・レンタサイクルの利用促進 ・サイクリスト・企業等団体の活動への支援 ④大鳴門橋自転車道整備実現への取り組み ・徳島県、兵庫県、南あわじ市との連携、情報共有 ⑤自転車関連イベント実施 ・グルメライド等の実施				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	海峡またぎ(自転車輸送)利用者数	293	120	200	300	400	人
	2	レンタサイクル利用者数	213	200	300	300	300	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
関連イベントへの参加者数			1,774	320	1,000	2,000	2,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①サイクルバスの実施 ②路線バスでの自転車輸送開始 ③レンタサイクル実施 ④関連イベント実施 ⑤PR動画製作、周知	①推進計画の策定 ②協議会の設立 ③サイクルコースの調査 ④継続事業の実施	①路線バスでの自転車輸送 ②レンタサイクル継続 ③関連イベント実施 ④PR動画周知	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,100	△ 2,661	3,439	12,784	12,784

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△2,661千円減額 ・グルメライドイベント中止等
------	----------------------------------

事務事業名	サイクリングツーリズム推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①路線バスによる鳴門海峡自転車輸送、レンタサイクル事業を継続実施した。 ②おもてなしスポットの追加やサイクリングコースの周知啓発(PR動画)をASAサイクリング特設ウェブサイトにより実施した。 ③鳴門・南あわじ渦潮グルメライドは新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止したが、ASAサイクリングツーリズム推進補助金を2団体が活用し、サイクリングイベントを実施した。 ④大鳴門橋自転車道整備実現に向けて、徳島県、兵庫県、南あわじ市との情報共有を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	海峡またぎ(自転車輸送)利用者数	152	297	300	400	500	人
	2	レンタサイクル利用者数	271	247	300	300	300	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	関連イベントへの参加者数		423	708	2,000	2,000	2,000	人
	目標達成率(実績/目標)			70.8	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		4,713,584	0	1,969,437	0	1,969,437	
	財源内訳	国庫支出金	2,356,792	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	2,356,792	0	1,969,437	0	1,969,437	
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)		ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	関連イベントへの参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により中止したサイクリングイベントもあったが、民間団体2団体によるイベント開催を補助金により支援することにより、サイクルツーリズムの機運醸成に一定の効果があった。		
	目標	1,000	人				
	実績	708	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「大鳴門橋の下部空間を活かした自転車道の整備」の実現に向け、徳島県、兵庫県、南あわじ市等の関係機関と情報共有を密に行うとともに、実現されるまでの間に、引き続きサイクリストを呼び込むための環境整備や広報活動、関係イベント等の各種施策を計画的に行っていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行う。地域活性化起業人と連携し、地域資源・地域特性を活かした自転車活用施策の検討を行う。			
	令和5年度	継続			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域婚活支援事業	担当部署	企画総務部 戦略企画課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成	27	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		子どものまち						
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援						
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	未婚化・晩婚化に歯止めをかける一助とする。							
実施方針	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、補助金による支援を行い、市内での出逢いの場づくりを支援する。		事業 内容 (R3)	①周知広報 ・広報なんと及び市公式ウェブサイト等での周知 ・婚活イベント開催事業者への直接案内 ②補助金交付 ・鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、上限20万で補助金交付				
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	婚活イベント支援数	2	3	3	3	3	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	婚活イベント開催におけるカップル成立数		5	-	10	10	10	組
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	2件のイベントに補助金交付	11月16日現在提案なし	企画提案募集補助金交付	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	800	0	800	800	800

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地域婚活支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①とくしまマリッジサポートセンターのイベントを全庁に周知 ②鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、市単独の補助によりイベントに補助金を交付し、市内での出逢いの場づくりを支援する。令和3年度は1団体に補助金を交付した。オンラインと対面のハイブリッド型のイベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	婚活イベント支援数	0	1	4	4	4	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	婚活イベント開催におけるカップル成立数		0	0	10	10	10	組
	目標達成率(実績/目標)			0.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	25,000	0	25,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		0	0	25,000	0	25,000		
補助制度(名称、補助率など)		笑顔と魅力うずまく地域婚活支援事業補助金交付要綱 上限20万円						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		未達成	
成果指標に対する評価	指標名	婚活イベント開催におけるカップル成立数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの実施ができなかったため、目標の達成には至らなかった。		
	目標	10	組				
	実績	0	組				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	イベントを3月に行う予定であったが、とくしまアラートが発令されており中止となった。コロナ禍での婚活イベント開催のノウハウを持つ事業者が少ないことから、市としても予備日設定や感染リスクの少ないイベントの提案などを行い、サポートする。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	コロナ禍においても実現可能性の高い婚活イベントを提案する事業者への補助金交付を行い、市内での出逢いの場づくりを支援する。			
	令和5年度	令和4年度の状況を踏まえながら、継続して実施する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共交通対策事業	担当部署	企画総務部 戦略企画課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	20	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと						
(小項目)		交通						
施策	5	新しい公共交通網の確立			終期	未定		
基本事業	2	公共交通機関の確保と整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の日常生活の足を確保するため、効率的で持続可能な公共交通網の構築を図る。							
実施方針	①地域バス・協定路線(徳島バス)等の見直し ②新公共交通の検討		事業 内容 (R3)	①地域バス及び協定路線について、継続的に利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容等の見直しを行う。 ②アンケートを実施して、現在の地域交通の課題を把握し、新しい公共交通のあり方を検討する。				
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	地域バス・協定路線乗車人数		234,924	117,462	150,000	150,000	150,000	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①協定路線(北泊線・鳴門公園線・高島線)の便数見直し ②新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の便数見直し検討 ②バス車両内における感染症対策 ③新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の便数見直し検討 ②バス車両内における感染症対策 ③新公共交通の検討	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	161,848	4,700	166,548	171,656	171,656

◎当初からの変更点

変更内容	【9月補正】4,700千円 地域バス(里浦栗津運動公園線・高島線)において使用していた車両の更新を行った。
------	--

事務事業名	公共交通対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域バス3路線及び協定路線4路線の維持管理に努めるとともに、令和4年4月開駅の道の駅「くるくるなると」へのバス路線の乗り入れについて関係機関と調整を行った。</li> <li>・8月20日から9月2日までの調査期間により実施した市民意識アンケート調査の中で、公共交通に関する設問を設定し、市民の方の公共交通に対する満足度やデマンドバス等の新たな交通体系の導入に関するご意見を頂いた。</li> <li>・市内の自治振興会において公共交通に関する意見交換会を実施し、地域住民や利用者のニーズ把握に努めた。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	地域バス・協定路線乗車人数		163,760	166,475	170,000	170,000	170,000	人
	目標達成率(実績/目標)			111.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		157,261,648	0	165,163,187	0	165,163,187	
	財源内訳	国庫支出金	1,501,000	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		695,536	0	5,293,487	0	5,293,487		
一般財源		155,065,112	0	159,869,700	0	159,869,700		
補助制度(名称、補助率など)		鳴門市乗合バス協定路線運行費等補助金(補助対象経費から運送収入を減じた額)ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	地域バス・協定路線乗車人数		成果指標に対する所見	目標を達成することが出来たが、地域バス路線と協定路線ともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準には戻っていない。		
	目標	150,000	人				
	実績	166,475	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度中に実施したアンケート調査や意見交換会においていただいたご意見等を令和4年度策定予定の「地域公共交通計画」に反映することで、市民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の形成に努める。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	地域公共交通計画の策定			
	令和5年度	令和4年度策定予定の地域公共交通計画に定める公共交通網の形成を目指す。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	総合戦略推進事業(鳴門市の未来を担う人材育成)	担当部署	企画総務部 戦略企画課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	令和 2 年度	
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定
(小項目)		子どものまち					
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援					
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	人口減少対策を実施するため、地方版総合戦略を推進するにあたり、未来の鳴門市を担う人材育成に重点を置いた施策を実施し、大学や地域と連携を図りながら、若い世代が「鳴門市に住み続けたい、帰ってきたい」と思えるまちづくりを目指す。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①人材育成に係る教育推進施策の研究体制構築 ②地域と密着した活動機会の創出			①人材育成に係る教育推進施策の研究体制を構築 ・大学と行政(市・教育委員会等)との連携強化 ・地域ぐるみの人材育成施策の検討 ②地域と密着した活動機会の創出 ・シビックプライド醸成をはじめ、民間団体及び地域おこし協力隊などの力を活用した演劇等を通して、コミュニケーション力や表現力などを育成				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合			-	80	85	90	90	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	—	①人材育成に係る教育推進施策の研究体制を構築 ②地域と密着した活動機会の創出	継続	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	9,400	0	9,400	10,400	10,400

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名 総合戦略推進事業(鳴門市の未来を担う人材育成)

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①鳴門教育大学との協力推進会議を開催し、大学連携について意見交換を行った。 ②地域おこし協力隊による地域活性化事業 ・オリジナルミュージカル公演 ・サプライズ音楽花火イベント ・SNSを通じた鳴門市PR動画の配信					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合		94.4	91.6	90	90	90	%
	目標達成率(実績/目標)			107.8	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		8,000,000	0	9,400,000	0	9,400,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		8,000,000	0	9,400,000	0	9,400,000		
補助制度(名称、補助率など)		特別交付税措置						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、ミュージカルの練習時間の確保が課題であったが、感染症対策を十分に行ったうえで、無事公演することが出来たため、目標達成に繋がった。		
	目標	85	%				
	実績	92	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度は、予定していたミュージカル2公演のうち1公演が新型コロナウイルス感染症等の要因により中止となった。今後も感染拡大状況等に注視しつつ、感染症対策を十分に行ったうえで、ミュージカル等のイベントを着実に実施し、若い世代の人材育成に努めたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	地域おこし協力隊によるミュージカル等の活動を通じて、鳴門市の未来を担う子どもたちのコミュニケーション力の向上や表現力の育成に努め、シビックプライドの醸成を図り、人口減少対策につなげていく。			
	令和5年度	継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業(地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業)		担当部署	企画総務部 戦略企画課		
総合計画体系					根拠法令計画など	地方税法等の一部を改正する法律		
基本政策(大項目)		4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度	
政策(中項目)		1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定
(小項目)								
施策		5	効率的・効果的な行財政運営の推進					
基本事業		2	財政の健全化					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	本市を応援したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「ふるさと納税寄附金制度」の運用を行うとともに、地域産業の活性化と持続可能な地域経済の実現を目指す。								
実施方針	①道の駅「くるくる なんと」開設に向けて運営事業者により設立される地域商社との連携 ②商品開発による記念品拡充と地場産品のPR推進 ③ポータルサイト等での情報発信の強化		事業内容(R3)	①地域商社との業務連携 ・地域商社と連携し、地場産品を活用した商品開発の実施 ②記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 ・市内事業所への記念品掲載の案内 ③ポータルサイト等での情報発信の強化 ・ポータルサイト内でのPR等プロモーションの推進 ④寄附金の事業化の推進 ・ガバメントクラウドファンディングの実施検討					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ふるさと納税寄附件数		18,306	16,000	20,000	20,000	20,000	件
	2								
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
寄附金額			406,690	330,000	364,000	364,000	364,000	千円	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①記念品の拡充 ②情報発信の強化	①地域商社との連携 ②記念品の拡充 ③情報発信の強化	①道の駅「くるくる なんと」の連携 ②記念品の拡充 ③情報発信の強化	①道の駅「くるくる なんと」の連携 ②記念品の拡充 ③情報発信の強化			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	230,538	29,076	259,614	253,026	314,602

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正29,076千円増額 ・寄付金額が想定よりも多く見込まれたことによる増額補正
------	---

事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業(地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業)
-------	--------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①地域商社と連携し、令和3年度は返礼品の開発ではなく、既存返礼品のブラッシュアップを中心に 行い、訴求力の向上に努めた。 ②継続的に事業者からの提案を受け入れ、記念品の拡充を行うことで、鳴門の地場産品PRの推進を図 った。 ③地域商社との連携の元、ポータルサイト内の情報発信力強化を目的としたSEO対策、サムネイル改善 等に努めた。 ④2件のクラウドファンディング型ふるさと納税事業を採択し、寄附金の事業化を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ふるさと納税寄附件数	18,169	22,030	32,000	32,000	32,000	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	寄附金額		337,928	414,111	600,000	600,000	600,000	千円
	目標達成率(実績/目標)			113.8	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		164,628,214	0	240,319,840	0	240,319,840	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		164,628,214	0	240,319,840	0	240,319,840		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)		ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	寄附金額		成果指標に対する所見	ポータルサイト掲載内容の見直しにより、新規顧客の拡充に繋がり、寄附金額・寄附件数ともに目標値を大きく上回った。		
	目標	364,000	千円				
	実績	414,111	千円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全国的に見ても、ふるさと納税市場は拡大の一途をたどっていることから、抜きん出た実績を得るためには、より訴求力の高い返礼品の拡充や地場産品のPR方法に一層の工夫を求められる時期を迎えている。道の駅「くるくる なると」を絡めた本市独自のオリジナリティに富んだ返礼品開発や、民間事業者ならではの広報戦略、寄附者に対する対応力の強化等、本市のふるさと納税事業を取り巻く環境の一新を図ることで、より多くの新規寄附者及びリピーターの確保に努める。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	道の駅「くるくる なると」を絡めた本市独自のオリジナリティに富んだ返礼品開発や、民間事業者ならではの広報戦略、寄附者に対する対応力の強化等、本市のふるさと納税事業を取り巻く環境の一新を図る。			
	令和5年度	前年度の取組みを継続しつつ、諸般の情勢を勘案し、時点におけるふるさと納税寄附金の拡充に向けた施策を進める。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業(道の駅整備)	担当部署	企画総務部 戦略企画課 企画総務部 特定事業推進課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	四国のゲートウェイ推進計画			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	28	年度
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまち なんと				終期	令和	4
(小項目)		観光						
施策	1	観光・交流のまちづくり						
基本事業	4	にぎわいと交流の創出						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	「人が集い 出会い交流し 地域に広がる 笑顔と元気づまく 道の駅なんと」をコンセプトとした道の駅を整備する。		事業 内容 (R3)					
実施方針	次の4点を満たす道の駅を整備する。 ①快適な道路休憩施設の整備 ②利用者や消費者が求める情報を発信し、ひとを呼び込む情報発信機能の整備 ③地域の特性を活かした地域活性化や交流拠点づくり ④安心・安全でまちの新たな顔となる拠点づくり			①建築工事の実施 ②開駅準備 ③竣工				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	道の駅の整備		基本設計図書の策定	建築に係る実施設計図書の策定	竣工	開駅	—	—

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①指定管理候補者の選定 ②基本設計図書の策定 ③事業認定図書の策定	①用地買収 ②建築に係る実施設計図書の策定 ③造成工事の開始	①建築工事の実施 ②開駅準備 ③竣工	開駅	—

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,787,140	0	1,787,140	30,754	—

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業(道の駅整備)
-------	----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①国土交通省整備分に係る工事とも調整を図りながら、迅速に建築工事に着手し、令和4年3月に工事を竣工した。 ②指定管理者が進める商品開発や店舗づくりに際して、指定管理者と生産者や地域事業者等との結び付けや調整を図り連携を促したほか、国やJA大津松茂と施設等の維持管理に係る協定の締結を行うなど、開駅準備を進めた結果、令和4年春(令和4年4月29日)開駅の目処がついた。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	道の駅の整備		建築に係る実施設計図書の策定	竣工	開駅	—	—	—
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		341,432,995	0	1,531,392,313	134,980,000	1,666,372,313	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	499,168,000	0	499,168,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	275,300,000	0	848,200,000	71,200,000	919,400,000	
		その他	31,722,000	0	55,270,000	0	55,270,000	
一般財源		34,410,995	0	128,754,313	63,780,000	192,534,313		
補助制度(名称、補助率など)		地方創生拠点整備交付金(1/2) 地方活性化事業債(充当率90% 交付税参入率30%) 一般補助施設整備等事業債(充当率90% 交付税参入率30%) 一般単独事業債(充当率75%)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	道の駅の整備		成果指標に対する所見	当初の予定どおり、国や関係機関等と連携しながら事業進捗を図ることができた。		
	目標	竣工	—				
	実績	竣工	—				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	令和4年4月29日に開駅を行う。			
	令和5年度				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	新庁舎整備事業	担当部署	企画総務部 特定事業推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画 鳴門市新庁舎建設工事基本設計書	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期	年度
(小項目)		危機管理・防災				
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進				
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	「市民の安全安心をまもり、絆をはぐむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設		事業内容 (R3)					
実施方針	基本計画に記載した五つの基本方針のもと、新庁舎建設を推進する。 ①誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎 ②防災拠点にふさわしい、安全安心な庁舎 ③市民がつどい、親しまれる庁舎 ④経済的で将来の変化に対応できる庁舎 ⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎			① 新庁舎DB業務(実施設計策定) ② 実施設計CM業務 ③ 施工段階CM業務 ④ オフィス環境整備業務 ⑤ 市民会館等解体工事業務 ⑥ 市役所前庭園等撤去工事業務 ⑦ 用地取得事業の推進 ⑧ 新庁舎東側付属棟改修設計業務 ⑨ 増田建築アーカイブ推進業務 ⑩ 周辺家屋調査業務				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	新庁舎の建設		基本設計着手	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定	工事着手 工事の推進	新庁舎完成	
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①基本設計着手 ②各種調査業務の実施	①基本設計策定 ②DB事業者の選定 ③実施設計着手 ④周辺施設解体工事 ⑤用地取得事業	①実施設計策定 ②周辺施設解体工事 ③用地取得事業	①工事着手 ②工事推進 ③現庁舎等解体設計 ④用地取得事業	①新庁舎完成 ②現庁舎等解体工事着手		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	500,631	8,206	508,837	2,150,000	4,311,172

◎当初からの変更点

変更内容	繰越8,206千円(新庁舎整備事業に伴う事業認定資料作成業務)
------	---------------------------------

事務事業名	新庁舎整備事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	基本計画や基本設計に基づき、意匠や構造などの詳細な設計を行う実施設計を進めたが、事業者や各団体、関係者等との意見交換に時間を要したため、実施設計期間を2か月延伸し、令和4年4月の策定とするとともに、新庁舎の竣工についても令和6年1月に変更した。 そのほか、市民会館の解体工事や市役所前庭園の撤去工事を行うとともに、東側付属棟の改修設計や京都大学との連携による増田建築のアーカイブ事業を行った。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	新庁舎の建設	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定	—	—	—	
	目標達成率(実績/目標)		—	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	218,816,200	8,206,000	257,321,099	224,345,625	489,872,724	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	89,500,000	0	221,700,000	179,300,000	401,000,000
その他		111,729,000	0	35,621,099	0	35,621,099	
一般財源	17,387,200	8,206,000	0	45,045,625	53,251,625		
補助制度(名称、補助率など)	地方債:市町村役場機能緊急保全事業債 補助金:レジリエンス強化型ZEB実証事業(環境省)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	事業者や各団体、関係者等との意見交換に時間を要したため、実施設計期間を2か月延伸したが、令和4年4月の策定、同年5月の工事着手に繋げることができた。
	目標	実施設計策定			
	実績	実施設計策定			
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	安全かつ着実な工事の進捗に努めるとともに、市民等への情報発信や庁内での気運の醸成に努める。 また、什器やサイン、各種設備の整備に向け、関係各課と連携しながら業務を進める。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	工事着工			
	令和5年度	工事竣工			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	災害対策基本法・鳴門市地域防災計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成 16 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①防災意識の高揚を図る。 ②「自助」「共助」「近助」の意識の高揚を図る。								
実施方針	①各地区自主防災会への防災訓練実施の促進 ②市総合防災訓練の実施 ③出前講座や地域出前防災教室の実施 ④広報など、市公式ウェブサイト等を活用した防災に関する情報発信の実施 ⑤正確な避難先の周知		事業 内容 (R3)	①各地区自主防災会での防災訓練実施 避難訓練、資機材等取扱訓練、避難所運営訓練等の実施 ②市総合防災訓練の実施 体験型ブース等を設けた「鳴門市総合防災フェア」の実施 ③出前講座、地域出前防災教室の実施 ④広報など、市公式ウェブサイト等による防災情報の発信 ⑤避難所等の表示板の設置・移設					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	自主防災会防災訓練実施組織数		42	42	42	42	42	組織数
	2	出前講座・地域出前防災教室開催	18	11	30	30	30	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
自主防災会防災訓練実施組織数			42	42	42	42	42	組織数	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①自主防災会防災訓練 ②市総合防災訓練 ③出前講座・防災教室 ④防災情報発信 ⑤避難所表示板設置	①自主防災会防災訓練 ②出前講座・防災教室 ③防災情報発信 ④避難所表示板設置	①自主防災会防災訓練 ②市総合防災訓練 ③出前講座・防災教室 ④防災情報発信 ⑤避難所表示板設置	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	8,525	0	8,525	3,825	1,635

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	各地区自主防災会において防災訓練を実施した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、訓練の規模縮小や、やむを得ず中止した自主防災会も多くみられた。防災の日である9月1日に実施した「市総合防災訓練」では、新型コロナ感染症対策を講じた避難所運営訓練や市災害対策本部訓練を行い、迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚および地域防災力の強化を図った。						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	自主防災会防災訓練実施組織数	31	19	42	42	42	組織数
	2	出前講座・地域出前防災教室開催	11	8	20	20	20	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	自主防災会防災訓練実施組織数		31	21	42	42	42	組織数
	目標達成率(実績/目標)			50.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	556,935	0	2,069,900	0	2,069,900		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	172,000	0	172,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源	556,935	0	1,897,900	0	1,897,900			
補助制度(名称、補助率など)		複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業費補助金 補助率:2分の1 避難路確保・緊急避難場所機能強化事業(1か所あたり上限250万円)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	自主防災会防災訓練実施組織数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、防災訓練を中止した自主防災会もあったため、訓練実施は100%とならなかった。		
	目標	42	組織数				
	実績	21	組織数				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域によって防災に対する意識や被害想定も異なることから、各地域の実情や特色を把握し、それらを考慮した啓発活動の実施が課題である。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動を自粛した自主防災会もあるため、活動低下につながらないよう啓発と支援を続けていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた各地区自主防災会での防災訓練の実施を支援するとともに、出前講座や広報媒体を活用した啓発を実施する。また、新型コロナウイルスと自然災害の複合災害を想定した市総合防災訓練を検討する。			
	令和5年度	各地区自主防災会での防災訓練の実施を支援するとともに、出前講座や広報媒体を活用した啓発を実施する。また、新型コロナウイルスの感染状況等をみながら、市総合防災訓練の規模や内容等を検討する。			

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課			
総合計画体系				根拠法令 計画など				
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	令和	3	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると				終期	未定	
(小項目)		危機管理・防災						
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進						
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止		事業 内容 (R3)					
実施方針	①避難場所における3密回避のための分散避難の促進 ②市役所庁舎の衛生対策			①特に配慮が必要な市民向けに、事前避難先として「ホテル・旅館等」の活用を促すため、宿泊費の一部を補助する。 ②市職員等が新型コロナウイルス感染症に感染した時の応急措置として、市役所庁舎の消毒作業を専門業者に委託する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	補助金交付者数	-	-	-	-	-	人
	2	市役所庁舎消毒作業委託回数	-	-	-	-	-	回
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
対象にどのような効果があったかを示す指標 感染症対策事業			-	-	推進	-	-	-
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	—	—	WITHコロナ事前避難促進事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,300	△ 1,615	4,685	6,849	6,849

◎当初からの変更点

変更内容	①3月補正 △5,615千円(委託△4,315、補助金△1,300) ②繰越額(地方創生臨時交付金) 4,000千円
------	---

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	特に配慮が必要な市民向けに、事前避難先としてホテル・旅館等の活用を促すため、宿泊費の一部を補助する「WITH・コロナ事前避難促進事業」を、市公式ウェブサイトや広報誌において周知した。市職員等が新型コロナウイルスに感染した場合に、感染拡大を防ぐため、外部委託により執務室や共用スペースを迅速に消毒した。						
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	補助金交付者数	-	0	-	-	-	人
	2	市役所庁舎消毒作業委託回数	-	9	-	-	-	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	感染症対策事業		-	推進	推進	推進	推進	-
	目標達成率(実績/目標)		-	-	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算		令和4年度へ		
				前年度からの繰越決算額	決算額	繰越額	最終事業費	
	計		0	3,997,554	0	0	3,997,554	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		0	3,997,554	0	0	3,997,554		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	感染症対策事業		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民への周知や市の体制を整備することで対策を講じた。		
	目標	推進	-				
	実績	推進	-				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「WITH・コロナ事前避難促進事業」については、市公式ウェブサイト、広報誌などにより広く周知を行ったが、災害の発生状況や補助対象となる者の条件が限定的であるため、申請者がいない。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないことから、引き続き感染拡大防止のために市民への情報発信や市の体制整備に努めるとともに、国や県の動向に注視し、対策を講じていく。			
	令和5年度	新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないことから、引き続き感染拡大防止のために市民への情報発信や市の体制整備に努めるとともに、国や県の動向に注視し、対策を講じていく。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自主防災組織活動促進事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画・鳴門市地震津波対策推進計画			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	17	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		危機管理・防災						
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進						
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①自主防災組織の活動活性化 ②防災意識の高揚、防災活動の推進 ③地域における防災力向上の担い手となりうる人材の育成		事業内容(R3)					
実施方針	①出水期前を目途にした自主防災会連絡協議会の開催 ②自主防災組織の地域防災活動に対する支援 ③各地区自主防災会の活動促進 ④市内中学生・高校生等を対象とした防災士の資格取得の奨励			①出水期前を目途とした、自主防災会連絡協議会の開催 ②自主防災組織活動推進事業助成金の交付 ③コミュニティ助成事業の実施主体となる組織を選定するための要件を「防災組織の普及啓発」、「地域内の安全点検」、「防災訓練等の実績」として、各地区自主防災会に示すことで、活動目標の明確化と積極的な活動の促進を図る。 ④防災士の資格取得に要する費用の補助				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	自主防災会連絡協議会開催	1	2	3	3	3	回
	2	防災士資格取得者	4	2	10	10	10	名
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
訓練・啓発等実施組織数			42	42	42	42	42	組織数
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,013	△ 300	5,713	4,013	4,013

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△300千円
------	------------

事務事業名	自主防災組織活動促進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。毎年開催している「自主防災会連絡協議会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、開催できなかったが、自主防災会に対して市や県立防災センターからのお知らせを情報共有することで、防災知識の普及啓発及び活動意欲の高揚を図った。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 自主防災会連絡協議会開催	1	0	2	2	2	回
	2 防災士資格取得者	-	4	10	10	10	名
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	訓練・啓発等実施組織数	42	42	42	42	42	組織数
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	3,526,804	0	4,986,506	0	4,986,506	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	2,000,000	0	2,000,000
一般財源		3,526,804	0	2,986,506	0	2,986,506	
補助制度(名称、補助率など)	鳴門市自主防災組織活動推進事業助成金交付要綱 自主防災組織育成助成金交付要綱 鳴門市次世代防災リーダー育成事業補助金交付要綱 ※コミュニティ助成金制度((一財)自治総合センター・定額・30~200万)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	訓練・啓発等実施組織数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大のため、防災訓練等を中止した自主防災会もあったため、訓練実施は100%とならなかったが、市から継続的に防災に関する情報を行うことで啓発を図った。
	目標	42	組織数		
	実績	42	組織数		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自主防災組織のさらなる活動推進に向けて、組織の財政的不安を解消する対策や、組織活動の意欲減少を防ぐ対策が必要である。また、新型コロナウイルスの影響で、活動を縮小した自主防災会もあるため、活動低下につながらないよう啓発と支援を続けていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の推進を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を図る。さらに、コミュニティ助成事業に推薦する組織を選定するため、次年度の組織選定に向け自主防災会連絡協議会において推薦する要件を示し、組織活動の活性化を図る。			
	令和5年度	自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の推進を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を図る。さらに、コミュニティ助成事業に推薦する組織を選定するため、次年度の組織選定に向け自主防災会連絡協議会において推薦する要件を示し、組織活動の活性化を図る。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害用備蓄事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	災害対策基本法・市地域防災計画・市地震津波対策推進計画・南海トラフ地震等に対応した備蓄方針		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成 16 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①災害時に避難所での生活を余儀なくされた市民等が少しでも安心して過ごせるよう、計画的に災害用備蓄物資を整備する。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、必要な物資の備蓄を進める。		事業内容(R3)					
実施方針	①県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、生命維持や生活に必要な食糧・飲料水等のほか、生理用品などの避難生活に必要な物資について備蓄を進める。 ②市民への災害用備蓄物資の啓発や、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取り組む。			①災害用備蓄品の買い換え ②賞味期限切れ間近となったアルファ化米を防災訓練や出前講座等に活用した、災害用備蓄物資の啓発 ③新型コロナウイルス感染症に対応した災害用備蓄資機材の整備				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
災害用備蓄事業			推進	推進	推進	推進	推進	—
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	【購入】 ①携帯トイレ ②レスキューテント ③アルファ化米(備蓄) ④トイレットペーパー等	【購入予定】 ①携帯トイレ ②簡易ベッド ③テント型パーティション ④アルファ化米(備蓄) ⑤非常用発電機等	【購入予定】 ①アルファ化米(備蓄) ②新型コロナ対策(物資・資機材) ③非常用発電機 ④ゴミ袋等	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	9,677	△ 770	8,907	5,366	5,366

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△770千円(燃料費△282千円、備品購入費△488千円)
------	-----------------------------------

事務事業名	災害用備蓄事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」で示された備蓄目標を達成しているアルファ化米や粉ミルクなどの賞味期限のあるものについて、更新を行った。賞味期限到来まで残り1年ほどを残して引き上げてきたアルファ化米は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用した。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	災害用備蓄事業	推進	推進	推進	推進	推進	—
	目標達成率(実績/目標)		—	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	11,274,765	0	7,284,418	0	7,284,418	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	4,202,000	0	1,047,000	0	1,047,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	2,630,000	0	2,630,000
一般財源	7,072,765	0	3,607,418	0	3,607,418		
補助制度(名称、補助率など)	複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業費補助金 補助率:2分の1 ①自立的・快適避難所機能強化事業(1か所あたり上限250万円) ②避難所感染症対策充実強化事業(上限100万円)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	災害用備蓄事業		成果指標に対する所見	賞味期限が近付いた備蓄物についてはローリングストックを行った。
	目標	推進	—		
	実績	推進	—		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害時に被災した市民が避難所等で安心した生活が送れるように、備蓄計画にある物資以外の備蓄を含め、本市の備蓄計画の見直しをする必要がある。 また、災害時に迅速に対応するためには、保管場所や運搬方法等について検討を要する。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所に備蓄の充実を図る。			
	令和5年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所に備蓄の充実を図る。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業	担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課		
総合計画体系				根拠法令計画など	水防法・鳴門市地域防災計画・鳴門市水防計画 等		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	27 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると					
(小項目)		危機管理・防災			終期	未定	
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①平時は市民等に災害ごとの危険箇所や避難場所、避難方法を周知啓発する。 ②発災時に安全かつ迅速な避難行動を取れるように、各種ハザードマップを作成する。(見直しを含む。)		事業内容(R3)					
実施方針	①各種災害に応じた被害想定によるハザードマップの作成 ②市民に向けたハザードマップの配布等の周知啓発 ③新しい情報等に基づいた既存のハザードマップの見直し			①高潮ハザードマップの作成 県公表の、高潮の浸水想定区域図を基にした高潮ハザードマップの作成 ②周知啓発 ハザードマップの配布、出前講座等での周知啓発 ③ハザードマップの見直し 既存の「土砂災害・洪水ハザードマップ」等の更新				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ハザードマップの周知	○	○	○	○	○	
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small> 指標名 ハザードマップの作成・見直し			0	2	3	1	1	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①ため池マップ等の作成 ②出前講座等での啓発 ③各HM等の情報収集	①ため池マップ等の作成 ②新池川HMの見直し ②出前講座等での啓発 ③各HM等の見直し・情報収集	①高潮HMの作成 ②出前講座等での啓発 ③土砂災害・洪水HMの見直し ④各HM等の見直し・情報収集	①出前講座等での啓発 ②各HM等の見直し・情報収集	実施		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	15,065	1,545	16,610	1,000	1,000

◎当初からの変更点

変更内容	既決予算内における執行 1,545千円
------	---------------------

事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		徳島県が公表した「高潮浸水想定区域図」に基づき、新たに高潮ハザードマップ作成した。また、「土砂災害・洪水ハザードマップ」の見直し・更新を行い、全戸配布した。ハザードマップの記載内容や活用方法について周知するため、自主防災会委員に対して説明会を開催した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ハザードマップの周知	推進	推進	推進	推進	推進	
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	ハザードマップの作成・見直し		2	2	1	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			66.7	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		31,178,950	0	16,610,000	0	16,610,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	28,561,000	0	2,000,000	0	2,000,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		2,617,950	0	14,610,000	0	14,610,000		
補助制度(名称、補助率など)		複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業費補助金 補助率:2分の1 ハザードマップ等策定支援事業(上限200万円)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ハザードマップの作成・見直し		成果指標に対する所見	高潮および土砂災害・洪水ハザードマップの作成・見直しを行い、公表した。		
	目標	3	件				
	実績	2	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	フェーズフリーの考え方を導入し、日常時は「まち歩きマップ」として活用いただくために、登山口や登山道を地図面に表示した。日常時からの活用がより効果的になるように、まちづくり出前講座や防災訓練等を通じて、住民の防災意識向上を図る必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	津波避難マップについて、避難情報や避難場所の更新・見直しを行う。			
	令和5年度	新たな被害想定等の情報収集および既存ハザードマップの記載情報の見直しを行う。			

---

各実施計画兼評価シート

---

市 民 生 活 部





◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消費者相談窓口充実事業	担当部署	市民生活部 市民協働推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	消費者安全法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	昭和 50 年度	
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定
(小項目)		消費生活					
施策	8	消費者政策の推進					
基本事業	1	消費生活センターの充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の消費生活の安定と向上を図るため、市消費生活センターに、専門的知識を持った相談員を配置し、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行う。								
実施方針	①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、原則、常時2名体制で市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供を行うとともに、出前講座等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行う。 ②「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る		事業 内容 (R3)	①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供、あっせんを行う。 ②引き続き、相談員の研修参加を継続するほか、広報等への啓発記事の掲載や市公式ウェブサイトでの周知・啓発、若年者への啓発、相談員による出前講座や行政職員による講話の実施など、消費者トラブル未然防止のための啓発を行い、積極的に市消費生活センターを周知する。 ③加えて、地域の消費者問題への対応能力向上や消費者の自立支援のため、市内の関係機関・団体等と連携や情報交換等を行いながら、高齢者等の見守りネットワークをさらに充実させるほか、令和2年度に引き続き、エンカル消費の一つである食品ロス削減を中心に、消費者教育についても充実を図っていく。					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	研修会等への参加回数		27	15	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	11	5	10	10	10	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
消費生活センター相談件数			292	290	300	300	300	件	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成	継続	継続	継続	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	7,917	0	7,917	7,834	7,814

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	消費者相談窓口充実事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行った。また、消費者行政に関する研修等に積極的に参加し、相談知識を深めた。②消費者被害防止見守りネットワークにおいて悪質商法や特殊詐欺の現状を報告すると共に、センターを活用していただけるよう依頼した。③広報なるとや市公式ウェブサイト等に啓発記事を掲載したほか、啓発グッズの作成・配付、相談員による出前講座、職員による講話等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行った。啓発グッズについては、市内中学生・保護者へ向けた啓発パンフレットの配布及び消費者教育に関するアンケート調査を実施した。④より多くの市民に消費者問題への関心を深めてもらえるよう、エンカ消費に関する講演会を他のイベントと同時開催(令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止)するとともに、庁舎内に設置した「フードポスト」を活用し、「フードドライブ」を常時行えるように努めた。</p>					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 研修会等への参加回数	19	20	20	20	20	回
	2 出前講座啓発活動等実施回数	6	6	10	10	10	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	消費生活センター相談件数	288	257	300	300	300	件
	目標達成率(実績/目標)		85.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	6,092,277	0	5,700,077	0	5,700,077	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	1,240,000	0	1,026,000	0	1,026,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		4,852,277	0	4,674,077	0	4,674,077	
補助制度(名称、補助率など)	徳島県消費者行政強化事業補助金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	消費生活センター相談件数		成果指標に対する所見	<p>架空請求など明らかに特殊詐欺と判別できる相談が減少し、通信販売・訪問販売等の契約トラブルに関する相談が主になってきており、相談内容も複雑化している。相談件数は目標に届かなかったが、地道な周知などにより、架空請求などの明らかな特殊詐欺事例は市民が相談することなく自身で判断できるようになってきたのではないかとと思われる。</p>		
	目標	300	件				
	実績	257	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>消費者安全法の改正により、市消費生活センターに「消費生活相談員(有資格者)」を置くことが法定化されていることから、相談員の継続的な確保(報酬の引き上げや代替要員等)が課題となる。相談に対応するだけでなく、市民がトラブルに遭わない賢い消費者になるよう、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用した情報発信を強化するとともに、地域での出前講座やチラシ配付、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」の活用などで周知・啓発強化に努め、消費者教育の充実を継続して図る必要がある。また、啓発等に関しては、現状は県の補助金を活用してグッズ作成等の事業を実施しているため、補助期間が終了した場合における予算の確保が必要である。なお、近年消費者トラブル防止以外にもエンカ消費や食品ロス削減といった新たな課題への対応が必要であるが、同センターは消費者トラブルへの相談・啓発等を主としているため、これらの課題は主に行政職員の役割となるが、「消費生活」という分類では相談員にとっても関連性は高いため、当該課題に対しても連携を図っていく必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>市消費生活センターにおいて、原則、常時2名体制で相談に応じる体制を維持し、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供を行う。また、地域の集會等に出向いての出前講座や講話の実施、啓発グッズの配付、消費者トラブル防止に向けた啓発を行うと共に、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。 食品ロス削減に関し、市庁舎内設置した「フードポスト」を活用するとともに、食品ロス削減を含めた社会貢献につながるエンカ消費について出前講座や講演会を開催するなど、積極的な周知・啓発を図る。</p>			
	令和5年度	令和4年度と同じ			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業	担当部署	市民生活部 市民協働推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動指針		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成 23 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定
(小項目)		市民参画・市民協働					
施策	1	市民参画・市民協働の推進					
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input checked="" type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市の自治基本条例の周知を図るとともに、地域課題の解決に向けて、市民等と行政が適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組むための環境づくりを行う。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①市民活動団体等が主体的に取り組む公益的活動・まちづくり活動の支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの周知啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援			①「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」の交付 ②音響機器、テント、車両等の無償貸し出し ③広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等による情報発信 ④市民活動交流研修会の開催 ⑤市民協働推進本部会議の開催と職場内研修の実施 ⑥飛び込み型出前市長室の開催 ⑦NPO法人の設立・運営や市民活動の相談支援 ⑧市公式ウェブサイト「地域デビュー」の更新 ⑨ボランティア活動に係る補助金交付 ⑩自治基本条例施行10周年記念事業実施				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市民との協働事業数	160	150	150	150	150	事業
	2 まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	0	1	1	1	1	回
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	市民との協働事業数	160	150	150	150	150	事業

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会	①「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④飛び込み型出前市長室	①「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④飛び込み型出前市長室	①「WeLoveなんとまちづくり活動応援補助金」事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④飛び込み型出前市長室	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,919	0	3,919	856	856

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>①フェーズフリーを推進する事業(2事業)に対して「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」を交付し、地域・社会の課題解決に向けた支援を行った。</p> <p>②市民の地域活動を支援するため、貸出し用備品に感染症対策備品(パーティションパネル40セット、自動検温器付き手指消毒機器2台)を新たに追加し、貸出しの周知を市公式ウェブサイト等で行った。</p> <p>③広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等を活用し、市民団体の活動予定や活動状況、会員・参加者の募集などの周知を行い、団体の活動のサポートを行うなど、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。また、「町内会加入促進パンフレット」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努めた。</p> <p>④予定していた市民活動交流研修会や、飛び込み型出前市長室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。</p> <p>⑤市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、より効率的・効果的な職場内研修の実施内容等について検討した。</p> <p>⑥市ボランティアセンター及びボランティア連絡協議会に対し補助金を交付するなど、市内のボランティア活動の普及等の推進に努めた。</p> <p>⑦広報紙での自治基本条例特集記事掲載や10周年記念グッズ(チラシ及びクリアファイル)の作成を通じ、理念の浸透に努めた。</p>
--------	-----------	--

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市民との協働事業数	161	154	150	150	150	事業
	2 まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	0	0	1	1	1	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	市民との協働事業数	161	154	150	150	150	事業
	目標達成率(実績/目標)		102.7	-	-	-	%

事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計	2,390,531	0	2,196,260	0	2,196,260
財源内訳	国庫支出金	279,374	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,236,000	0	923,000	0	923,000
	一般財源	875,157	0	1,273,260	0	1,273,260

補助制度(名称、補助率など)	その他:ポートルース鳴門まちづくり基金
----------------	---------------------

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市民との協働事業数		成果指標に対する所見	今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。		
	目標	150	事業				
	実績	154	事業				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例や協働の理念の浸透を図るため、引き続き、広く周知・啓発を行っていくとともに、職員についても研修の効率化や充実を図るなどにより協働に対する意識向上を進める。 地域活動への参加促進を図るための、効果的な周知方法等を検討する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を行う。</li> <li>市民協働推進本部会議やワーキンググループ等を開催し、協働のまちづくりのさらなる拡充等について検討を行う。</li> <li>「町内会加入促進パンフレット」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努める。</li> </ul>			
	令和5年度	令和4年度と同様。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自治振興会連携促進事業	担当部署	市民生活部 市民協働推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	地域づくり事業活性化補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)		コミュニティ			終期	未定
施策	2	地域のまちづくりの推進				
基本事業	1	コミュニティ活動の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	各地区の実情や特色などに合わせた地域住民による主体的な地域づくりの充実を図るため、協働のパートナーと位置づけた地区自治振興会との連携を促進し、活動を支援する。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①地区自治振興会との信頼関係強化に向け、地域づくり活動を支援する。 ②地区自治振興会の行事や活動を広く市民に周知する。 ③町内会等への加入促進を図る。			①「地域づくり事業活性化補助金」を活用した地域づくり事業を支援する。 ②自治振興連合会と連携のうえ、地区自治振興会の活動を広報紙や市公式ウェブサイトなどで広く市民に発信する。 ③町内会等への加入促進パンフレットを転入者等に配付するとともに、加入の取り次ぎを行う。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	地区自治振興会会長会の開催	9	9	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	8,000	0	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
地区自治振興会と協働して実施している事業			23	24	25	25	26	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	11,004	0	11,004	11,004	11,004

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	自治振興会連携促進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①市民の主体性を尊重しながら地域の課題解決を図るため、各地区自治振興会に「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援した。また、随時、地区自治振興会会長会を開催するなど地域が抱える課題等の把握や市の施策への情報共有に努めた。 ②市公式ウェブサイト等を活用し、各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知した。 ③「町内会(自治会)への加入促進パンフレット」を転入者等に配付し、各地区の町内会への取り次ぎを行い、加入促進を図った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	地区自治振興会会長会の開催	10	8	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	0 (開催見送り)	0 (開催見送り)	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	地区自治振興会と協働して実施している事業		23	23	25	25	25	件
	目標達成率(実績/目標)			92.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		11,004,000	0	10,789,020	0	10,789,020	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		11,004,000	0	10,789,020	0	10,789,020		
補助制度(名称、補助率など)		地域づくり事業活性化補助金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	地区自治振興会と協働して実施している事業		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスにより中止となった事業もあったが、今後も地区自治振興会との情報共有を図りながら、協働による取り組みを推進していく。		
	目標	25	件				
	実績	23	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の主体性を尊重しながら協働によるまちづくりを推進するため、引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を各地区自治振興会に交付し、新型コロナウイルスに留意しながら各種の活動を支援していく。 また、自治振興連合会とも連携しながら、町内会への加入促進や地域コミュニティ活動の担い手育成などの課題に対して検討をする必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援する。 ②各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知していく。 ③町内会(自治会)への加入促進パンフレットを転入者等に配付し、各地区の町内会への取り次ぎを行い、加入促進を図る。			
	令和5年度	令和4年度と同様。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コミュニティ助成事業	担当部署	市民生活部 市民協働推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	コミュニティ助成事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業 期間	開始	平成 6 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)		コミュニティ			終期	未定
施策	2	地域のまちづくりの推進				
基本事業	1	コミュニティ活動の推進				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図る。		事業 内容 (R3)	コミュニティ活動の充実と地域の活性化を促進するため、コミュニティ団体の活動に必要な備品等の整備に対して支援を行う。				
実施方針	(一財)自治総合センターが助成している「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域に密着して活動している団体が実施するコミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に関する事業に補助金を交付する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	新たに助成を受けた団体数	1	1	1	1	1	団体
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
助成を受けた団体数(延べ団体数)			37	38	39	40	41	団体
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	北灘地区自治振興会が行う地域活動のために使用する備品購入の助成を行った。	長江地区コミュニティ交流会のカラーリング用具等の備品購入の助成を行った。	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、申請等の手続きを順次進める。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,500	0	2,500	2,500	2,500

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	コミュニティ助成事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	鳴南地域における伝統文化継承とコミュニティ活動の活性化を図るため、御輿及びお練り道具箱の修繕に対して助成を行った。							
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位		
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	新たに助成を受けた団体数		1	1	2	2	2	団体
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	助成を受けた団体数(延べ団体数)		1 (38)	39	41	43	45	団体	
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%	
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		2,400,000	0	2,500,000	0	2,500,000		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		その他	2,400,000	0	2,500,000	0	2,500,000		
一般財源		0	0	0	0	0			
補助制度(名称、補助率など)		一般コミュニティ助成事業(限度額250万 補助率:10/10)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	助成を受けた団体数(延べ団体数)		成果指標に対する所見	毎年採択されており、コミュニティ活動の活性化に寄与しているものと考えている。		
	目標	39	団体				
	実績	39	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	当該補助金の財源である宝くじの普及広報事業の実施や募集要件は流動的な部分もあるが、(一財)自治総合センターが同事業を継続する限りは、地域の要望に基づき、応募を続けていきたい。 また、複数の団体が採択される場合もあることから、要望があった地域については、募集要件を精査しながら、できる限り全て応募を行えるようにしていきたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①堂浦地区自治振興会に対し、地域におけるコミュニティの活性化を図るため、必要な備品(御輿の修繕)に対して助成を行う。 ②徳長村自治会に対し、地域におけるコミュニティの活性化を図るため、必要な備品(子ども御輿、太鼓、法被等の購入)に対して助成を行う。			
	令和5年度	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、応募・申請等の手続きを順次進める。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	担当部署	市民生活部 スポーツ課			
総合計画体系				根拠法令 計画など				
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	18	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると				終期	未定	
(小項目)		観光						
施策	1	観光・交流のまちづくり						
基本事業	4	にぎわいと交流の創出						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	徳島ヴォルティスやホームタウン協議会加盟市町と連携し、イベント出展やPR事業を行い、鳴門市民のみならず対戦チームのサポーターなど、他県から観光客が訪れることで新たな地域間交流の創出をめざす。		事業 内容 (R3)	①ホームゲームイベントで市の特産品PRや東京2020オリンピックの機運醸成を図るイベントを実施する。 ②プロスポーツ応援ナンバープレートの交付や転入者のホームゲーム無料招待、JR鳴門駅をはじめとした市内の装飾など応援機運醸成を図る。 ③高齢者向けの健康教室や幼稚園児・小学生向けの運動教室を実施する。 ④ヴォルティスロードの整備を実施する。 ⑤市内交通拠点やスタジアムにおいて、ヴォルティスロードマップ・プロスポーツ観戦バスを配布する。 ⑥アウェイゲーム会場で市の特産品PRや観光パンフレット配布等を実施する。				
実施方針	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②応援機運を醸成する企画の実施 ③ヴォルティスロードの整備 ④アウェイサポーター受入環境の整備・魅力発信							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	イベント等応援機運醸成	8	8	8	8	8	回
	2	サポーター受入環境整備・魅力発信	4	4	4	4	4	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
ホームゲーム平均観客数			5,736	3,101	6,000	6,400	6,800	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	①応援機運を醸成する企画の実施 ②ヴォルティスロードの整備 ③アウェイサポーター受入環境の整備・魅力発信	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②応援機運を醸成する企画の実施 ③ヴォルティスロードの整備 ④アウェイサポーター受入環境の整備・魅力発信	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,648	1,242	7,890	3,478	3,478

◎当初からの変更点

変更内容	9月補正 2,100千円 プロスポーツ支援事業補助金(徳島ヴォルティス若手選手育成強化事業) 既決予算内における流用 △858千円
------	---

事務事業名 「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		7年ぶりのJ1リーグ戦であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大半の試合で収容率上限50%やビジター席の販売停止等の入場者数制限措置がとられ、ホームゲームにおける平均観客数は目標を達するまでに至らなかった。また、アウェイゲームでのPR事業、高齢者向けの健康教室や幼稚園・小学校での運動教室、県民デーなどについても感染拡大への懸念から中止となった。一方で、市民デーにて、感染防止対策を講じたうえで東京2020オリンピック関連等のパネル展示を実施したほか、若手選手の育成支援を目的に、徳島ヴォルティス支援としては初の試みとなるふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングを行うなど、コロナ禍での応援機運醸成に取り組んだ。また、大道銀天街のアーケードフラッグ更新など、サポーター受け入れ態勢の整備も行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	イベント等応援機運醸成	13	8	8	8	8	回
	2	サポーター受入環境整備・魅力発信	5	4	4	4	4	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ホームゲーム平均観客数		3,101	5,631	6,400	6,800	7,200	人
	目標達成率(実績/目標)			93.9	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		9,390,798	0	3,039,874	0	3,039,874	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		9,390,798	0	3,039,874	0	3,039,874		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ホームゲーム平均観客数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大半の試合について入場者数が制限されていたが、概ね目標を達成することができた。		
	目標	6,000	人				
	実績	5,631	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チームのJ2降格により観客動員数の低下が予見されるため、ホームゲームの周知や誘客、応援機運の醸成について新規企画の検討などに取り組む必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	アウェイサポーターの受け入れ環境整備・魅力発信に注力するとともに、鳴門市民デー・徳島県民デーなどホームイベントにおける賑わい創出、市民の応援機運を盛り上げる企画などを実施する。			
	令和5年度	令和4年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.27

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業		担当部署	市民生活部 スポーツ課			
総合計画体系					根拠法令計画など				
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり			事業期間	開始	令和 元 年度		
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					終期	未定	
(小項目)		観光							
施策	1	観光・交流のまちづくり							
基本事業	4	にぎわいと交流の創出							
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	スポーツを「産業」として捉え、スポーツ大会・合宿を誘致開催することにより、スポーツの振興と交流人口の拡大による地域・経済の活性化を図る。							
実施方針	①大学等のスポーツ大会・合宿を誘致し、地域・経済の活性化を図る。 ②インバウンド合宿の誘致に取り組み、市内の子どもたちの国際交流を推進する。 ③卓球のプロリーグ「Tリーグ」及びバスケットボールのプロリーグ「Bリーグ」を誘致・開催する。 ④「スポーツコミッション」の活動推進を図る。							
	①関西圏の旅行代理店等を訪問し、大学の体育会部活動・サークルをメインターゲットにスポーツ大会・合宿を誘致する。 ②徳島インディゴソックスと連携し、中国・韓国等の野球の盛んな東アジア圏からのインバウンド合宿を誘致する。 ③県・市卓球協会と連携しながら、Tリーグ事務局へのアプローチを進め、本市で「Tリーグ」を開催する。また、県・市バスケットボール協会と連携し、本市で「Bリーグ」を開催する。 ④新たに設立する予定の「スポーツコミッション」の活動を推進する。							
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	4	3	4	4	4	回	
	2							
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	スポーツ大会・合宿誘致実績		8	5	12	14	16	回
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致 ④「スポーツコミッション」の活動推進	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	4,327	△ 1,000	3,327	4,327	4,327

◎当初からの変更点

変更内容	◎3月補正 △1,000千円 インバウンド合宿の開催が困難なため予算を減額する。
------	---

事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くのスポーツ大会・合宿がキャンセルとなる中、NARUTOスポーツコミッションの設立初年度として、公式Webサイトの開設やスポーツ大会・合宿誘致ポスターの配布、地域全体で大会・合宿誘致を推進する体制の構築を目的としたインナーマーケティングの実施、武道ツーリズムの実現について検討を行う武道ツーリズム研究会の発足など、組織の基盤整備に努めた。また、スポーツ関連産業の創出事業として開発した屋内用トレーニング足袋「ナルトレタビ」とアスリート向けのお弁当「NARUTOスポーツフード」の販売を開始した。その他、Bリーグの公式戦誘致を実現したが、新型コロナウイルス感染症の影響により直前で開催中止となった。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	旅行代理店等訪問回数	4	3	4	4	4	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	スポーツ大会・合宿誘致実績		6	6	14	16	18	回
	目標達成率(実績/目標)			50.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,244,880	0	3,100,800	0	3,100,800	
	財源内訳	国庫支出金	3,000,000	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		244,880	0	3,100,800	0	3,100,800		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	スポーツ大会・合宿誘致実績		成果指標に対する所見	スポーツ大会・合宿の申し込みが16件あったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により直前キャンセルが10件発生したため、目標には届かなかった。		
	目標	12	回				
	実績	6(16)	回				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	アフターコロナを見据えて、今後さらにスポーツ大会・合宿誘致を推進するため、NARUTOスポーツコミッションをはじめ、市内スポーツ団体や事業者との連携を強化し、地域全体でスポーツを通じた地域・経済の活性化を図る必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	NARUTOスポーツコミッションを軸として、①スポーツ大会・合宿の誘致・開催、②プロスポーツなどスポーツイベントの誘致・開催、③スポーツツーリズムの推進、④スポーツ関連産業の創出の4点を事業の柱に据え、各種施策の推進を図る。			
	令和5年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.28

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業	担当部署	市民生活部 スポーツ課		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 22 年度	
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なる					
(小項目)		スポーツ・レクリエーション					
施策	3	生涯スポーツの振興					
基本事業	2	スポーツ活動の推進			終期	未定	
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	「チャレンジデー」への参加を通じて日常的なスポーツの習慣化や市民の健康増進、地域活性化を図る。	
実施方針	5月最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数を、人口規模がほぼ同じ自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。	①チャレンジデーの開催にあたり、市内の学校や企業、各団体への周知活動を行う。 ②実行委員会や地域団体が主催するスポーツイベントを開催することで参加率の向上を図る。 ③東京2020オリンピックに向け、スポーツ機運の高まりを活かした企画を盛り込み、より多くの市民参加を促す。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 参加者数	38,479	0	35,000	35,000	35,000	人
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	参加率	66.6	0.0	60.0	60.0	60.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	KOBA☆トレの実施	中止	チャレンジデーへの参加	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	300	0	300	300	300

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業
-------	--------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容	市民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」は例年5月最終水曜日に開催されているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、10月最終水曜日に日程を変更しての開催となった。また、感染症対策のため市内での各種イベントを中止し、テレビ鳴門との共同事業としてチャレンジデー当日一日を通して運動啓発動画を放送するとともに、市公式ウェブサイトにも同様の動画を掲載し、それらを視聴することで体を動かしてもらった「リモート開催」により実施した。 運動啓発動画作成については、鳴門市を拠点に活動するプロスポーツ団体や鳴門市まちづくりアドバイザーである木場克己氏、総合型地域スポーツクラブなど市内で活動するスポーツ関連団体の協力のもと、テレビ鳴門に撮影を依頼し動画を制作した。						
	<b>指標名</b>		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	参加者数	0	33,367	35,000	35,000	35,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	参加率		0	59.3	60.0	60.0	60.0	%
	目標達成率(実績/目標)			98.8	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		16,330	0	300,000	0	300,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		16,330	0	300,000	0	300,000		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	参加率		成果指標に対する所見	例年行っているイベントは開催できなかったが、運動啓発動画視聴によるリモート開催により市民に運動の機会を提供することができた。		
	目標	60.0	%				
	実績	59.3	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チャレンジデーの認知度は高まってきていると実感しているが、イベント開催当日のみならず、運動を日常的に習慣化させるための施策を盛り込んでいく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染拡大状況を注視しながら、今回実施したリモート開催と並行して従来行ってきた市内各所でのイベントを再開し、より多くの市民の参加を呼び掛ける。各プログラムの実施にあたっては、参加者の検温、アルコール除菌やソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。			
	令和5年度	令和4年度の実施内容からフィードバックし、実施内容を検討する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	担当部署	市民生活部 スポーツ課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市スポーツ推進計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	令和 元 年度	
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると				終期	未定
(小項目)		スポーツ・レクリエーション					
施策	3	生涯スポーツの振興					
基本事業	2	スポーツ活動の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもから高齢者、障がいの有無を問わず、スポーツ・運動する機会を創出することで、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。							
実施方針	①幼児期にさまざまな運動・スポーツを体験する機会を創出することにより、しっかりと体を動かす土台を作り、児童期以降での運動能力向上につなげる。 ②障がい者スポーツの普及・促進により、障がいのある人とない人が一緒に活動できる地域社会を目指す。		事業 内容 (R3)	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ・市内幼稚園、認定子ども園で陸上・体操・リトミック等の運動教室を実施する。 ・幼児の運動能力調査を実施し検証を行う。 ②障がい者スポーツの推進 ・車いすスポーツを体験する障がい者ふれあい交流授業を市内の小中学校で実施する。 ・定期的に車椅子バスケットボール・車椅子ソフトボールを実施し、障がい者と健常者がともに交流し活動する場を創出する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数	85	85	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
訪問指導・教室実施回数			88	88	88	88	88	回
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,800	0	1,800	1,800	1,800

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業
-------	----------------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>幼児期におけるマルチスポーツ推進事業では、市内の幼稚園・認定子ども園10園に指導者を派遣して陸上・体操・ダンス等の運動指導を85回実施し、運動能力向上を図った。様々なスポーツを体験することにより自分自身がどのような運動に適正があるのかを知ることは、子どもたちのスポーツ活動の可能性を広げるものでもある。また、事業実施後には運動能力調査により効果測定を行った。障がい者スポーツ推進事業では、障がい者スポーツへの理解を深めるため、市内2小学校1中学校において車椅子バスケットボールや車いすソフトボールの体験会を実施し、競技スポーツを行っている障がい者の方と触れ合う機会を創出した。そのほか、勤労者体育センターにおいて定期的に車いすバスケットボール等を実施し、障がい者の方と健常者が交流し活動する場を提供した。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数	82	85	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	訪問指導・教室実施回数		85	88	88	88	88	回
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	訪問指導・教室実施回数		成果指標に対する所見	<p>幼児を対象に実施するマルチスポーツ推進事業では、コロナウイルス感染防止対策を講じ、各プログラムを予定回数実施できた。</p>		
	目標	88	回				
	実績	88	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>幼児期におけるマルチスポーツ推進事業を実施していく上で、訪問する各幼稚園等と総合型地域スポーツクラブとの間で訪問日数・回数など綿密な連絡調整が必要となる。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>子どもから、高齢者・障がいの有無を問わず、さまざまなカテゴリーでスポーツ振興を図る観点から、総合型地域スポーツクラブと連携し、運動の機会を十分に提供できていない就学前の子どもや障がいのある方を対象とした事業を実施する。</p>			
	令和5年度	<p>今年度の実施状況により次年度以降検討する。</p>			



実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.30

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課 教育委員会 学校教育課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成 25 年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると				終期	未定
(小項目)							
施策	2	シティプロモーションの推進					
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	「第九」アジア初演に関連する観光・文化・歴史分野などの既存の資源を活用することで、「第九」アジア初演ブランドを推進し、地域活性化や文化振興に繋げる。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①「なると第九」の文化や歴史も合わせて学ぶ第九学習の実施 ②「なると第九」関連企画の実施			①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③「なると第九」紹介映像の作成				

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	446	300	400	400	400	人
	2	PRイベント実施回数	16	15	15	15	15	回
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	ドイツ館周辺への来訪者数		76,718	30,000	40,000	40,000	40,000	人

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①第38回第九演奏会 ②小学校で合唱講習の実施 ③松江豊寿シンポジウム ④「なると第九」教育旅行誘致 ⑤第九合唱発表会 など	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③第39回第九演奏会(コロナのため中止)	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③「なると第九」紹介映像の作成	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,464	0	2,464	6,386	6,386

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業
-------	-----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②「なると第九～第九アジア初演の地～」動画制作 ③『第九』アジア初演100周年記念継承事業『第九』特別講演Youtube公開					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	300	341	400	400	400	人
	2	PRイベント実施回数	12	12	15	15	15	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ドイツ館周辺への来訪者数		35,966	35,800	40,000	40,000	40,000	人
	目標達成率(実績/目標)			89.5	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		2,224,753	0	2,300,500	0	2,300,500	
	財源内訳	国庫支出金	1,456,500	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		660,000	0	2,252,000	0	2,252,000		
一般財源		108,253	0	48,500	0	48,500		
補助制度(名称、補助率など)		その他:第九基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		成果指標に対する所見	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、密の回避や県外移動の自粛が求められる状況であったが、現状維持できた。		
	目標	40,000	人				
	実績	35,800	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「第九」演奏会の開催が難しい状況が続いている。こうした状況に対応し、これからも「なると第九」のブランド化を押し進めていくため、効果的で効率的な方法について検討する。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九関連イベントの実施 ③「第九」アジア初演100周年継承事業の委託(全日本「第九を歌う会」連合会へ委託)			
	令和5年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②「第九」関連イベントの実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課 ドイツ館	
総合計画体系				根拠法令 計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム	
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成 28 年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	年度
(小項目)		シティプロモーション				
施策	2	シティプロモーションの推進				
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。		事業内容 (R3)	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理 ②県と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催 ③申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業 ④館内外における周知活動および企画展の開催 ⑤ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業の一環として、板東俘虜収容所の元捕虜で音楽家のパウル・エンゲル生誕140周年を記念した企画展の開催				
実施方針	①徳島県と共同し、県内外での周知啓発活動と、ユネスコへの申請書作成を進める。 ②ドイツ館における資料保存環境および展示内容を改善する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	0	1	1	1	1	回
	2	周知啓発回数	11	2	10	10	10	回
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	ドイツ館周辺への来訪者数		76,718	30,000	40,000	40,000	40,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①ドイツ兵の慰霊碑建設100周年記念事業 ②館外展 ③レプリカ作成 ④資料整理	①ベートーヴェン生誕250周年記念事業 ②資料整理	①パウル・エンゲル生誕140周年記念企画展 ②資料整理 ③申請書提出	①松江豊壽生誕150周年記念展示 ②資料整理	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,588	0	1,588	3,051	3,051

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための申請書作成およびその他資料の台帳整理 ②県と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催 ③パウル・エンゲル生誕140周年記念企画展の開催およびドイツ館講座の開催 ④申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業、およびドイツ語版パンフレットの作製 ⑤PR動画放映用の液晶モニタの設置					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	1	1	1	1	1	回
	2	周知啓発回数	3	7	10	10	10	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	ドイツ館周辺への来訪者数		35,966	35,800	40,000	40,000	40,000	人
	目標達成率(実績/目標)			89.5	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,249,100	0	1,287,390	0	1,287,390	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		200,000	0	90,000	0	90,000		
一般財源		3,049,100	0	1,197,390	0	1,197,390		
補助制度(名称、補助率など)		その他:ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		遅れている	
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染予防対策の継続により人の動きの回復が見込めなかったことが、来訪者数に影響した。		
	目標	40,000	人				
	実績	35,800	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①県・ドイツ側と連携し、次回の「世界の記憶」登録を目指して申請内容の精査や再調査を継続する。 ②ユネスコ「世界の記憶」登録申請対象資料の安全な保存活用を進める。 ③企画展などを通して板東俘虜収容所関連資料の周知広報を推進する。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①企画展等を通じた事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ユネスコ「世界の記憶」への登録申請準備			
	令和5年度	①企画展等を通じた事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ユネスコ「世界の記憶」への登録申請書提出			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.32

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国際・国内交流事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課 産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	昭和 49 年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なる				終期	未定
(小項目)		国際・国内交流					
施策	3	国際・国内交流の推進					
基本事業	1	交流のひとつづくり					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化をめざす。		事業 内容 (R3)	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 ・第23回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場の創出 ・第23回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。 ②中国友好都市との交流 ・張家界市と友好都市提携締結10周年となることから、張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図る。 ③国内親善都市会津若松市との交流 ・会津まつりへ訪問し、交流親善を図る。 ④その他国外・国内都市との交流					
実施方針	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る。 ②中国友好都市との交流を図る。 ③国内親善都市会津若松市との交流を図る。 ④その他国外・国内都市との交流を推進する。								
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	親善使節団参加者数	リュウ市/鳴門市	38	-	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数	リュウ市/鳴門市	12	-	12	15	15	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	使節団新規参加者の割合(リュウ市/鳴門市)			58	-	60	60	60	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①第23回鳴門市親善使節団の派遣 ②会津若松市への市民団の派遣	①第23回リューネブルク市親善使節団の受入(コロナのため中止) ②張家界市訪問団の受入(未定) ③会津若松市の訪問(コロナのため中止)	①第23回リューネブルク市親善使節団の受入 ②張家界市訪問団の受入 ③会津若松市の相互訪問	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	4,014	△3,595	419	3,988	3,988

◎当初からの変更点

変更内容	新型コロナウイルス感染拡大のため、以下の事業が中止となった。 ・第23回リューネブルク市一般及び青少年親善使節団の受入 ・張家界市訪問団の受入 ・会津まつり訪問
------	---

事務事業名	国際・国内交流事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 R2から延期となっている第23回リューネブルク市親善使節団を受け入れる予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、年度内の来鳴は中止となった。コロナ禍でもお互いを思う気持ちを届けようと、横断幕をリューネブルク市に送付した他、退任されるメドケ市長の送別会をオンラインで開催し、交流を深めた。</p> <p>②中国友好都市との交流 張家界市訪問団の受入に向けて調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、年度内の来鳴は中止となったが、友好都市提携10周年を記念し、企画展を実施した。</p> <p>③国内親善都市会津若松市との交流 新型コロナウイルス感染拡大のため、会津まつりへの訪問は中止した。</p> <p>④その他国際・国内交流事業 ドイツ大使館や総領事館より、陸軍大佐や総領事らが来鳴され、交流を図った。</p>							
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位		
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	親善使節団参加者数	リユ市/鳴門市	-	-	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数	リユ市/鳴門市	-	-	15	15	15	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	使節団新規参加者の割合(リユ市/鳴門市)		-	-	60	60	60	%	
	目標達成率(実績/目標)		-	-	-	-	-	%	
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算					
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		173,637	0	260,624	0	260,624		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
一般財源		173,637	0	260,624	0	260,624			
補助制度(名称、補助率など)									

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合(リユ市/鳴門市)		成果指標に対する所見	第23回リューネブルク市親善使節団を受け入れるための調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、海外との往来が原則禁止となり、ドイツからの使節団も来鳴中止となった。		
	目標	60	%				
	実績	-	%				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>・海外との往来が難しいコロナ禍において、市民団の相互訪問が一時停止している状態である。今後は、相互訪問が難しい期間、オンライン会議等の代替イベントを考え、これまで以上に友好交流への促進へ取り組んでいく必要がある。また、コロナ終息後は、使節団の派遣・受入を継続して行き、未来の国際交流を担う人材育成に積極的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>・張家界市との更なる交流を図るため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取り組みが必要である。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>新型コロナウイルスの状況を注視しながら、リューネブルク市親善使節団の受入れの準備、もしくは、それに代わるオンライン交流などを検討し、市民間の末永い交流の友好を築く機会を創出する。 張家界市との交流についても、訪問団の受入をはじめとする交流事業、もしくは、それに代わるオンライン交流などを検討し、友好関係の促進を図る。</p>			
	令和5年度	<p>新型コロナウイルスの状況を注視しながら、使節団の受入れ・派遣の準備、もしくは、それに代わるオンライン交流などを検討し、市民間の末永い交流の友好を築く機会を創出する。 引き続き、交流事業等を通じ、張家界市との交流を推進することで、友好関係の促進を図る。</p>			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	文化振興事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	昭和 46 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると			終期	未定
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	2	市民が参加・体験する機会づくり				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input checked="" type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流し、にぎわいづくりを推進する。	
実施方針	①鳴門市文化展・市展・芸能祭の開催及び市民文芸の発刊や市民ギャラリーその他文化事業を推進する。 ②文化芸術活動の情報提供や音響・照明・映像機器の貸し出しなど、文化芸術活動を支援する。 ③まちづくりに取り組む文化芸術活動を広報等で紹介したり、助成金申請等の相談に応じることで、文化芸術活動の活性化をサポートする。 ④文化のまちづくり基本計画を基礎とした文化振興活動を行う。	事業内容 (R3) ①5月に文化展、10月に市展、11月頃に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊する。 ②文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施するほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。 ③文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行う。 ④文化協会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業を実施し、さらなる文化振興活動の推進を図る。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 芸術祭開催延べ日数	26	15	26	26	26	日
	2 市民文化講座数	16	14	14	14	14	講座
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	文化協会加盟団体数	83	82	82	82	82	団体

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容 各年度の実施(予定)内容	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の検討	①芸術祭(市展)の開催 ※文化展・芸能祭はコロナのため中止 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の準備	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年事業の実施	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,379	678	3,057	1,136	1,136

◎当初からの変更点

変更内容	9月補正 680千円 文化協会創立50周年記念事業実施にあたり、舞台補助や講演料に費用増の要素が出た。 3月補正 △2千円 新型コロナウイルス感染拡大のため、四国遍路「受入態勢の整備」部会がオンラインでの開催となり、駐車場代が不要となった。
------	---

事務事業名	文化振興事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		10月に市展を開催し、3月に市民文芸および文化協会創立50周年記念誌を発刊した。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努めた。 新型コロナウイルス感染拡大のため、5月に予定していた文化展及び1月に予定していた文化協会創立50周年記念事業(芸能祭、徳島県文化研修会等)は中止となった。中止となった文化展に出展を予定していた作品を紹介する「NARUTOオンラインギャラリー」を開催した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	芸術祭開催延べ日数	15	17	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	16	14	10	10	10	講座
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	文化協会加盟団体数		82	74	77	77	77	団体
	目標達成率(実績/目標)			90.2	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,127,540	0	2,056,028	0	2,056,028	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		3,660	0	124	0	124		
一般財源		1,123,880	0	2,055,904	0	2,055,904		
補助制度(名称、補助率など)		その他:実費弁償費						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	文化協会加盟団体数		成果指標に対する所見	文化協会は高齢化が進んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大により拍車がかかり、活動ができなくなり退会する団体が増えた。		
	目標	82	団体				
	実績	74	団体				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	高齢化が進み、担い手を確保できない団体が活動継続が困難になりつつある。新型コロナウイルスの感染状況をみながら既存の文化事業を継続して実施するとともに、さらなる文化振興、にぎわいづくりのため市内各課との連携を図り、NPO等関係団体の協力を得ていかなければならない。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、芸術祭の開催や市民文芸の発刊を行う。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める			
	令和5年度	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、芸術祭の開催や市民文芸の発刊を行う。また、令和3年度に実施できなかった事業及び徳島県文化研修会を開催する。さらに、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。			



◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	ドイツ村公園トイレ整備事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課			
総合計画体系				根拠法令 計画など				
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	令和	3	年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると				終期	令和	4
(小項目)	2	公園・緑地						
施策	2	緑の保全と創出						
基本事業	1	公園の整備						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	現在ドイツ村公園にはトイレがなく、利用者に対して不便をかけている。そこでドイツ村公園の隣地にトイレを整備する。		事業 内容 (R3)	トイレ整備地の購入				
実施方針	①トイレを整備するための土地の購入 ②設計および施工							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	トイレ整備		—	—	土地購入・設計	施工・竣工	—	—
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	—	—	①土地の購入 ②設計	施工・竣工・供用開始	—		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	12,000	2,700	14,700	—	—

◎当初からの変更点

変更内容	設計業務委託料を9月補正で2,700千円計上し、令和4年度に繰り越した。
------	--------------------------------------

事務事業名	ドイツ村公園トイレ整備事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		トイレを整備するための土地を購入した。 補正予算により、設計を開始した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1		-	-	-	-	-	-
	2		-	-	-	-	-	-
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	トイレ整備		-	土地購入・設計	設計・着工	竣工	-	-
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		-	0	11,110,484	2,700,000	13,810,484	
	財源内訳	国庫支出金	-	0	0	0	0	
		県支出金	-	0	0	0	0	
		地方債	-	0	9,900,000	2,400,000	12,300,000	
その他		-	0	0	0	0		
一般財源		-	0	1,210,484	300,000	1,510,484		
補助制度(名称、補助率など)		地方債:地域活性化事業						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	トイレ整備		成果指標に対する所見	建設用地を購入し、設計を開始した。		
	目標	土地購入・設計	-				
	実績	土地購入・設計	-				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ドイツ村公園利用者が快適に利用できるトイレを整備する。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	設計を進め、トイレの整備を行う。			
	令和5年度				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	昭和	51	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		文化財					
施策	4	文化財の保護と活用		終期	未定		
基本事業	2	文化財の保護と活用					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	全国で唯一、近代化以前の製塩業の姿を残す「福永家住宅」について、必要な保存対策・環境整備を進めながら、公有化した建物・塩田の公開活用を行う。これにより、文化財を地域学習の材料としてだけでなく、地域活動及び観光資源として活用することをめざす。							
実施方針	①建造物の適切な保存整備をおこなう。 ②市民等への公開活用の機会を増やす。		事業内容(R3)	①保存活用計画に基づき、国庫補助事業による建物修理や整備活用を進める。 ②地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業(2回)を実施する。 ③緊急性の高い修繕事業の実施。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	福永家住宅の公開活用	8	10	20	20	20	回
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	福永家住宅の保存活用		80	85	85	90	90	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①保存活用計画(案)の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画(案)の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画に基づく建物修理・整備の検討 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,226	765	2,991	2,722	1,764

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正 673千円 (文化庁協議指導△64,440円 福永住宅塩田ポンプ修繕737,000円)
------	---

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①文化庁に内容の確認を受け、保存活用計画を策定した。 ②文化庁の許可を受け、老朽化の進む塩田石垣を修繕した。 ③コロナ禍の中、一般公開を開催できなかったが、グループ見学の受け入れを行った。 ④適切な管理に必要な自動火災報知設備・塩田跡ポンプの修繕を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	福永家住宅の公開活用	1	4	20	20	20	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	福永家住宅の保存活用		80	85	90	90	90	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		2,186,761	0	2,820,334	0	2,820,334	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		2,186,761	0	2,820,334	0	2,820,334		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	福永家住宅の保存活用		成果指標に対する所見	施設各所の修繕により、文化財としての価値の保存を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により施設公開などの活用事業が実施できなかった。また、懸案となっていた保存活用計画の策定を完了した。		
	目標	85	%				
	実績	85	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	保存活用計画の策定を終えたことで、今後計画に基づいた建造物・設備の修理や公開活用を進めていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。			
	令和5年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	文化財	事業 期間	開始	平成	16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)							
施策	4	文化財の保護と活用					
基本事業	2	文化財の保護と活用		終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市内にある史跡等地域文化財について、適切な保存管理を行うとともに、公開活用に努める。		事業 内容 (R3)				
実施方針	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用			①「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。また、史跡等の周知を図るため、普及活用事業として大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキングを行う。このほか、史跡の環境整備事業を継続する。 ②「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ④市内にある板碑(石造物)の文化財指定に向けた検討を進める。 ⑤大谷秋尾谷遺跡の石室レプリカを製作する。 ⑥指定文化財の説明板を整備する。			

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	20	20	25	25	30	%
	2 国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用	10	20	20	20	20	%
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small> 史跡等地域文化財の保存活用		35	40	45	50	55	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①保存活用検討委員会(鳴門・板東) ②公開事業の実施 ③普及用冊子発行(板東)	①保存活用検討委員会(鳴門・板東) ②公開事業の実施 ③説明板設置(宇志比古神社)	①保存活用検討委員会(鳴門・板東) ②公開事業の実施 ③石室レプリカの製作 ④説明板設置(3ヶ所)	①保存活用計画に基づく整備活用(鳴門・板東) ②公開事業の実施	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	7,885	705	8,590	2,951	2,611

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正76,970円 3月補正にて板東俘虜収容所パンフレットを増刷し、各所に配布した。また、新型コロナウイルス感染拡大のため保存活用委員会をリモート開催したため報償費・旅費が不要となった。 (報償費△70,000円旅費△238,030円印刷製本費385,000円)
------	---

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①補助金を活用し、大代古墳の獣害防止柵を設置した。 ②鳴門市板碑総合調査報告書を発行した。 ③「板東俘虜収容所跡」保存活用計画検討委員会を開催した。 ④岡崎御屋敷跡発掘調査報告書の発行のほか、大谷秋尾谷遺跡石室レプリカや文化財説明板を設置するなど地域文化財の普及活用を進めた。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	25	25	25	30	30	%
	2	国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用	-	10	15	15	20	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	史跡等地域文化財の保存活用		40	45	50	55	60	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		2,069,930	0	8,585,342	0	8,585,342	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,017,000	0	1,017,000	
		県支出金	33,000	0	33,000	0	33,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	4,700,000	0	4,700,000		
一般財源		2,036,930	0	2,835,342	0	2,835,342		
補助制度(名称、補助率など)		国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国50%) ※大代古墳獣害防止柵 徳島県文化振興事業費補助金(県50%) ※森崎貝塚環境整備ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		成果指標に対する所見	鳴門市の板碑調査報告書の発行のほか、大谷秋尾谷遺跡石室レプリカの製作や文化財説明看板を3箇所に設置し、市内文化財の周知啓発の環境を整えた。また、大代古墳については、獣害防止柵を設置し、文化財の保存環境を整備した。		
	目標	45	%				
	実績	45	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催する。 ③史跡の環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	令和5年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			

---

## 各実施計画兼評価シート

---

環 境 共 生 部





実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.37

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	環境学習推進事業	担当部署	環境共生部 環境政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例、鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例施行規則、鳴門市環境基本計画、なると環境プラン推進計画2017		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり			事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると				終期	未定
(小項目)		ごみ処理					
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の環境問題への意識高揚		事業内容(R3)	①環境学習・環境教育促進 ・絵手紙教室、エコクッキング等環境学習講座の開催 ・施設内見学ならびに紙漉き体験の実施 ・親子天体観測会等人気イベントの実施継続				
実施方針	環境学習・環境教育を促進する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	クリーンセンター視察数	12	40	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	27	35	35	35	35	件
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 環境学習館利用者数			7,244	7,100	8,300	8,300	8,300	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,019	△ 45	974	948	948

◎当初からの変更点

変更内容	決算見込みにより3月補正で報償費を減額補正した
------	-------------------------

事務事業名	環境学習推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵手紙教室、パッチワーク教室等環境学習講座の開催</li> <li>・施設見学、紙漉き体験</li> <li>・親子天体観測会(うずしおふれあい公園で開催)</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	クリーンセンター視察数	9	7	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	17	13	35	35	35	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	環境学習館利用者数		6,969	7,120	/	/	/	人
	目標達成率(実績/目標)			85.8	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		187,225	0	628,360	0	628,360	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		187,225	0	628,360	0	628,360		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	環境学習館利用者数		成果指標に対する所見	利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響等により目標数には届かなかったものの、概ね目標を達成したと判断した。		
	目標	8,300	人				
	実績	7,120	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人員体制や事業費とのバランスを考慮しながら、イベントや講座数の増加、1件当たりの参加者数の増加策について検討する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	継続実施			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	担当部署	環境共生部 環境政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり			事業期間	開始	平成 13 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		エネルギー使用		終期		未定	
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進					
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率先的実行					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無 <input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	本市の温室効果ガス排出量の削減								
実施方針	①「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策の実施 ②太陽光発電の効率的な利用 ③再生可能エネルギーの導入検討		事業内容(R3)	①温室効果ガス排出量の削減目標や温暖化対策を策定した、「鳴門市地球温暖化対策実行計画」をPDCAサイクルに基づき実施する。 ・改訂後の「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づき温暖化対策を継続 ・ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施 ②太陽光発電の効率的な利用を行う。 ・屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 ③再生可能エネルギーの導入について検討する。 ・再生可能エネルギーの導入可能性について検討					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	電力使用量		20,898	21,400	20,789	20,789	20,789	千kWh
	2	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	21,270.3	20,610.7	20,253.8	20,253.8	20,253.8	t	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)			21,270.3	20,610.7	20,253.8	20,253.8	20,253.8	t	

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定 ⑤市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑥再生可能エネルギーの導入可能性について検討	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催 ④市有地等活用による自然エネルギーの利用継続 ⑤再生可能エネルギーの導入可能性について検討	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	234	0	234	247	247

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策実施</li> <li>・ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施</li> <li>・屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続</li> <li>・再生可能エネルギーの導入可能性について検討</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	電力使用量	21,660	21,675	19,524	19,524	19,524	千kWh
	2	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	17,590.9	19,864.7	—	—	—	t
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		17,590.9	19,864.7	20,022.9	20,022.9	20,022.9	t
	目標達成率(実績/目標)			102.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		189,000	0	218,600	0	218,600	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		189,000	0	218,600	0	218,600		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		成果指標に対する所見	温室効果ガス排出量を目標値以下に抑えることができた。		
	目標	20,254	t				
	実績	19,865	t				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在の目標値は、国の従前の目標であった「2030年度に2013年度比26%減」を参考に設定しており、現在の国の目標である「2030年度に2013年度比46%減」に向けて目標を再設定する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	環境基本計画を、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画(事務事業編)及び同計画(区域施策編)を内包する新たな計画として改定することとし、令和4年度は、計画策定に向けて再生可能エネルギーの導入目標を策定する。			
	令和5年度	令和4年度に策定した再生可能エネルギーの導入目標を基に、地方公共団体実行計画(事務事業編)及び同計画(区域施策編)を内包する新たな環境基本計画を策定する。			

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業	担当部署	環境共生部 環境政策課			
総合計画体系				根拠法令計画など	環境基本法、鳴門市環境基本条例、鳴門市自治基本条例			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	令和	3	年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると				終期	令和	4
(小項目)		自然環境						
施策	1	自然環境の保全と生活環境づくり						
基本事業	1	全員参加による環境づくり						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	本市の望ましい環境像を示した「なると環境プラン2004」の着実な推進を図るための計画を策定する。							
実施方針	令和3年度で「なると環境プラン推進計画2017」の計画期間が終了することに伴い、新たに「なると環境プラン推進計画2022」を策定する。		事業内容(R3)	①「なると環境プラン推進計画2022」策定 ・環境ワークショップの実施 ・市民アンケートの実施 ・環境審議会の開催 ・「なると環境プラン推進計画2022」冊子作製				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	環境ワークショップ開催	-	-	2	-	-	回
	2	鳴門市環境審議会開催	-	-	2	-	-	回
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 「なると環境プラン推進計画2022」策定			-	-	策定	-	-	-
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	-	-	①環境ワークショップの実施 ②市民アンケートの実施 ③環境審議会の開催 ④「なると環境プラン推進計画2022」冊子作製	-	-		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	630	△ 313	317	322	-

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正で減額、流用で通信運搬費増額
------	--------------------

事務事業名	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業
-------	------------------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		当初は令和3年度中に計画を策定する予定としていたが、総合計画等の策定とスケジュールを合わせるため、令和4年度に策定することとした。 なお、推進計画の策定は見送ったものの、環境基本計画実施計画は引き続き策定し、各種取り組みの進捗管理は実施した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	環境ワークショップ開催	-	0	0	-	-	回
	2	鳴門市環境審議会開催	-	0	0	-	-	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	「なると環境プラン推進計画2022」策定		-	-	-	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)			0.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		-	0	309,750	0	309,750	
	財源内訳	国庫支出金	-	0	0	0	0	
		県支出金	-	0	0	0	0	
		地方債	-	0	0	0	0	
その他		-	0	0	0	0		
	一般財源	-	0	309,750	0	309,750		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		未達成	
成果指標に対する評価	指標名	「なると環境プラン推進計画2022」策定		成果指標に対する所見	総合計画等の策定とスケジュールを合わせるため、令和4年度に策定することとしたため、未達成となっている。		
	目標	策定	-				
	実績	-	-				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	環境基本計画を平成16年に策定して以降、環境行政を取り巻く環境は大きく変化しており、現状に合わせて環境基本計画の時点修正を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	環境基本計画を、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画(事務事業編)及び同計画(区域施策編)を内包する新たな計画として改定することとし、令和4年度は、計画策定に向けて再生可能エネルギーの導入目標を策定する。			
	令和5年度	令和4年度に策定した再生可能エネルギーの導入目標を基に、地方公共団体実行計画(事務事業編)及び同計画(区域施策編)を内包する新たな環境基本計画を策定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	いぬねこ愛護推進事業	担当部署	環境共生部 環境政策課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金交付要綱・動物の愛護及び管理に関する法律・徳島県動物の愛護及び管理に関する条例			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	26	年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると				終期	未定	
(小項目)		自然環境						
施策	01	自然環境の保全と生活環境づくり						
基本事業	2	生存基盤としての自然の保全と活用						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の動物の愛護及び管理についての理解促進と公衆衛生の向上及び社会生活の安全を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	①飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部を助成する。 ②犬や猫の適正飼育について啓発活動に取り組む。 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する。			①飼い犬及び猫の避妊・去勢手術推進事業 ・県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育についての啓発 ・広報誌や市ホームページにおける適正飼育に関する啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業 ・市内及び近郊の動物病院と協力し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	97	100	100	100	100	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	0	50	70	70	70	件
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		97	150	170	170	170	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,211	0	1,211	1,635	1,635

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名 いぬねこ愛護推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成</li> <li>・広報紙や市公式ウェブサイトにおける適正飼育に関する啓発</li> <li>・市内及び近郊の動物病院と協力し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助</li> <li>・補助要綱を改正し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助の手続きを簡素化</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	84	88	/	/	/	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	47	70	/	/	/	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		131	158	200	200	200	件
	目標達成率(実績/目標)			92.9	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	896,840	0	1,150,500	0	1,150,500		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	448,000	0	556,000	0	556,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	154,959	0	129,000	0	129,000	
一般財源		293,881	0	465,500	0	465,500		
補助制度(名称、補助率など)		徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金(県1/2) ※飼い犬及び猫の手術1件あたりの助成金額上限は5千円、 飼い主のいない猫の手術1件あたりの補助金額上限は10千円						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		成果指標に対する所見	キャンセル等により実績は目標件数を下回っているが、概ね目標を達成している。		
	目標	170	件				
	実績	158	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	飼い主のいない猫に関する苦情や相談は増加傾向にあり、引き続き積極的に飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用に対する補助を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業の補助件数を70件から100件に増加するとともに、実施可能病院を拡充する。			
	令和5年度	継続実施			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業	担当部署	環境共生部 環境政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	EM活性液培養装置貸与実施要綱・水質汚濁防止法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	昭和	51 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと					
(小項目)		河川・海岸			終期	未定	
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備					
基本事業	2	水辺環境の保全と再生					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市内の河川や水路の水域環境改善・浄化		事業 内容 (R3)					
実施方針	①生活雑排水等で汚濁が進んでいる河川や水路の水質調査を実施するとともに水質改善の方法を検討する。 ②身近な水路において、EMを活用した水質浄化に取り組む。			①水質調査の実施 ・市内各所における水質調査の実施継続 ②EM活用による水質浄化 ・EM活性液培養装置設置未設置地区への周知促進 ・機器の更新や培養に必要な資材等の提供				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 EM培養装置貸与団体地区数	8	12	12	12	12	箇所
	2 EM資材費	973	1344	1344	1344	1344	千円
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区(里浦)でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,720	0	2,720	2,993	2,993

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各所の水質調査</li> <li>黒崎地区でEM培養装置機器更新</li> <li>市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所
	2	EM資材費	1,016	968				千円
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	EM培養装置貸与団体地区数		8	8				箇所
	目標達成率(実績/目標)			66.7	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,778,975	0	1,830,005	0	1,830,005	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		1,038,000	0	1,049,000	0	1,049,000		
一般財源		740,975	0	781,005	0	781,005		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	EM培養装置貸与団体地区数		成果指標に対する所見	EM培養装置について新規貸与はなかったが、貸与団体地区においては継続的にEM活性液製造に取り組んだ。		
	目標	12	箇所				
	実績	8	箇所				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EM培養装置を貸与している地区は各々活動を進めているが、新規貸与する地区がここ数年なく、貸与地区数は伸び悩んでいる。全域設置を目指して今後も周知と促進を図っていく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	継続実施			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ごみ減量対策事業	担当部署	環境共生部 クリーンセンター廃棄物対策課		
総合計画体系				根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	11 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		ごみ処理			終期	未定	
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	ごみの減量や発生抑制、再資源化について具体的な取り組みや実効性のある啓発の推進								
実施方針	①生ごみの減量対策を図る。 ②ごみの減量や発生抑制、再資源化について啓発を行う。		事業内容(R3)	①生ごみ減量対策 ・EMボカシの無料配布 ・コンポストの斡旋 ・電気式生ごみ処理機の購入補助 ②啓発 ・小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布 ・ごみ減量スローガンコンクールを実施 ・オリジナルマイバック作成事業をPR ・雑がみ回収を推進					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	EMボカシ無料配布		154	190	190	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋+電気式生ごみ処理機購入補助	36	50	50	50	50	世帯	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)			17,792	17,792	17,024	16,863	16,795	t	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	58,970	△ 12	58,958	60,049	60,049

◎当初からの変更点

変更内容	△12千円 ごみ対策推進費 印刷製本費へ※「くらしとごみ」予算不足のため流用
------	--

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		コンポスト34個 276,800円 EMボカシ123個 136,950円 電気式生ごみ処理機24基 405,600円 計819,350円 小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布した。 オリジナルマイバッグ運動を呼び掛け、ごみ減量への啓発を図った。雑がみ回収専用手提げ袋を作成し、資源ごみ回収団体へ配布を行い雑がみの回収促進、啓発を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	EMボカシ無料配布	125	123	190	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋+電気式生ごみ処理機購入補助	66	58	60	60	60	世帯
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		17,698	17,461	16,863	16,795	16,727	t
	目標達成率(実績/目標)			97.5	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		40,743,543	0	51,444,075	0	51,444,075	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		40,743,543	0	51,444,075	0	51,444,075		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		成果指標に対する所見	継続してごみ減量補助制度と啓発を行い、全体のごみ排出量に関して概ね目標を達成できたためB評価とする。		
	目標	17,024	t				
	実績	17,461	t				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EMボカシ無料配布について、一定数の利用は継続してあるものの、減少傾向が見られるため、継続した広報活動により利用者増加への取り組みを強化する必要がある。さらなるごみ減量に向けて各家庭における意識向上が図られるよう、今後も取り組みを進めていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	現在の事業を継続していくことに加えて、生ごみの水切りや雑がみ回収などについて、各地域団体へ出向いて説明と啓発を行い、ごみ減量に向けた取り組みがより一層強化できるよう働きかけていく。			
	令和5年度	同上			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	資源ごみ対策事業	担当部署	環境共生部 クリーンセンター廃棄物対策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市資源ごみ回収事業報奨金交付要綱		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	5 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと					
(小項目)		ごみ処理			終期	未定	
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①資源ごみ回収団体に対する支援 ②市民の廃棄物に対する意識の高揚		事業 内容 (R3)					
実施方針	①資源ごみ回収団体に対し報奨金を交付し、資源の有効化とリサイクルの促進を図る ②資源ごみ回収制度の周知を図る			①資源ごみ回収 ・資源ごみ回収団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付 ・資源ごみ回収団体の新設				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	資源ごみ回収団体回収量	1,569	1,492	1,795	1,784	1,774	t
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	資源ごみ回収団体数		197	200	201	201	201	団体
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	13,395	0	13,395	13,179	13,179

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	資源ごみ対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容							
	資源ごみ回収団体に対し、指定品目(新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類)の回収量に応じた報奨金(1kgあたり5円)を交付するとともに、雑がみ回収促進や啓発を図るため、雑がみ回収専用手提げ袋と、缶類の回収に必要なビニール袋を提供した。 また、資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託した。							
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	資源ごみ回収団体回収量	1,509	1,426	1,600	1,700	1,750	t
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	資源ごみ回収団体数		201	201	201	201	201	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		9,425,025	0	10,482,102	0	10,482,102	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		9,425,025	0	10,482,102	0	10,482,102		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	資源ごみ回収団体数		成果指標に対する所見	広報等で周知を図ったが、団体数は現状維持だった。		
	目標	201	団体				
	実績	201	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を進めることで、資源の有効活用はもとより、ごみ減量化によるごみ処理経費の削減やごみ処理施設への負担軽減等様々な効果が期待されることから、今後も引き続き取り組みは必要であると考えられる。 今後の課題としては、資源ごみ回収量が近年減少傾向にあることから、資源ごみ回収団体や市民の意見を取り入れながら、継続して制度の周知、資源ごみ回収団体へのきめ細やかな支援策を検討していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	引き続き、資源ごみ回収制度の周知を図るとともに、各団体の抱える課題や問題の解決に向け個別に支援していく。 また、資源ごみ回収団体の新設に努める。			
	令和5年度	同上			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業	担当部署	環境共生部 クリーンセンター廃棄物対策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
基本政策(大項目)	3	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成	17	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと		終期	未定		
(小項目)		ごみ処理					
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進					
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策	<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無 <input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	廃棄物不適正処理の早期発見及び未然防止	
実施方針	不法投棄監視パトロール隊に対して活動の支援を行う。	①活動支援 ・不法投棄監視パトロール隊への資材の提供や回収物の受入 ・「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対する補助金の交付

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 不法投棄連絡協議会の開催数	5	3	5	5	5	回
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	パトロール隊認定団体数	13	13	13	13	13	団体

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
各年度の実施(予定)内容		①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	346	0	346	820	820

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		市内各地の不法投棄監視パトロール隊の活動に対して資材の提供や回収物の受入の支援を行うとともに、「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対して補助金を交付し、活動の支援を行っている。毎年行っている不法投棄物一斉撤去作業については、新型コロナウイルス感染防止のため、行わなかった。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	不法投棄連絡協議会の開催数	3	4	5	5	5	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	パトロール隊認定団体数		13	13	13	13	13	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		320,945	0	65,000	0	65,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		320,945	0	65,000	0	65,000		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	パトロール隊認定団体数		成果指標に対する所見	各地区のパトロール隊では、不法投棄を未然に防ぐためのネットや看板の設置、不法投棄物の回収など、活発な活動が行われた。		
	目標	13	団体				
	実績	13	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	不法投棄の未然防止策や回収、撤去をパトロール隊が積極的に行っているにもかかわらず、不法投棄が続いているのが現状である。そのため、パトロール隊への支援を継続的に行うとともに、防護ネットや啓発看板、監視カメラ等の設置など、未然防止のための取り組み強化が必要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	関係機関との連絡調整や資材の提供などを継続して行うとともに、補助金を支出することにより活動の幅が広がるよう支援していく。			
	令和5年度	同上			



---

各実施計画兼評価シート

---

健 康 福 祉 部



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国民健康保険料収納対策事業	担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	国民健康保険法、鳴門市国民健康保険条例等		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 12 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施					
基本事業	1	健全財政の確立					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	国民健康保険及び介護保険、後期高齢者医療制度にかかる保険制度の安定経営を図るため、保険料収納率の向上及び納付義務者の利便性向上を図るための対策を講じる。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施			①納付勧奨の実施 滞納者に対して、文書による催告及び夜間を利用した納付相談窓口の開設等により納付交渉を随時行うとともに、保険料納付コールセンターによる自主納付の呼びかけにより、収入未済額の縮減を図る。 ②口座振替利用の促進 当初納付書及び保険料更正通知書等に口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替加入促進を図る。 ③財産調査の実施 財産調査実施により納付者の納付能力の把握に努める。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	催告等発送数(国保)	11,192	10,000	11,000	10,000	10,000	枚
	2	コールセンター 納付勧奨件数(国保)	-					件
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
国民健康保険料収納率(現年度)			95.3	95.3	94.3	95.5	95.5	%

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移 (千円)	7,937	0	7,937	5,852	5,852

◎当初からの変更点

変更内容	活動指標として、「コールセンター納付勧奨件数(国保)」を追加した。 令和3年度の実績を考慮し、令和4年度・5年度の目標を改めて設定した。
------	---

事務事業名	国民健康保険料収納対策事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①滞納者に応じて、文書による催告を3回、夜間窓口を延べ8日間設置するとともに、保険料納付コールセンターによる自主納付の呼びかけを、延べ46日間にわたり実施した。 ②国民健康保険料の当初納付書及び更正通知書等の発送時に、口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替未加入者に対して、口座振替加入の促進を図った。また、窓口で保険料を納付した方や75歳を迎える世帯主の方などに、口座振替勧奨通知を12月から翌年3月にかけて計5回にわたり送付した。 ③財産調査を行い、被保険者等の納付資力を把握することに努めた。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	催告等発送数(国保)	10,051	9,530	10,000	10,000	10,000	枚
	2	コールセンター 納付勧奨件数(国保)	263	485	300	300	300	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	国民健康保険料収納率(現年度)		95.6	96.4	95.5	95.5	95.5	%
	目標達成率(実績/目標)			102.2	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,489,348	0	6,147,910	0	6,147,910	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		5,489,348	0	6,147,910	0	6,147,910		
補助制度(名称、補助率など)		なし						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	国民健康保険料収納率(現年度)		成果指標に対する所見	今年度の目標は達成できたが、来年度以降も目標の達成を維持していくためには、口座振替の推進等の取組みを強化していく必要がある。		
	目標	94.3	%				
	実績	96.4	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①夜間の納付相談や職員による電話催告の他、保険料納付コールセンターの更なる活用を図ることで、滞納者との接触機会の増加に努め、納期内納付を奨励し、累積滞納を未然に防止する。財産調査等により、滞納整理を積極的に進めていく。 ②口座振替による納付を一層推進していくため、具体的取組を進めていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①保険料納付コールセンター業務の積極的な活用を図るとともに、引き続き文書や電話による催告を行い、保険料の納期内納付を促していく。 ②口座振替の加入促進のため、口座振替郵送用依頼書(はがき)等を配布するなど、保険料納付時の利便性向上を図る。			
	令和5年度	収納率向上の取り組みの継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国保保健事業	担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	国民健康保険法 国保法に基づく保健事業の実施等に関する指針 鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 27 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施					
基本事業	2	医療費適正化の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	①保健指導事業 ②糖尿病性腎症重症化予防事業 ③早期介入保健指導事業			①保健指導 特定健康診査の結果に基づき受診指導や生活習慣の改善等保健指導を行う。また、糖尿病が強く疑われる者に対して、75g糖負荷試験を実施する。 ②糖尿病性腎症重症化予防 高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。 ③早期介入保健指導事業 20歳以上40歳未満の被保険者を対象に巡回健診車の日程にあわせて健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。また、健康診査利用者の拡大を図るため、効果的な周知方法を検討する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	重症化予防対象者への訪問実施人数	252	287	365	400	400	件
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
重症化予防対象者への訪問率			84.8	70.0	70.0	70.0	70.0	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	26,739	0	26,739	26,621	26,621

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	国保保健事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。</li> <li>・保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われるかたを対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。</li> <li>・特定保健指導対象者のうち、動脈硬化が疑われるかたを対象に、頸部超音波検査を実施し、発症及び重症化予防を図った。</li> <li>・広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。</li> <li>・医療費の現状や医療費を節約する方法について周知を行うなど医療費適正化のための啓発に努めた。</li> </ul>					
			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	重症化予防対象者への訪問実施人数	287	263	400	400	400	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	重症化予防対象者への訪問率		97.6	57.0	70.0	70.0	70.0	%
	目標達成率(実績/目標)			81.4	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		20,496,579	0	21,922,264	0	21,922,264	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	4,136,810	0	4,825,000	0	4,825,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		16,359,769	0	17,097,264	0	17,097,264		
補助制度(名称、補助率など)		保険者努力支援交付金(市町村ヘルスアップ事業(900万円を上限として対象経費の10割))						

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	重症化予防対象者への訪問率		成果指標に対する所見	令和3年度から重症化予防対象者に心電図に所見があった者も新たに対象者に加えたため、対象者数の増加に伴い訪問者数は減少したものの、概ね目標は達成できた。		
	目標	70	%				
	実績	57	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診も治療も受けていないかたは、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。</li> <li>・医療費が高額となる疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症)や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防につなげていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。</li> <li>・若年からの健診の必要性について、様々な媒体を活用して啓発に努める必要がある。</li> </ul>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。早期介入保健指導(若年者健診)の利用者は少数であり、利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。			
	令和5年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化につなげていく。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施					
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進					
第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
ふるさと納税寄附金等要求				ポータルレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導事業を実施することにより、生活習慣病の予防・重篤化予防に努め、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制する。							
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③検査項目の拡充 ④みなし健診(特定健診情報提供)事業		事業 内容 (R3)	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者の内メタリックシンドロームの該当者・予備群の者に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者の受診意欲の高揚を図る。 ③検査項目の拡充 血圧の高い者や、不整脈が疑われる者に行っていた心電図検査を基本健診項目に組み込み、虚血性心疾患の予防を図る。 ④みなし健診事業 生活習慣病などにより治療中の特定健診未受診者に対し、本人の同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特定健康診査受診者数	3,291	4,916	5,411	5,897	6,373	人
	2	特定保健指導利用者数	352	396	436	475	514	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
特定健康診査受診率			32.2	45.0	50.0	55.0	60.0	%
事業の 実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	①コールセンター方式による受診勧奨の実施 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	57,575	0	57,575	61,670	61,670

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診対象者に市独自のチラシを同封した特定健診受診券を送付し、市公式ウェブサイトをはじめ各種媒体を活用し周知を行った。</li> <li>・鳴門市医師会の協力のもと、特定健診未受診者の多くが医療機関にかかっていることに着目したみなし健診を引き続き実施したほか、通院しているかたに周知を図るためにポスターを作成し、市内医療機関等に配布し掲示を依頼するなど、本事業の啓発に努めた。</li> <li>・コールセンター方式による受診勧奨においては、既往歴や受診歴等を活用して健診対象者を分類化し、各分類に効果的な受診勧奨通知を行うとともに、電話勧奨を行うオペレーターには看護師等専門職を採用することで、健康相談を兼ねたきめ細やかな勧奨を行い、受診意欲の高揚やみなし健診への協力などに努めた。</li> <li>・特定健診の健診結果から、保健師等が生活習慣の改善や治療の必要性等について助言を行う健診フォローアップ教室を実施した。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特定健康診査受診者数	3,793	3,878	5,897	6,373	6,313	人
	2	特定保健指導利用者数	329	330	475	514	509	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	特定健康診査受診率		37.1	39.0	55.0	60.0	60.0	%
	目標達成率(実績/目標)			78.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		39,300,696	0	43,331,501	0	43,331,501	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	18,023,190	0	22,263,000	0	22,263,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		21,277,506	0	21,068,501	0	21,068,501		
補助制度(名称、補助率など)		特定健診等に係る国庫負担金(対象経費の1/3) 特定健診等に係る県負担金(対象経費の1/3) 保険者努力支援交付金(市町村ヘルスアップ事業(900万円を上限として対象経費の10割))						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	特定健康診査受診率		成果指標に対する所見	みなし健診など各種受診勧奨を実施した。受診率は微増にとどまったが、引き続き効果的な受診勧奨の調査・研究に努める。		
	目標	50	%				
	実績	39	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には受診は任意の制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないことや、既に生活習慣病治療中であっても健診対象となること等から、受診の必要性が理解されにくい。また、健診対象者の過去の受診歴や受療状況等の応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や健診の受診に向けた行動変容を促す必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	コールセンター方式による受診勧奨については、これまでの実施結果から見える課題に対応したより効果的な勧奨を実施する。 鳴門市医師会と連携し、引き続きみなし健診を実施するとともに、本事業の利用率向上のため、健診対象者への認知拡大に向けたより効果的な手法を検討する。			
	令和5年度	勧奨手法の研究、工夫を行い、更なる受診率向上につなげていく。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民の健康づくり対策事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	健康増進法、自殺対策基本法、「健康なると21(第二次)」		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 17 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	医療の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	「健康なると21(第二次)」計画に基づき、肥満予防、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行い、市民の健康づくりを推進する。		事業内容(R3)	①健康相談、健康教育等各種保健事業を通して「健康なると21(第二次)」計画の後期アクションプランの取り組みを継続する。 ②ヘルスメイトの地域での自主活動を推進するため、研修会の実施や活動の支援を継続する。また「親子の食育教室」の継続実施等食育推進に積極的に取り組むとともに、広報等による「食からの健康づくりに関する情報発信」を行う。 ③自殺対策計画に基づき啓発活動を継続する。				
実施方針	①「健康なると21(第二次)」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む。 ②食生活改善事業(栄養教室、食のネットワーク会議等)の実施及び食育推進のための人材を育成する。 ③「鳴門市自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	12	6	12	12	12	回
	2	ワークショップの参加者数	21	21	21	21	21	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	ヘルスメイトの数		29	25	30	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①健康なると21(第二次)ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	①健康なると21(第二次)ワークショップの開催(書面開催予定) ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③食ネット通信(2回/年)に加え、増刊号をR2.8月に発行し食生活改善の普及を行う(親子ヘルシークッキング教室の開催不可であったため) ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	①健康なると21(第二次)ワークショップの開催(最終評価年) ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	策定	未定

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,402	△ 63	1,339	1,231	1,231

◎当初からの変更点

変更内容	既決予算内における執行 15千円 健康教育費 3月補正 △78千円 栄養改善事業費
------	--

事務事業名	市民の健康づくり対策事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>健康なると21推進ワークショップは、後期アクションプランおよび自殺予防対策について、市や関係団体の取組について情報提供や意見交換を行った。また、食育推進のための食ネット通信の発刊を継続することができた。</p> <p>ヘルスマイトの地域での活動は、コロナ禍のため依頼数は前年度より減少するものの、感染予防対策をしながら実施した。</p> <p>自殺予防対策として、相談窓口一覧リーフレットを作成し、庁内・関係機関に配布した。また市内量販店でのキャンペーンや強化月間での掲示物の庁内展示などを継続実施し広報や啓発に努めた。</p>						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ヘルスマイトの地域での活動回数	7	9	12	13	13	回
	2	ワークショップの参加者数	25	20	21	21	21	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ヘルスマイトの数		25	23	30	30	30	人
	目標達成率(実績/目標)			76.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	947,145	0	1,049,842	0	1,049,842		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	381,000	0	422,000	0	422,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源	566,145	0	627,842	0	627,842			
補助制度(名称、補助率など)	<p>健康増進事業費補助金(補助率2/3)</p> <p>地域自殺対策緊急強化事業費補助金(補助率1/2)</p>							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ヘルスマイトの数		成果指標に対する所見	ヘルスマイト会員数の目標には届かなかったが、新規会員の拡充ができた。
	目標	30	人		
	実績	23	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>健康なると21(第二次)後期アクションプラン及び鳴門市自殺対策計画については、令和4年度に最終評価を実施し、国の計画に合わせ令和5年度に次期計画を策定する。</p> <p>ヘルスマイト会員の高齢化とメンバー減少がみられるため、令和3年度はヘルスマイト養成講座を開催し新規会員の拡充を図った。今後も、継続的な活動の機会の確保に努める。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	健康なると21(第二次)後期アクションプラン及び鳴門市自殺対策計画の最終評価及び次期計画の策定準備			
	令和5年度	次期健康なると21(第二次)後期アクションプラン及び鳴門市自殺対策計画の策定			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	がん検診事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課		
総合計画体系				根拠法令計画など	健康増進法、がん対策基本法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	昭和	57 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		保健・医療			終期	未定	
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	医療の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市民のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を行い、健康の保持及び増進につなげる。	
実施方針	①かかりつけ医や関係機関と連携した受診勧奨 ②無料クーポン券の配布 ③個別通知による受診勧奨 ④受診の利便性を図る ⑤中学生またはその保護者への啓発・受診勧奨	①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨 ④特定健診との同日実施や、介護予防事業開催に合わせたがん検診の実施 ⑤尿中ピロリ菌検査やメッセージカード作成の機会を捉え、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 がん検診受診者数(計)	3,695	3,500	3,500	3,500	3,500	人
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	各がん検診受診率の平均	7.4	5.0	5.0	5.0	5.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④NHK番組とコラボしての受診勧奨 ⑤医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。 ⑥テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布 ⑤テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	24,000	△ 3,000	21,000	23,000	23,000

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	がん検診事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨 ④特定健診との同日実施や、がん検診と健康相談の同時実施 ⑤中学2年生を対象とした尿中ピロリ菌検査し、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	がん検診受診者数(計)	2,935	3,517	3,500	3,500	3,500	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	各がん検診受診率の平均		3.9	4	5	5	5	%
	目標達成率(実績/目標)			79.6	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		16,894,547	0	18,861,765	0	18,861,765	
	財源内訳	国庫支出金	146,000	0	74,000	0	74,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	133,600	0	255,600	0	255,600	
一般財源		16,614,947	0	18,532,165	0	18,532,165		
補助制度(名称、補助率など)		感染症予防事業費等国庫負担金(補助率1/2)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	各がん検診受診率の平均		成果指標に対する所見	昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のために集団検診を中止したが、今年度は感染予防のため定員を設けながら計画通り実施することができた。		
	目標	5	%				
	実績	4	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による受診控えもみられるが、計画通り集団がん検診を実施することができ、受診者数は増加している。各がん検診の受診率は、県下で比較すると低く保険課や医療機関や地区組織等と連携を図りながら、積極的な受診勧奨が必要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	前年度に引き続き、国の新型コロナウイルス感染予防対策の指針に沿って検診を実施する。委託検診(胃がん・大腸がん等)の実施期間を、令和3年度までは5月1日から12月31日であったが、通年実施に変更し、受診の機会を拡大する。子宮頸がん・乳がんクーポン事業に加え、節目年齢ごとの受診勧奨の個別通知や継続受診のない者への個別通知等を実施していく。			
	令和5年度	がん検診の受診者数や受診率の状況をみながら、令和4年度同様に進めていく。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)	担当部署	健康福祉部 健康増進課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	母子保健法、子ども子育て支援法 児童福祉法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成	27	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと						
(小項目)		保健・医療			終期	未定		
施策	7	健康・医療対策の推進						
基本事業	4	医療の充実						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	妊娠期から就学前まで切れ目なく母子保健や育児などに関する総合的な相談や支援を一体的に行う拠点として、関係機関と連携を図りながら子育て支援を行うことにより、母親の不安や負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざす。								
実施方針	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援を充実し、不安・負担の軽減を図る。 ②妊婦健診、産婦健診、多胎妊婦超音波検査費用を助成し妊産婦の健康管理と負担軽減を図る。 ③心身の不調等により支援の必要な妊産婦に対して、産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業の利用を促し、不安・負担の軽減を図る。		事業 内容 (R3)	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成(14回) ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成(2回) ・産婦健診(産後2週間・産後1か月)費用助成(2回) ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業(産後デイサービス・産後ショートステイ)					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子育て世代包括支援センター利用者数		1642	1750	1780	1800	1800	人
	2	関係機関との連絡調整回数	22	20	20	20	20	回	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
	鳴門市で子育てをしたい人の割合		94.5	94.7	94.7	94.8	94.8	%	

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	46,208	△ 838	45,370	49,203	49,203

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	子育て世代支援事業 (鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)
-------	------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①母子保健コーディネーター(保健師及び助産師)による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成(14回) ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成(2回) ・産婦健診(産後2週間・産後1か月)費用助成(2回) ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業(産後デイサービス・産後ショートステイ) ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減し子育てできるよう助産師・保健師・管理栄養士による具体的な関わり方等の実践指導) ⑤マタニティ相談(妊娠中期相談)					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子育て世代包括支援センター利用者数	1,351	1,406	1,330	1360	1,390	人
	2	関係機関との連絡調整回数	19	11	20	20	20	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	鳴門市で子育てをしたい人の割合		94.7	95.4	94.8	94.8	95.0	%
	目標達成率(実績/目標)			100.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		36,635,541	0	36,981,515	0	36,981,515	
	財源内訳	国庫支出金	3,941,000	0	6,227,000	0	6,227,000	
		県支出金	1,703,000	0	953,000	0	953,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		30,991,541	0	29,801,515	0	29,801,515		
補助制度(名称、補助率など)		子ども・子育て支援交付金(2/3補助)、多様な子育て支援推進交付金(1/6補助) 母子保健衛生費国庫補助金(1/2補助)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市で子育てをしたい人の割合		成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会や医療機関など関係機関との連携を図った。要支援者に対する支援の方向性(時期や方法)に関する協議、支援計画を作成し進捗管理を行いながら、継続して支援を行う体制づくりを進めた。		
	目標	95	%				
	実績	95.4	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染予防による外出自粛から今後も子育て世代包括支援センターへの来所について減少の可能性があることから利便性を図るため、来所以外の相談の機会の設定。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	令和3年度事業の継続。 多胎妊婦健康診査費用助成、妊娠判定受診費用助成、オンラインによる相談対応にむけた体制整備。			
	令和5年度	継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの発達支援事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	母子保健法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 22 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	医療の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	子どもの健やかな成長・発達を支援するため、子どもへの継続的な支援体制の整備や保護者への啓発を行う。		事業 内容 (R3)					
実施方針	子どもの健やかな成長・発達を支援するため、子どもへの継続的な支援体制の整備や保護者への啓発を行う。			①保護者相談 ・行動観察や発達検査に基づく心理士等による個別相談の実施 ・2回目相談において必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②保育所・幼稚園・認定こども園等との連携 ・幼稚園等へ事業説明の実施 ・幼稚園等での集団生活の問診票などの作成 ・幼稚園等へ相談結果のフィードバック				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どもの発達支援事業実施回数	6	7	4	4	4	回
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
事業参加者数			87	85	60	60	60	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②保育所・幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査(K-ABC)の実施 ②保育所・幼稚園等との連携	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,176	0	1,176	1,298	1,298

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	子どもの発達支援事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>対象年齢となる全ての保護者へ事業案内を通知した。          実施内容として、保育所等通所先からの対象者の問診票の提出及び集団場面での行動観察や個別の発達検査を実施し、心理士による個別相談を行うことで、保護者が子どもの発達段階や特性を知ることができ、発達特性に応じた育児ができるよう支援した。          また保育所や幼稚園等の関係機関と情報共有を行い、連携して継続的な支援が実施できるよう努めている。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どもの発達支援事業実施回数	7	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	事業参加者数		87	80	60	60	60	人
	目標達成率(実績/目標)			133.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算		令和4年度決算		
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		735,938	0	873,198	0	873,198	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		735,938	0	873,198	0	873,198		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事業参加者数		成果指標に対する所見	事業参加者の9割以上が詳細な発達検査や相談など継続した支援が望ましいとの結果がでており、うち希望者には事後の発達検査や相談など継続し支援を行っていることから成果があったと考える。		
	目標	60	人				
	実績	80	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度の事業参加者のうち、9割以上の者が詳細な発達検査や事後の相談など継続した支援が望ましいと判断されており、市の詳細な発達検査及び相談を希望される参加者には、今後も相談事業等による継続した支援を行う必要がある。 令和4年度についても、現在の対象年齢による事業を継続し、就学に向けての支援・準備期間をより長く確保することが望ましい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	今後も現在の対象年齢による事業実施を継続し、就学に向けての支援・準備期間をより長く確保する。			
	令和5年度	継続			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急医療対策事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市救急医療対策事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	昭和 52 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		保健・医療					
施策	7	健康・医療対策の推進					
基本事業	4	医療の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市民が安心できる地域医療体制を確保する。								
実施方針	①夜間休日当番医制度の維持 ②二次救急・小児救急医療体制の確保 ③関係者会議の実施 ④適正医療に関する啓発		事業 内容 (R3)	①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施する。また、啓発活動として、出生届時等に小児救急に関するリーフレット等の配布及び子育て世代へ向けた「防災ハンドブック」を配布する。 ②医師会等関係機関と協議しながら、災害時、候補地となる医療救護所の体制整備や感染症予防対策を行う。 ③平成27年度購入の医療救護資機材(4セット)の6年目点検及び妊産婦乳児医療救護所の分娩・処置セットの点検を行う。					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	啓発活動(出前講座・広報等)		1	2	3	3	3	回
	2								
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
軽度の救急搬送率			36	36	35	35	35	%	
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	14,175	0	14,175	14,175	14,175

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	救急医療対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①救急医療の適正利用に関する啓発、子育て世代へ小児救急電話相談(#8000)及び「防災ハンドブック」の配布等、小児救急について周知した。 ②子どもの事故防止に関する冊子の配布や子育て世代包括支援センターでの展示、広報誌及び市公式ウェブサイトによる啓発を行った。 ③災害時、候補地となる医療救護所の資機材及び妊産婦乳児医療救護所の分娩・処置セットの点検・補充を行った。 ④地域医療の関係者会議である「鳴門市医療懇話会」を書面開催し、円滑な医療提供体制について情報提供、依頼を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	啓発活動(出前講座・広報等)	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	軽度の救急搬送率		37	40	35	35	35	%
	目標達成率(実績/目標)			87.5	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		15,515,363	0	13,978,731	0	13,978,731	
	財源内訳	国庫支出金	1,162,588	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		14,352,775	0	13,978,731	0	13,978,731		
補助制度(名称、補助率など)		鳴門市救急医療対策事業補助金交付						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	軽度の救急搬送率		成果指標に対する所見	救急医療体制の維持に必要な対応はできていると考えるが、新型コロナウイルス感染症の出現等状況に応じた啓発活動の実施や、地域医療に関する情報提供により適正受診の推進を図る必要がある。		
	目標	35	%				
	実績	40	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の安心・安全を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。災害時の対応を含めた新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き医師会等関係団体と協議し連携していくこととする。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①啓発資料や広報誌および公式ウェブサイト等により、救急医療の適正利用に関する啓発を実施する。 ②医師会等関係機関と協議し、災害時医療救護所や新型コロナウイルス感染症対策について体制を整備する。 ③医療救護資機材の点検を行う。			
	令和5年度	継続して医療機関と連携し、救急医療対策事業を実施。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域医療連携強化事業	担当部署	健康福祉部 健康増進課			
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成	29	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと						
(小項目)		保健・医療			終期	未定		
施策	7	健康・医療対策の推進						
基本事業	4	医療の充実						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」を広く市民に対して周知・啓発を行うことにより、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める。	
実施方針	①条例の推進についての周知 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の運営 ③鳴門病院との連携事業の継続実施	①広報等での特集コラムの掲載や、出前講座等にて条例の推進についてより広く市民に周知 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催 ③鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)については、テーマや開催時期について協議を行い実施 ④骨髄等移植ドナーとその勤務事業所に休業補償等の助成 ⑤地域医療を守り育む人材の確保と育成を目的に、鳴門病院への支援として「健康づくりの推進と地域の医療を守り育む基金」の設置と地域医療人材確保事業を実施

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市民向け実践講座	1	1	1	1	1	回
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
連携事業の参加者数		280	150	150	150	150	人

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①広報誌へのコラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業の実施 ④骨髄等移植ドナーへの助成 ⑤「健康づくりの推進と地域の医療を守り育む基金」の設置と地域医療人材確保事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	165,657	2	165,659	23,653	32,653

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正 積立金2千円増額
------	---------------

事務事業名	地域医療連携強化事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①条例の進捗状況の把握のため、市民の健康づくりに関する取組調査を実施。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催とする) ③鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)は中止					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	市民向け実践講座	0	0	1	1	1	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	連携事業の参加者数		0	0	150	150	150	人
	目標達成率(実績/目標)			0.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,472	0	150,007,000	15,000,000	165,007,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	15,000,000	0	15,000,000	
一般財源		3,472	0	135,007,000	15,000,000	150,007,000		
補助制度(名称、補助率など)		骨髄移植ドナー助成事業補助金(補助率1/2)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	連携事業の参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鳴門病院と協議の上、実施を見合わせた		
	目標	150	人				
	実績	0	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門病院との連携事業については、テーマや開催時期によって参加人数にバラつきがあるが、市民の健康意識の向上と知識の習得に向けて、継続実施が必要と考える。 条例の推進については、推進協議会、庁内会議、健康なと21推進ワークショップと協議内容について共有しながら進めていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	条例の推進については、出前講座等にてより広く市民に周知する。また、医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議の運営を行う。 鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)については、テーマや開催時期について協議を行い継続実施とする。また、広報誌にて鳴門病院より健康づくりに関するコラムの掲載など連携して情報発信を行う。			
	令和5年度	継続			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	高齢者無料バス優待事業	担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	老人福祉法 鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付に関する条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 49 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		高齢者福祉					
施策	4	高齢者福祉の推進					
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	日常生活において、交通弱者である高齢者の移動手段を確保することにより、生活圏の拡大を図り、閉じこもりの防止や社会活動参加の機会の増加を促し、高齢者の生きがいや健康づくりに役立てる。	
実施方針	①高齢者の移動手段を確保する。 ②実施状況、利用状況を把握する。	事業内容(R3) ①高齢者の移動手段の確保 鳴門市に住民登録を行っている満70歳以上の希望者に対し無料バス優待券を交付する。 ②実施状況、利用状況の把握 7月と10月に利用者数の調査を行い、利用状況の把握に努める。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
対象にどのような効果があったかを示す指標							
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		360	260	360	360	360	件

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,308	0	6,308	6,225	6,225

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	高齢者無料バス優待事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①高齢者の移動手段の確保 ・市内バス路線における無料優待券の交付 ②実施状況、利用状況の把握 ・7月10月に利用者数の調査を実施					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		229	203	240	240	240	件
	目標達成率(実績/目標)			56.4	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		6,307,700	0	5,901,700	0	5,901,700	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		6,307,700	0	5,901,700	0	5,901,700		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数		成果指標に対する所見	コロナ禍の影響により高齢者の方々の外出機会が減少したため、目標は達成できなかったが、新たに203人の方に無料バス優待券を交付し、高齢者の移動手段の確保に繋げることができた。		
	目標	360	件				
	実績	203	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」期間中の令和5年度までは引き続き実態を把握したうえで、必要に応じて本事業の評価・検討を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	年2回の利用状況調査を行い事業の実施状況の把握等に努める。			
	令和5年度	同上			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	担当部署	健康福祉部 長寿介護課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	介護保険法第115条の45			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成	18	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定	
(小項目)	社会保障							
施策	10	介護保険制度の円滑な実施						
基本事業	4	介護予防事業の拡充・推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し健康状態の維持・増進、介護予防に努める。		事業内容(R3)					
実施方針	①介護予防・生活支援サービス事業の推進 ②効果的な介護予防事業の展開			①介護予防・生活支援サービス事業の推進 多職種連携による介護予防の取り組みを推進する。 ②効果的な介護予防事業の展開 住民主体の通いの場である「いきいきサロン」の開設及びサロン活動の活性化を支援する。 ③鳴門市版フレイル予防推進事業の実施 体成分分析装置を活用したフレイルチェックの実施と専門職による効果的なアプローチによりフレイル予防を推進する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	介護予防教室参加者数	1,634	1,580	1,750	1,750	1,750	人
	2	ボランティアポイント事業登録者数	96	96	140	160	185	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	要介護(要支援)認定率を20%以内にする		18.8	19.0	19.0	19.0	19.0	%

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいき先生のメニュー増加によるいきいきサロンの充実 ③テレビ広報によるいきいきサロンの普及啓発や開設支援(58か所) ④「中級リーダー」の養成	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実 ③フレイルトレーナー、フレイルサポーターの養成 ④フレイル予防の推進	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	216,749	6,412	223,161	224,022	224,022

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)
-------	-------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①多職種と連携して介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図った。 ②市内53箇所にサロンを開設し全てのサロンにおいて「いきいき百歳体操」に取り組んだ。 ③フレイル予防に関する市民向け講演会の開催やフレイルチェック時の担い手となるフレイルトレーナーやフレイルサポーター(市民ボランティア)を養成したほか、体成分分析装置等を用いたフレイルチェックを実施し、フレイルの傾向が見られた方に専門職がアドバイスを行うなどフレイル予防の推進に取り組んだ。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	介護予防教室参加者数	1,492	1,217	1,500	1,500	1,500	人
	2	ボランティアポイント事業登録者数	96	88	100	100	100	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	要介護(要支援)認定率を20%以内にする		18.8	18.8	19.0	19.0	19.0	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		178,990,283	0	184,265,175	0	184,265,175	
	財源内訳	国庫支出金	82,696,400	0	80,619,200	0	80,619,200	
		県支出金	26,747,125	0	27,820,125	0	27,820,125	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		42,799,758	0	52,847,616	0	52,847,616		
	一般財源	26,747,000	0	22,978,234	0	22,978,234		
補助制度(名称、補助率など)		国費25%、県費12.5%、社会保険診療報酬支払基金27%、第1号被保険者保険料23%、一般財源12.5% 地域支援事業費(介護予防・日常生活支援総合事業費) 保険者機能強化推進交付金定額、保険者努力支援推進交付金 定額						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	要介護(要支援)認定率を20%以内にする		成果指標に対する所見	全体的な数値は達成できているが、より効果的な予防活動の実施、方法等について検討し実施する必要がある。		
	目標	19.0	%				
	実績	18.8	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コロナ禍の影響が、今後もしばらく続くと考えられるため、高齢者の外出の機会や活動量を低下させないよう感染対策を徹底し介護予防事業の取り組みができるよう引き続き支援を行う必要がある。また、いきいきサロンの新規開設を推進するため、周知・啓発を継続して行う。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	各いきいきサロンにおいて体成分分析装置等を用いたフレイルチェックを定期的実施し、フレイルの傾向が見られた方へ専門職による指導や助言を行うほか、すべてのいきいきサロンで栄養士による講座を開催し、フレイルの要因の一つである栄養の改善に取り組む。また、医療や介護保険等のデータを分析し、介護予防事業の検証や再構築に取り組む。			
	令和5年度	同上			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)	担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	介護保険法第115条の44		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいが感じる まちづくり		事業期間	開始	平成	18 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと					
(小項目)		社会保障			終期	未定	
施策	10	介護保険制度の円滑な実施					
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	高齢になり介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域において自立した生活を継続できるよう、多様な主体が様々なサービスやサポートを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、医療関係者や介護サービス事業所、地域包括支援センター、行政など、各機関が連携し高齢者を支え合う仕組みづくりを推進する。			①地域包括支援センターの機能強化への支援 ②生活支援体制整備事業の推進 ③在宅医療・介護連携推進事業の推進 ④認知症施策の推進 ⑤地域ケア推進事業 ⑥権利擁護・成年後見制度の利用促進				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	医療・介護関係者研修会の開催	3	1	4	5	6	回
	2	SOSメール配信登録者数	421	800	1,200	1,600	2,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)		1,361	1,800	1,500	1,500	1,500	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①暮らしのサポートセンターでの生活支援サービス提供への支援 ②顔の見える関係会議の開催及び地域資源マップの更新・全戸配布 ③成年後見制度の啓発	①2層協議体への運営支援及び新たな協議体設置に向けた取り組みの推進 ②地域の医療・介護関係者の連携推進 ③SOSネットワーク協力者等の拡大に向けての制度の周知・啓発	①各種相談窓口の周知啓発 ②生活支援サービス提供体制の充実 ③チームオレンジの活動推進 ④SOSネットワークの拡充	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	135,878	1,774	137,652	132,315	132,315

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)
-------	-----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①地域包括支援センターの機能強化にかかる支援を行った。 ②生活支援コーディネーターを中心に、有償ボランティア(暮らしのサポーター)による生活支援の仕組みを構築し、各暮らしのサポートセンターにて生活支援サービスを開始した。また、インフォーマルサービス一覧のポスター版を作成し全戸配布した。 ③在宅医療・介護連携推進事業を推進するため、推進協議会や多職種研修会などを開催した。 ④市立図書館などでの一般市民向けサポーター養成講座を開催するなど、サポーターの養成を行った。 ⑤高齢者の抱える様々な問題の解決に向け、関係者等が対策を検討を行う地域ケア推進会議を開催した。 ⑥成年後見制度の利用促進を図るため、市広報等により相談窓口の周知を図ったほか、「いきいき先生」による成年後見制度の講座を開催した。
--------	-----------	--

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 医療・介護関係者研修会の開催	0	1	3	4	5	回
	2 SOSメール配信登録者数	841	1,030	1,600	2,000	2,100	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)	1,798	1,632	1,600	1,600	1,600	件
	目標達成率(実績/目標)		108.8	-	-	-	%

事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計	116,712,334	0	114,467,510	0	114,467,510
財源内訳	国庫支出金	51,129,540	0	57,978,695	0	57,978,695
	県支出金	25,564,770	0	26,489,347	0	26,489,347
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	14,454,024	0	7,972,211	0	7,972,211
	一般財源	25,564,000	0	22,027,257	0	22,027,257
補助制度(名称、補助率など)	地域支援事業費(包括的支援事業及び任意事業) 国費38.5%、県費19.25%、第1号被保険者保険料23%、一般財源19.25%					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	総合相談件数 (市の総合相談窓口+地域包括支援センター)		成果指標に対する所見	高齢者等の問題解決につながるよう、市相談窓口や地域包括支援センターの周知を行った。数値目標は達成することができたが、今後も周知を継続していく。		
	目標	1,500	件				
	実績	1,632	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	生活支援体制整備事業では、暮らしのサポーターによる生活支援サービスを開始したものの利用希望者とサービスのマッチングが課題となっているため、活動に対する継続的な支援が必要である。また、全戸配布したインフォーマルサービス一覧(ポスター版)が活用されるよう、事業者と地域の支援者を繋ぐ役割が必要とされる。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	各暮らしのサポートセンターにおける生活支援サービスの充実を図るため、担い手の養成や活動の周知啓発等の支援を行うとともに、インフォーマルサービス事業者や地域の支援者との連携を通じて生活支援のニーズ把握、資源開発につなげる。			
	令和5年度	引き続き、生活支援体制の整備などに継続して取り組む。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	避難行動要支援者登録制度推進事業	担当部署	健康福祉部 長寿介護課 健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	災害対策基本法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成 24 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると					
(小項目)		危機管理・防災			終期	未定	
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	自ら避難することが困難な者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難行動要支援者の把握に努める。また、支援を希望する避難行動要支援者の個別避難計画を作成するなど、避難支援者及び地域支援機関と連携し避難行動時の支援体制づくりを推進する。	
実施方針	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新を行う。 ②避難行動要支援者個別避難計画の作成及び更新を行う。 ③避難支援体制の整備を推進する。	事業内容(R3) ①避難行動要支援者名簿の作成及び更新年2回の名簿作成及び随時の異動に伴う追加や削除等を行う。 ②個別避難計画の作成及び更新新規対象者に対し、制度の案内及び申請書を送付し、個別避難計画の作成を行うとともに更新作業を行う。 ③避難支援体制の整備

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 申請者数	2,889	3,015	3,070	3,120	3,170	人
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	個別避難計画作成件数	2,379	2,415	2,470	-	-	件

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②地域支援機関(各民生委員)における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②地域支援機関(各民生委員)における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成・更新 ②地域支援機関(各民生委員)における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,540	0	1,540	1,307	1,307

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	避難行動要支援者登録制度推進事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		令和3年5月に災害対策基本法が改正されたことを受け、新しく「鳴門市避難行動要支援者避難支援プラン」が策定されたことに伴い、当該事業にかかる対象者の条件の見直しや民生委員児童委員へ説明を行ったほか、新たに周知用チラシを介護保険証送付時に同封することとした。また、避難行動要支援者登録や個別避難計画の作成及び更新を行うとともに、制度の理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備を行い、広報等で市民啓発等を継続して行った。 ※災害対策基本法に規定する項目すべて記載された個別避難計画の数は550件(令和3年度実績)。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	申請者数	2,726	2,124	2,500	2,500	2,500	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	個別避難計画作成件数		2,268	2,091	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)			84.7	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,514,396	0	1,286,925	0	1,286,925	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,514,396	0	1,286,925	0	1,286,925		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	個別避難計画作成件数		成果指標に対する所見	個別避難計画作成件数は目標には届かなかったが、対象者通知、個別避難計画作成、支援機関への情報提供等、予定していた事務については、計画どおり実施できた。 ※令和3年度実績より改正災害対策基本法に準じた個別避難計画数は550件		
	目標	2,470	件				
	実績	2,091	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①避難支援者確保の推進 ②要支援者と避難支援等関係者の連携による防災訓練等の実施 ③登録された個別避難計画の内容の更新				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	災害時等において、より実効性のある避難計画とするため避難支援者の確保に努め、実情に応じた避難行動要支援者名簿登録や個別避難計画の作成及び更新に取り組む。また、関係する機関等へ当該制度の周知を図る。			
	令和5年度	同上			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権啓発推進事業	担当部署	健康福祉部 人権推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市人権条例、鳴門市男女行動計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 6 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		人権					
施策	1	人権の尊重					
基本事業	1	人権行政の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	「人権」に関して理解と認識を進めることで、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。							
実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用した、人権セミナーや人権の花運動、人権スポーツ事業、人権フェスティバル等、各種人権啓発事業を実施し、人権意識の高揚や人権課題への理解促進を図る。		事業内容(R3)	①第28回鳴門市人権セミナー(計3回) ※研修会を含む ②人権の花運動 ③人権スポーツ事業 ④人権フェスティバル ⑤パートナーシップ宣誓制度事業				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権セミナー開催回数	3	3	3	2	2	回
	2	人権フェスティバル参加者数	-	-	5,000	5,000	5,000	人
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
人権啓発イベントへの参加者数			210	210	5,210	5,140	5,140	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施 ④人権フェスティバルの実施 ⑤パートナーシップ宣誓制度事業の実施	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,657	△ 2,191	466	2,760	2,760

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	人権啓発推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①鳴門市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入に向けて、行政サービスを提供する立場である職員の性的マイノリティに関する理解促進を図るため、職員研修を実施した。また、DVと部落差別をテーマとした人権セミナーや人権フェスティバルをそれぞれ開催予定として準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ②人権の花運動は、対象となる第一中学校区の撫養小学校・黒崎小学校・桑島小学校・第一小学校・大津西小学校で実施した。 ③総合型地域スポーツクラブと連携して、林崎小学校の児童を対象とした人権スポーツ事業を実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 人権セミナー開催回数	1	1	2	2	2	回
	2 人権フェスティバル参加者数	-	-	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	人権啓発イベントへの参加者数	33	354	5,210	5,210	5,210	人
	目標達成率(実績/目標)		6.8	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	225,540	0	303,280	0	303,280	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	224,000	0	295,000	0	295,000
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
	一般財源	1,540	0	8,280	0	8,280	
補助制度(名称、補助率など)		人権啓発活動地方委託事業(10/10)					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権啓発イベントへの参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権セミナー2回分と人権フェスティバルの開催を中止したことに伴い、参加者数も減少したことから目標を達成することはできなかった。		
	目標	5,210	人				
	実績	354	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。また、人権セミナーによる啓発だけでなく、さまざまな人権啓発活動を総合的に行うため、関係団体等と協力しながら人権フェスティバルの実施をめざす。 他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図る。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し、現在注目されている人権課題をテーマに人権セミナーを開催するとともに、より多くの市民が参加できるように総合的な人権啓発活動として、人権フェスティバルの開催をめざす。各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図る。			
	令和5年度	人権セミナー・人権スポーツ事業・人権フェスティバル等を開催し、人権啓発に努める。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	男女共同参画推進事業	担当部署	健康福祉部 人権推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市男女共同参画推進条例 鳴門市男女行動計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 13 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		男女共同参画					
施策	2	男女共同参画社会の実現					
基本事業	2	あらゆる分野での男女共同参画の実践					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	男女が、家庭、学校、職場、地域社会などあらゆる分野において、ともに参画し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざす。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①第3次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策の着実な推進を図る。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画についての周知啓発を行う。			①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策の着実な推進を図り、PDCAサイクルによる進捗状況管理を行う。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画について、パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し周知啓発を行う。 ③人権フェスティバルにおいて、男女共同参画に関するイベントを実施し、第3次男女行動計画等の周知を図る。 ④男女参画による活力ある地域社会をめざし、男女共同参画を推進する地域活動リーダーを養成する講座を実施する。				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 指標名 条例・計画の周知啓発		10	10	10	10	10	回

事業の実施内容 内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定に向けた市民意識調査の実施	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定	①鳴門市男女行動計画に基づく施策の着実な推進 ②男女共同参画社会づくりのための周知啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	334	3	337	383	383

◎当初からの変更点

変更内容	既決予算内における流用 3千円(印刷製本費) 鳴門市男女共同参画推進条例説明パンフレット(子ども用)の印刷代に充当
------	--

事務事業名	男女共同参画推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策について実施状況を確認し、現状や課題の把握に努めた。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画の説明パンフレットを活用し、各種イベント等で配布を行い男女共同参画の周知啓発を行った。 ③人権フェスティバルが中止となったため市公式ウェブサイトを通じて第3次男女行動計画等の周知を図った。 ④職員を対象とする地域活動リーダー養成する講座として、ワーク・ライフ・バランスの必要性等についての研修を実施し、職員の男女共同参画推進への意欲の向上を図った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	条例・計画の周知啓発		10	10	10	10	10	回
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,463,994	0	188,527	0	188,527	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		3,463,994	0	188,527	0	188,527		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	条例・計画の周知啓発		成果指標に対する所見	成人式、人権文化祭、出前講座等の機会に条例パンフレットを配布し、広く周知啓発を行った。また、市内小学校において6年生を対象として子ども用の条例パンフレットを配布して、啓発に努めた。		
	目標	10	回				
	実績	10	回				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において性差なく活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす。特に、審議会や管理職の女性登用率を推進することで、政策・方針決定等の場での女性の活躍を図る。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る			
	令和5年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	女性子ども支援事業	担当部署	健康福祉部 人権推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、鳴門市男女共同参画推進条例、鳴門市男女行動計画、児童福祉法、児童虐待防止法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 13 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		男女共同参画					
施策	2	男女共同参画社会の実現					
基本事業	3	女性に対する暴力の防止・被害者支援の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	DVおよび児童虐待問題について、問題の発生予防から被害者救済に至るまでの支援体制を確立することで安心・充実した市民生活を送れる社会の実現をめざす。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①女性子ども支援センター「ばあとなー」において、DV被害者支援および児童虐待対応の充実 ②DV防止及び児童虐待に関する相談窓口の周知啓発			①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行う。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施する。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行う。 ④ケース会議等を通じて、関係機関と必要に応じた情報を共有する。 ⑤DVおよび児童虐待問題に関する意識啓発や、相談先の周知を図ることを目的として、市内の協力事業所にパンフレットを設置する。 ⑥若年者がDVの被害者及び加害者になることを防止するため、デートDVの予防啓発を行う。				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 協力事業者等数	47	51	55	60	65	件
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small> 協力事業者等数		47	51	55	60	65	件

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	13,571	3	13,574	13,373	13,359

◎当初からの変更点

変更内容	既決予算内における流用 3千円(女性政策推進費) 公用車車検代に充当
------	------------------------------------

事務事業名	女性子ども支援事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行った。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施した。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行った。 ④ケース会議等を通じて、関係機関と必要に応じた情報共有を行った。 ⑤DVおよび児童虐待問題に関する意識啓発や、相談先の周知を図ることを目的として、市内の協力事業所にパンフレットを設置した。 ⑥若年者がDVの被害者及び加害者になることを防止するため、デートDVの予防啓発に努めた。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	協力事業者等数	52	55	60	65	70	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	協力事業者等数		52	55	60	65	70	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,441,507	0	11,765,675	0	11,765,675	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	68,000	0	2,516,000	0	2,516,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	200,000	0	0	0	0	
一般財源		1,173,507	0	9,249,675	0	9,249,675		
補助制度(名称、補助率など)		児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金 ・DV対策等総合支援事業費補助金(補助率5/10) ・児童虐待防止対策支援事業費補助金(補助率5/10)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	協力事業者等数		成果指標に対する所見	女性子ども支援センターの情報パンフレット設置について協力依頼を行い、センターの周知に努めた。		
	目標	55	件				
	実績	55	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	DV及び児童虐待の未然防止・早期発見のために、協力事業所へのパンフレットの設置を進めるなど啓発活動に努めるとともに、被害者を発見したときには、速やかに関係機関で協議し、早期対応を図る。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。			
	令和5年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権文化祭開催事業	担当部署	健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	昭和	49	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		人権						
施策	1	人権の尊重						
基本事業	1	人権行政の推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	保育所・認定子ども園・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等の人権問題の存在とその解消に向けた取組や人権尊重の大切さを訴えていくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①鳴門市人権文化祭を開催 ②小学生児童を対象にした同和カルタ大会を開催 ③少子化に伴う展示作品数の減少が懸念されることから、社会福祉法人からの作品展示への参加について協力を継続要請するとともに、パワーポイントによる取組パネル作成と投影など負担軽減策を試行しながら、展示の維持と内容充実に努める。			①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権文化祭展示作品数	1957	1686	2200	2200	2200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	130	80	170	170	170	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
人権文化祭来場者数			4,817	3,339	5,000	5,000	5,000	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,277	0	1,277	1,215	1,215

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	人権文化祭開催事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第48回鳴門市人権文化祭を開催し、人権に関する作品等の展示や部落解放同盟中央本部女性運動部長を講師に招き、記念講演会を行った。作品展示については、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、来場者へも防止対策を周知していたため、昨年度より出品数は増加したが、記念講演会は、入場制限を設けたことから、昨年度と同数であった。また、毎年好評であった小学生児童を対象にした同和カルタ大会は昨年度同様中止とし、人権劇についてはDVDによる上映にするなど工夫を講じた。また、取組パネルの作成については、外注により拡大印刷を行うなど、関係機関の負担軽減を図った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権文化祭展示作品数	1,688	2,101	2,200	2,200	2,200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	80	80	170	170	170	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	人権文化祭来場者数		3,339	3,439	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)			68.8	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		673,162	0	832,649	0	832,649	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	468,000	0	624,000	0	624,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		205,162	0	208,649	0	208,649		
補助制度(名称、補助率など)		隣保館運営等事業費補助金(3/4)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症対策により、一部事業の中止や入場制限を設けるなどしたため、来場者数は目標値を達成できなかった。		
	目標	5,000	人				
	実績	3,439	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成28年12月に部落差別解消推進法が施行され、行政の責務が明確にされる中、差別落書きやインターネットへの悪質な書き込み、障がい者問題などさまざまな人権問題においても、人権侵害の事象が発生しており、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も人権文化祭開催事業を継続すべきである。 また、隣保館デイサービス事業などで、地域全体に開かれたコミュニティセンターとしての役割を推進し、市民全体に開かれた人権文化祭の運営形態が求められている。平成29年10月に鳴門市隣保館運営審議会から答申が出されたことから、答申内容を反映できるような人権文化祭の運営形態を検討していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	少子化などによる学校の負担軽減や統廃合による幼稚園、保育所の減少に対応した新しい展示作品者の検討するとともに、川崎会館閉館したことによる展示スペースの工夫が必要となってくる。また、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な現在、その影響が最小限になる工夫も必要である。			
	令和5年度	人権意識の普及・高揚を図るとともに、来場者数を維持する。令和5年度は人権文化祭開催50回の節目年となり、開催場所及び新しいイベントを企画するなど、新事業を検討する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域生活支援事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系				根拠法令計画など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 18 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		障がい者福祉					
施策	5	障がい者福祉の推進					
基本事業	1	社会参加の促進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	日常生活に関する相談や、社会参加のための支援など、障がい者(児)を対象とした障がい福祉サービスの充実を図ることにより、地域社会における共生の実現をめざす。		事業内容(R3)					
実施方針	①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 ②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。			①必須事業 相談支援事業(基幹相談支援センター)、障がい者相談支援事業(委託相談支援等)、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等 ②任意事業 日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行等				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 委託相談支援事業所(3カ所)相談件数			7,789	8,000	8,000	8,000	8,000	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	地域生活支援事業(平成18年度から実施)	地域生活支援事業	地域生活支援事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	92,123	2,671	94,794	94,650	94,650

◎当初からの変更点

変更内容	(1)相談支援事業 30,399千円 (3月補正 1,638千円)※委託料 (2)移動支援事業費 9,070千円 (予算流用 603千円)※扶助費 (3)その他の事業費 5,578千円 (9月補正 430千円)※令和2年度国庫補助金に係る返還金
------	--

事務事業名	地域生活支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、声の広報制作事業等。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	委託相談支援事業所(3カ所)相談件数		8,238	7,520	8,000	8,000	8,000	件
	目標達成率(実績/目標)			94.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		79,612,493	0	84,538,201	0	84,538,201	
	財源内訳	国庫支出金	13,715,000	0	13,656,000	0	13,656,000	
		県支出金	6,841,000	0	6,812,000	0	6,812,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		3,903,000	0	0	0	0		
一般財源		55,153,493	0	64,070,201	0	64,070,201		
補助制度(名称、補助率など)		地域生活支援事業費等補助金(補助率、国1/2、県1/4。ただし、国の交付基準に従い国の予算の範囲内。)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	委託相談支援事業所(3カ所)相談件数		成果指標に対する所見	相談件数は成果目標に達していないが、新型コロナウイルス感染症拡大の中、大きな混乱もなく、相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。また、令和2年度に設置した基幹相談支援センターでの相談件数も増加している。		
	目標	8,000	件				
	実績	7,520	件				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	○ 共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○ 困難事例も含めた多様な相談に対応できる相談支援体制の構築が必要。 ○ 基幹相談支援センターを中心とした地域生活支援拠点の機能の強化が必要。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に障がい者への相談支援体制を強化を図る。また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	心身障がい者等無料バス優待事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	昭和 48 年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		障がい者福祉					
施策	5	障がい者福祉の推進					
基本事業	2	福祉サービスの充実					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	障がい者に対して無料バス優待券を交付することにより、外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることを目的とする。		事業内容(R3)	事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供を行い、利用促進を図る。				
実施方針	障がい者の移動手段を確保するため、無料バス優待券を交付し、市内バス路線の全線において優待券の適用を継続実施する。 【対象者】 ①身体障がい者手帳の1級から4級の交付を受けている者 ②療育手帳の交付を受けている者 ③精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者 ④①～③に該当し、かつ介護を要する者の介護人							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
鳴門市高齢者等無料バス券申請件数(障がい者対象分)			88	90	90	90	90	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	無料バス優待券交付(昭和48年度から実施)	無料バス優待券交付	無料バス優待券交付	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,677	0	1,677	1,677	1,677

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	心身障がい者等無料バス優待事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供し、申請を促した。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数 (障がい者対象分)	48	55	90	90	90	件
	目標達成率(実績/目標)		61.1	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	1,337,331	0	1,268,750	0	1,268,750	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	1,337,331	0	1,268,750	0	1,268,750		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数 (障がい者対象分)		成果指標に対する所見	障がい者手帳交付時や、障がい者手帳所持者から相談があった際に制度の案内を行っており、希望する方について申請につながっている。 申請者数の低調については、新型コロナウイルス感染症拡大も影響していると考えられる。		
	目標	90	件				
	実績	55	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	路線変更など、バス運行状況の変化が利便性に影響を及ぼす可能性があるが、移動手段としてバスを必要とする方が利用できるよう、無料バス優待制度の案内・周知を行う。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	障がい者の外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることで、障がい者が地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、事業対象者となる障害者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障害者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供するなど、利用促進に向けた取り組みを引き続き実施する。			
	令和5年度	継続			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	担当部署	健康福祉部 社会福祉課			
総合計画体系				根拠法令計画など	生活困窮者自立支援法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成	27	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期		
(小項目)		低所得者福祉						
施策	6	低所得者福祉の推進						
基本事業	2	低所得者福祉の充実						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①生活保護受給世帯等の中学生を対象に、子どもの学習・生活支援事業を実施し、学習支援や様々な交流活動により、子どもたちの学力向上に加え、社会性や自立心を育むことで、「貧困の連鎖」を防止する。 ②必須事業である自立相談支援事業に加え、就労準備支援事業、家計改善支援事業を一体的に実施する。		事業内容(R3)					
実施方針	①子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】 市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 ・生活保護受給世帯・自立相談支援センターへの相談者が属する世帯・ひとり親世帯のうち非課税世帯・児童養護施設入所者世帯・児童扶養手当受給世帯・就学援助受給世帯・その他市長が認める世帯 ②自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施			①子どもの学習・生活支援事業の実施 ・引き続き事業を実施する。 ・生活保護受給世帯への制度周知に加え、児童扶養手当、就学援助それぞれの受給世帯へ案内状を送付する。 ・制度への申請があった場合、対象世帯の要件を満たしているか確認を行い、承認(不承認)通知書を作成、送付する。 ②自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	学習支援事業参加人数		29	25	30	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付 ④自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認(不承認)通知の作成、送付 ④自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	39,028	3,213	42,241	33,522	33,522

◎当初からの変更点

変更内容	令和2年度生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金実績報告完了により、返還が必要となる国庫負担金超過額を補正要求した。 国庫負担金交付決定額(受入額)16,190,175円—国庫負担金所要額12,977,978円=3,212,197円
------	--

事務事業名	生活困窮者自立支援事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①子どもの学習・生活支援事業の実施 ②就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施(自立相談支援事業との一体的実施) ③住居確保給付金の支給(新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度より支給対象が拡大)					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	学習支援事業参加人数		18	20	30	30	30	人
	目標達成率(実績/目標)			66.7	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		35,363,275	0	31,953,635	0	31,953,635	
	財源内訳	国庫支出金	23,575,228	0	21,013,785	0	21,013,785	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		11,788,047	0	10,939,850	0	10,939,850		
補助制度(名称、補助率など)		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 ・子どもの学習・生活支援事業-補助率1/2 ・就労準備支援事業、家計改善支援事業-補助率2/3 ※自立相談支援事業、住居確保給付金は国庫負担金(負担率3/4)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学習支援事業参加人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症に影響により公民館等が休館したため、事業を一時休止していた期間があったものの、参加人数は昨年度を上回っており、本事業に対する必要があることが認められる。		
	目標	30	人				
	実績	20	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、学習支援事業には令和2年度を上回る参加があり、事業の浸透がある程度図られていると思われるため、今後も継続して事業を実施していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者の相談自体が増加、多様化しているため、引き続き「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施や、「住居確保給付金」の支給により、対応していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	子どもいきいき課、学校教育課の協力の下、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯に対して案内通知を発送する。加えて、生活保護受給世帯の内今年度中学校に入学した子どもがいる世帯や新規申請世帯に対しても、夏休み前と年度末に案内通知を発送すると同時に、担当ケースワーカーから積極的な働きかけを行う。「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」を一体的に実施する。			
	令和5年度	令和4年度の実施状況に応じて、事業の継続と課題に対する改善策を検討していく。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どものまち推進事業	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市子ども・子育て支援事業計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成	13 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと					
(小項目)		子どものまち			終期	未定	
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援					
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。		事業内容(R3)					
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>第19回子どものまちフェスティバル</li> <li>ホリデーフリーパス事業</li> <li>子どものまちづくり指導者養成講座</li> </ul>			①「子どものまちフェスティバル」を、子どものまちの主体的な体験活動の事業として「鳴門のまつり」と共催で開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止としたが、今年度は感染予防対策について、関係団体と十分検討しながら、体験活動の提供が充実したものとなるよう、実施方法について検討していく。 ②鳴門市子どものまちづくり推進協議会については、地域でのネットワークづくりを推進していくため、新たに地域で積極的に子どものまちづくりに取り組んでいただける団体等について、加入各団体に情報提供や周知をお願いする。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	66	66	68	68	68	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	6,000	0	5,000	5,000	5,000	人
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small> 子どものまちフェスティバル参加者数			6,000	0	5,000	5,000	5,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	子どものまちフェスティバル ホリデーフリーパス事業 子どものまちづくり指導者養成講座	子どものまちフェスティバル ホリデーフリーパス事業 子どものまちづくり指導者養成講座	継続	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	240	△ 200	40	240	240

◎当初からの変更点

変更内容	第19回子どものまちフェスティバル中止に伴う減額補正
------	----------------------------

事務事業名	子どものまち推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>例年子どものまちづくり推進協議会の主催で開催している子どものまちフェスティバルについて、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上での実施を検討していたが、子どもたちへの感染が広がっていたことから、参加者及び関係者の安全を考慮し、中止とした。</p> <p>子どものまちづくり推進協議会のもう一つのイベントである、子どものまちづくり指導者養成講座についても、同様に、感染拡大時期と重なったことにより中止とした。</p> <p>子どもホリデーフリーパスパスポートについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、延べ2件の利用にとどまった。</p>						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	66	66	66	66	66	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	0	0	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	子どものまちフェスティバル参加者数		0	0	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)			0.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	22,800	0	800	0	800		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		22,800	0	800	0	800		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成		
成果指標に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全を考慮し中止としたため。
	目標	5,000	人		
	実績	0	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>今年度の子どものまちフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し感染防止策を徹底した上での実施を検討していたが、準備を進めている間に感染が拡大し、開催に向けての詳細な協議を行うことができず、中止せざるを得なかった。次年度は20回目を迎えるが、開催を検討する際には感染予防対策に加え、密の回避、イベントの規模等を協議する必要がある。従来どおりの開催は難しいため、どうすれば安心安全に子どもたちへの主体的な体験活動を提供できるか、参加団体や関係機関の意見を聞き、十分に検討を行っていく。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえたイベントの開催について、関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ることができるよう、検討していく。			
	令和5年度	継続して実施する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後児童健全育成事業	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 14 年度	
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定
(小項目)		子どものまち					
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援					
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①放課後児童の安全・安心な居場所の確保 ②放課後児童の健全育成 ③子育て家庭の仕事と家庭の両立支援		事業内容(R3)					
実施方針	①居間保護者のいない家庭の児童に放課後、学校の余裕教室等を活用し、遊びや生活の場を提供する。 ②学校及び教育委員会と協議・連携し、利用者のニーズに沿った提供体制を整備する。			①事業運営 地域住民等で組織される運営委員会に委託を行い、居間保護者のいない家庭の児童に放課後の安全・安心な居場所を提供する。 ②施設整備 利用希望者が増加しているクラブや施設の改善を図る必要があるクラブについて、施設改善の検討・実施に取り組む。 ③利用料免除 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、低所得世帯及び多子世帯の利用児童の利用料を免除する。新型コロナウイルス感染症の影響で利用を自粛した児童の利用料を軽減する。				

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	児童クラブ(支援の単位)数	18	19	19	19	19	クラス	
	2	利用料免除延べ児童数	1,350	1,200	1,500	1,500	1,500	人	
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
対象にどのような効果があったか示す指標			児童クラブ平均登録児童数	651	620	650	650	650	人

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②撫養児童クラブの受け入れ学年拡充 ③児童クラブ施設改善の検討・実施 ④利用料免除事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	147,026	△ 10,202	136,824	149,350	149,350

◎当初からの変更点

変更内容	各児童クラブの運営見込みに応じて委託料を変更。
------	-------------------------

事務事業名	放課後児童健全育成事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容							地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。新型コロナウイルス感染症の影響による小学校臨時休業に合わせて休業を行うこともあったが、子育て家庭の仕事と子育ての両立を支援するため、感染症予防対策に取り組み、事業を実施した。また、徳島県の要請に基づき「自宅での保育に協力をいただいた世帯の児童」に対し、通常の利用料の軽減に加えて日割りで利用料の免除を行った。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和6年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small></td> <td>1 児童クラブ(支援の単位)数</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>クラス</td> </tr> <tr> <td>2 利用料免除延べ児童数</td> <td>1290</td> <td>993</td> <td>1200</td> <td>1500</td> <td>1500</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small></td> <td>児童クラブ平均登録児童数</td> <td>598</td> <td>619</td> <td>650</td> <td>650</td> <td>650</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>95.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>								指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 児童クラブ(支援の単位)数	19	19	19	19	19	クラス	2 利用料免除延べ児童数	1290	993	1200	1500	1500	人	成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	児童クラブ平均登録児童数	598	619	650	650	650	人	目標達成率(実績/目標)		95.2	—	—
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位																																					
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 児童クラブ(支援の単位)数	19	19	19	19	19	クラス																																					
	2 利用料免除延べ児童数	1290	993	1200	1500	1500	人																																					
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	児童クラブ平均登録児童数	598	619	650	650	650	人																																					
	目標達成率(実績/目標)		95.2	—	—	—	%																																					
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算																																									
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費																																						
	計	144,243,999	0	131,783,160	0	131,783,160																																						
	財源内訳	国庫支出金	51,919,000	0	42,548,000	0	42,548,000																																					
		県支出金	48,600,000	0	44,511,000	0	44,511,000																																					
		地方債	0	0	0	0	0																																					
その他		0	0	0	0	0																																						
	一般財源	43,724,999	0	44,724,160	0	44,724,160																																						
補助制度(名称、補助率など)	子ども・子育て支援交付金(国1/3) 徳島県放課後児童健全育成事業費補助金(県1/3) とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金(県1/2)																																											

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	児童クラブ平均登録児童数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の流行する中、子育て家庭の仕事と子育ての両立のため感染症予防を徹底し、利用を希望する家庭の児童に対し継続して事業を実施した。		
	目標	650	人				
	実績	619	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	施設面積が不足するため、利用希望児童が増加するクラブについては、高学年児童の受け入れができていない状況がある。今後の児童数の推移を勘案しながら児童クラブ運営委員会、教育委員会及び小学校と協議のうえ受け入れ体制を整える。また、職員の確保や事務に関し、運営委員会から負担が大きいのという声もあることから、今後のあり方について、全市的に検討を行う必要がある。					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和4年度	児童クラブ運営委員会に実態調査を実施。継続して事業に取り組む。				
	令和5年度	児童クラブ運営委員会に実態調査結果に基づく事業の方向性を検討する。継続して事業に取り組む。				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市子ども・子育て支援事業計画			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成	22	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		児童福祉						
施策	2	児童福祉の推進						
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①育児不安を抱える家庭の支援 ②保育士等、子育て支援者のスキルアップ ③軽度の障がい疑われる児童の早期発見、継続支援体制の構築		事業内容 (R3)	市内7施設で巡回相談事業を実施する。				
実施方針	①希望する公私立保育施設に対し、医師、臨床心理士及び保健師が訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。 ②軽度の発達障がい疑われる児童について、継続的な支援に繋げる。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施施設数	8	7	7	7	7	施設
	2	観察を受けた児童数	529	355	400	400	400	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
適切な支援を受けた児童数			46	47	50	50	50	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移 (千円)	507	0	507	664	468

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)
-------	----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		市内6か所(延べ)の保育施設で巡回相談を実施した。育児不安を抱える等、支援が必要と思われる家庭の保護者に対しては、事業を実施する保育施設で個別に声をかける等、保護者からの相談に繋げた。新型コロナウイルス感染症流行時については、その予防のため、各施設で工夫をしながら事業を継続した。子どもの日頃のエピソードを基に、保育士が医師・臨床心理士などの専門家から指導を受けることにより、保育の質の向上を図るほか、健康増進課の保健師等と施設とが情報共有を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施施設数	7	6	10	10	10	施設
	2	観察を受けた児童数	355	436	600	500	500	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	適切な支援を受けた児童数		47	40	50	50	50	人
	目標達成率(実績/目標)			80.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		504,957	0	339,428	0	339,428	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	100,000	0	100,000	0	100,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		404,957	0	239,428	0	239,428		
補助制度(名称、補助率など)		とくしま子育てはぐみ応援推進交付金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	適切な支援を受けた児童数		成果指標に対する所見	コロナ禍にあっても、各保育施設からは実施の希望が多く、感染症予防を徹底することで事業を実施した。保護者や保育士が専門家である医師・臨床心理士から助言及び指導を受けることにより、負担感の軽減、保育意識の向上に繋げた。		
	目標	50	人				
	実績	40	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	保育施設から一定の事業実施希望がある一方で、指導者である医師や臨床心理士との日程調整に工夫が必要になっている。今後も健康増進課等と綿密な調整を行い、できる限り希望する施設が事業を実施できるよう取り組みたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	継続して事業を実施する。			
	令和5年度	継続して事業を実施する。			



◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	保育士人材確保推進事業	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課			
総合計画体系				根拠法令 計画など				
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	令和	3	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		児童福祉						
施策	2	児童福祉の推進						
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①就学前教育・保育の質の向上 ②就学前教育・保育の提供量の確保		事業 内容 (R3)					
実施方針	①市内の保育所、認定こども園に就労する保育士等に対して就労支援金を支給し、また、市内外の潜在保育士や保育士養成校の学生に本市の保育士支援の情報を発信することで、市内保育施設への就労を促し、各施設が抱える保育士不足の解消に繋げる。 ②安定した保育士確保を可能とすることで、本市の就学前教育・保育の質の向上に繋げる。			①保育士等の新規就労や復帰支援を促進するための転入支援金を支給する。 ②保育士等の新規就労や復帰支援を促進するための就労支援金を就労施設を通じて支給する。 ③保育施設を通じて保育士等に対し、勤続年数に応じた手当・奨励金を支給する。 ④保育士職の魅力を伝えるパンフレットを作成し、配布する。				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 私立保育施設利用児童数	—	—	890	920	920	人
	2 在宅保育支援事業(一時預かり・拠点)実施保育施設数	—	—	6	7	7	箇所
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>							
私立保育施設利用率(利用者数/利用定員)		—	—	100	100	100	%

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容	—	—	保育士確保推進事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	14,262	0	14,262	14,650	14,650

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	保育士人材確保推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		市内の私立保育所、認定こども園の保育士等の確保を支援するため、新規採用保育士に対して支援金、継続して勤務する保育士に対して手当、長年に渡り勤務する保育士に対して奨励金を支給する保育所等に補助金の交付を行った。 令和3年度は市内の全施設が補助金の交付を受け、保育士の確保及び離職予防に繋げた。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	私立保育施設利用児童数	—	945	925	925	925	人
	2	在宅保育支援事業(一時預かり・拠点)実施保育施設数	—	6	7	7	7	箇所
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	私立保育施設利用率(利用者数/利用定員)		—	102	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			102.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		—	0	10,696,250	0	10,696,250	
	財源内訳	国庫支出金	—	0	0	0	0	
		県支出金	—	0	0	0	0	
		地方債	—	0	0	0	0	
その他		—	0	0	0	0		
一般財源		—	0	10,696,250	0	10,696,250		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	私立保育施設利用率(利用者数/利用定員)		成果指標に対する所見	保育施設が保育士を確保することで、定員又は定員以上の児童の受入れが可能となっており、令和3年度は待機児童が発生していない。		
	目標	100	%				
	実績	102	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「保育士になるなら鳴門市」と新規保育士や潜在保育士に考えてもらえるよう、本事業を継続するだけでなく、制度を市内外に広く周知する必要がある。また、離職率の高い保育現場の環境を改善することで、離職を予防し、安定した就学前教育・保育提供体制を整える。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	事業を広く周知する。 事業を継続する。			
	令和5年度	事業を広く周知する。 事業を継続する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域子育て支援拠点事業(民間施設活用)	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成	22	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		児童福祉						
施策	2	児童福祉の推進						
基本事業	3	子育て家庭への支援						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①子育て家庭の負担感の軽減 ②子育て家庭の不安感の軽減 ③児童の健全育成の支援		事業 内容 (R3)	①ひろば・出張ひろばの実施 在宅で子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供する。 ②訪問事業の実施 生後4か月の子どものいる家庭を訪問し、子育てに関する相談に応じたり、子育て支援サービスを案内したりする。 ③マタニティ事業の実施 妊婦及びその家族の相談に応じ、子育てに関するアドバイスを行う。 ④赤ちゃん授業の実施 小学生等に赤ちゃん授業を実施し、自己肯定感等を育む。				
実施方針	①ひろばの実施 ②出張ひろばの実施 ③おめでとう赤ちゃん訪問事業の実施 ④にこにこマタニティ事業の実施 ⑤赤ちゃん授業の実施							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	訪問乳児数	207	207	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	283	283	330	330	330	日
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
ひろば・出張ひろば参加親子数			5,483	4,000	5,300	5,300	5,300	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	14,542	0	14,542	15,142	15,142

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名 地域子育て支援拠点事業(民間施設活用)

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>「にこにこ広場」は市内の様々な地域から子育て家庭が集まる交流の場となっている。また、「出張にこにこ広場」も地域の子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場となっている。新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者を午前と午後の予約制にし、密を防ぐほか、午前と午後の入替え時に、施設消毒時間を設定するなどの工夫を凝らし、やむを得ず一事業を中断することもあったが、できる限りの事業の継続に取り組んだ。</p> <p>「赤ちゃん訪問事業」についても、感染症予防に細心の注意を払い継続をし、生後4か月児のいる家庭に対し、本市の子育て支援事業全般の案内を実施し、保護者の育児不安の軽減に繋げた。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	訪問乳児数	284	208	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	272	206	330	330	330	日
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	ひろば・出張ひろば参加親子数		1,603	1,122	2,000	2,000	2,000	人
	目標達成率(実績/目標)			21.2	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		14,542,000	0	14,542,000	0	14,542,000	
	財源内訳	国庫支出金	4,360,000	0	4,416,000	0	4,416,000	
		県支出金	4,360,000	0	4,416,000	0	4,416,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		5,822,000	0	5,710,000	0	5,710,000		
補助制度(名称、補助率など)		<p>子ども・子育て支援交付金(国1/3) 多様な子育て支援推進交付金(県1/3)</p>						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ひろば・出張ひろば参加親子数		成果指標に対する所見	<p>子育て家庭同士の交流の場、子育て家庭の相談の場として定着している。新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中断せざるを得ない状況となった期間があり、事業再開後も感染症予防対策のため人数制限をして事業を実施した。</p>		
	目標	5,300	人				
	実績	1,122	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>感染症予防のため、人数制限を行い、利用を予約制としたことから利用者数が目標値と乖離することになっている。今後も感染症収束の目処が立っていない中、予防対策の徹底が必要であることから、利用を希望する子育て家庭を全て受入れられず、調整が必要になっている。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	継続して事業に取り組む。利用者が混乱しないよう、中断や利用調整を行う際の周知を徹底する。			
	令和5年度	継続して事業に取り組む。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市子ども・子育て支援事業計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 17 年度	
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期	未定
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進					
基本事業	3	子育て家庭への支援					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市内において「育児の援助を行いたい者」と「育児の援助を受けたい者」とを会員として登録し、育児の相互援助活動を行う。		事業 内容 (R3)	ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施する。 ①市広報誌や市公式ウェブサイト、LINEによる広報活動 ②児童手当や子どもはぐみ医療費助成事業の申請時にリーフレットを配布 ③子育て世帯の親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会をNPOと共催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進する。				
実施方針	依頼会員と提供会員、両方会員のそれぞれの役割や理解を得て、地域における子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりをめざす。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	年間活動件数	1,214	1,000	2,000	2,000	2,000	件
	2	交流会	14	10	14	14	14	回
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)		1,108	1,100	1,100	1,100	1,100	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	9,599	0	9,599	9,599	9,599

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施した。 事業の実施方法として、市広報誌やリビング広報、LINEを使用した広報を行った。また、子育て親子が集まる場所での周知や、同センター主催の交流会や研修会を開催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進した。昨年度15周年を迎えた同事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期としていた記念交流会を開催し、会員間の交流を図った。 在宅育児応援クーポン事業の継続実施により、クーポンの対象となる親子イベントを開催した。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 年間活動件数	959	962	1,500	1,500	1,500	件
	2 交流会	12	14	14	14	14	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)	1,115	1,153	1,100	1,100	1,100	人
	目標達成率(実績/目標)		104.8	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	9,599,000	0	9,599,000	0	9,599,000	
	財源内訳	国庫支出金	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		県支出金	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	3,867,000	0	3,867,000	0	3,867,000		
補助制度(名称、補助率など)	子ども・子育て支援交付金 子ども・子育て支援事業補助金						

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)	成果指標に対する所見	事業の周知を行うことによって、年度登録会員数は少しずつ増加しており、子育て世帯から必要とされている。
	目標	1,100 人		
	実績	1,153 人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業についての周知を図ることにより、認知度を高め、依頼会員、提供会員の会員増加に努める。また、休日預かりなど様々なニーズに対応できる実働人数の増加を目指す。病児・病後児預かりサービスについては、コロナ禍での受け入れ体制が課題となるため、他のセンターを動向を参考に事業実施の方向性について研究していく。 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は減少しているが、今後もサービスが必要な家庭が安心して利用できるよう、感染対策を徹底していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	継続して事業を実施する。			
	令和5年度	継続して事業を実施する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業	担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市補助金等交付条例 鳴門市補助金等交付条例施行規則			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	令和	元	年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終了		
(小項目)		ひとり親家庭等の福祉						
施策	3	ひとり親家庭等の自立支援の推進						
基本事業	1	子育て支援及び生活の場の整備						年度
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	平成29年度「鳴門市子どもの生活に関するアンケート調査」を実施した結果、貧困問題の課題を解決するための方策の1つとして、子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした「子ども食堂」を運営する団体に初期費用や運営に係る費用を補助する。		事業 内容 (R3)	子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付する。 ①対象団体 選考会を開催し、補助団体を決定(継続団体については書類審査のみ) ②対象経費 ・初期経費:備品、消耗品等で施設整備にかかる経費 ・運営経費:食事提供事業、学習支援事業				
実施方針	①鳴門市子どもの生活に関するアンケート調査の調査結果を受け、貧困の連鎖を断ち切るため、他の自治体の取り組みも参考にしながら、ひとり親世帯を中心に子どもの貧困対策をはじめとした子育て支援策の検討を行った結果、子どもが放課後等に食事、学習、団らん等を通じて安心して過ごせる居場所づくりを実施する者に対し、補助金を交付し、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を進める。 ②子どもの未来を応援する首長連合の組織ネットワークを活用し、情報収集や国への要望活動を行う。							

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 補助団体	1	2	4	4	4	箇所
	2 参加者数	451	800	800	800	800	人
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	補助団体	1	2	4	4	4	箇所

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,939	0	1,939	1,529	1,529

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、補助金を交付した。 ・市内で子どもの居場所を設置しようとする団体からの企画提案書を受け、選考会を開催し補助団体を決定、令和3年度も昨年度に引き続き2か所で子ども食堂(1団体は昼食提供、もう1団体は夕食及び長期休暇の昼食提供)と学習支援を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、マスク着用、手指消毒の徹底、食事場所の密の回避などを行い、感染拡大時期は持ち帰り弁当にするなど、工夫しながらできる限り継続して事業を実施した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	補助団体	2	2	3	3	3	箇所
	2	参加者数	2,014	3,123	1,500	1,500	1,500	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	補助団体		2	2	3	3	3	箇所
	目標達成率(実績/目標)			50.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		639,466	0	707,000	0	707,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		639,000	0	707,000	0	707,000		
一般財源		466	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)		鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金 10/10						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	補助団体		成果指標に対する所見	地域における居場所の確保を提供してくれる団体の協力が必要不可欠な事業であり、実施箇所数の増加を図るため、今後も広く事業を周知する必要がある。		
	目標	4	箇所				
	実績	2	箇所				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業開始から3年を経過したが、子どもの居場所への需要は高まっていることから、継続して事業を実施していくために、同一団体に対する補助金の交付回数を変更し、より円滑な運営を行うことができるよう支援していく必要がある。また、実施団体にも、フードバンクを活用したり、地域住民から余剰食材を提供してもらえるようなつながりを作っていくことが必要とされる。今後も実施団体との情報共有をしながら、密の回避や食事の間隔を空けるなどの感染防止対策を徹底し、安心して子どもたちに過ごしてもらえるような居場所を提供していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	同一団体への補助を6回まで認めることとする。また、実施団体と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や食中毒発生防止など安全面に気を配りながら、事業を実施する。			
	令和5年度	継続して事業を実施する。			



---

各実施計画兼評価シート

---

都 市 建 設 部



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅ストックの有効活用	担当部署	都市建設部 まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市公営住宅等長寿命化計画			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	18	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと						
(小項目)		居住環境			終期	未定		
施策	1	良好な居住環境の整備						
基本事業	1	住宅ストックの有効活用						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	今後も既存市営住宅を効率的に活用していくため、計画的な施設の改修を行っていく。		事業内容(R3)						
実施方針	「鳴門市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、維持管理団地において、施設の長寿命化を推進するための改修工事等を行い、ライフサイクルコストの縮減と安全・安心な施設整備に努める。			①高島団地A棟外部改修工事 ②高島団地A棟外部改修工事監理業務 ③高島団地B棟外部改修工事設計業務					
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	0	棟	
	2								
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	0	棟
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①桑島第2団地B棟外部改修工事 ②矢倉団地手摺り設置工事(A棟)	①明神第二団地外部改修工事 ②矢倉団地手摺り設置工事(B~F棟)	高島団地A棟外部改修工事	高島団地B棟外部改修工事	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	53,320	△ 437	52,883	58,500	26,950

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正にて公営住宅改善事業費委託料の請負差額437千円を減額。
------	----------------------------------

事務事業名	住宅ストックの有効活用
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	高島団地A棟について外部改修工事を実施。						
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	屋上・外壁改修棟数	1	1	1	-	-	棟
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	屋上・外壁改修棟数		1	1	1	-	-	棟
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		46,736,800	0	52,882,500	0	52,882,500	
	財源内訳	国庫支出金	16,783,000	0	15,121,000	0	15,121,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	26,800,000	0	37,700,000	0	37,700,000	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		3,153,800	0	61,500	0	61,500		
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金 補助対象額×1/2限度						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	屋上・外壁改修棟数		成果指標に対する所見	建物の長寿命化や設備の適切な更新を進めることができ、市営住宅の住環境向上に寄与できたためA評価としたい。		
	目標	1	棟				
	実績	1	棟				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長寿命化計画の定める方向性に従い、外部改修工事等を計画的に実施し、建物の長寿命化及び設備の更新を進めていく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	高島団地B棟外部改修工事			
	令和5年度	明神第2団地浴室改修工事			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	木造住宅耐震化促進事業	担当部署	都市建設部 まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会資本整備総合交付金交付要綱			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	16	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		居住環境						
施策	1	良好な居住環境の整備						
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	市民の防災意識の向上を図るとともに、大地震における住宅の倒壊等による被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、耐震改修等を実施する市民に対し、その経費の一部について補助を行う。		事業 内容 (R3)	耐震診断65戸、補強計画11戸、耐震改修(スマート化工事含む)19戸、耐震シェルター設置(スマート化工事含む)3戸、住宅の住替え5戸の助成を行う。				
実施方針	耐震診断の結果、評点が1.0未満の「倒壊する可能性がある」と判定された住宅の耐震改修(スマート化工事含む)、耐震シェルター設置(スマート化工事含む)支援及び評点が0.7未満の「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅の住替えを支援し、耐震化を促進する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	木造住宅耐震診断等	51	60	76	76	76	戸
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数			11	18	19	19	19	戸
事業の 実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①広報なると及び公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報なると及び公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報なると及び公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	36,701	5,801	42,502	36,701	36,701

◎当初からの変更点

変更内容	申請取り下げ等に伴い令和3年度3月補正予算額3,166,000円減額。 令和2年度からの繰越予算額8,967,200円。
------	---

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①広報なると及び公式ウェブサイト等に掲載し、事業実施をお知らせした。 ②戸別訪問による事業の説明やパンフレットを配布するなど、啓発活動を実施した。 ③住宅安心リフォーム補助金も工事内容が重複しなければ併用することができ、負担が少なくできることを案内した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	木造住宅耐震診断等	57	48	76	76	76	戸
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		16	17	19	19	19	戸
	目標達成率(実績/目標)			89.5	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		25,550,802	8,967,200	16,333,214	11,776,400	37,076,814	
	財源内訳	国庫支出金	12,016,000	4,184,000	7,528,000	5,410,000	17,122,000	
		県支出金	6,774,550	2,391,800	4,361,450	3,183,600	9,936,850	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		6,760,252	2,391,400	4,443,764	3,182,800	10,017,964		
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金): 1/2 徳島県木造住宅耐震化促進事業費補助金: 1/4~1/2						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		-
成果指標に対する評価	指標名	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		成果指標に対する所見	成果指標である耐震改修について、実績戸数は目標戸数を下回ったが、概ね目標を達成できたためB評価としたい。	
	目標	19	戸			
	実績	17	戸			
	評価	B:概ね目標を達成できた				

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度における耐震改修の補助事業については、概ね目標を達成できた。一方、鳴門市耐震改修促進計画において耐震化率100%を目指しているが、このままの推移でいくと目標達成には時間を要する状況である。このことから、今後も耐震化支援事業の申し込み状況等を踏まえた予算配分を検討するなど、多くの方に事業を活用していただけるような取り組みが必要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	戸別訪問等での啓発活動を実施し、耐震改修等と併せて実施するリフォーム工事等に対する上乘せ補助があることなどをPRするとともに、広報紙や公式ウェブサイト等により補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。			
	令和5年度	令和4年度と同様に補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業	担当部署	都市建設部 まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令 計画など				
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	26	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまちなると				終期	未定	
(小項目)		居住環境						
施策	1	良好な居住環境の整備						
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	住宅・住環境の向上と良好な住宅ストック形成の促進を図るとともに、市民の消費活動と雇用機会の創出を促し地域経済の活性化を図る。		事業 内容 (R3)	補助率20%(新型コロナウイルス感染症の影響による離職者などは40%)、補助限度額20万円で延べ45戸の募集を行い、予算の範囲内で追加募集を行う。				
実施方針	市内に住民登録を行い、市税の滞納がない者。補助金の交付を受けようとする者の世帯全員の前年度所得合計金額が550万円未満の者などを対象に、住宅リフォーム経費を助成する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報紙等掲載	2	3	2	2	2	回
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	リフォーム実施戸数		45	44	45	45	45	戸
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知する。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	9,015	0	9,015	10,015	10,015

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。						
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報紙等掲載	3	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	リフォーム実施戸数		47	48	—	—	—	戸
	目標達成率(実績/目標)			106.7	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		8,561,186	0	8,361,336	0	8,361,336	
	財源内訳	国庫支出金	200,000	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		8,361,186	0	8,361,336	0	8,361,336		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	リフォーム実施戸数		成果指標に対する所見	実施戸数が目標戸数を上回った。		
	目標	45	戸				
	実績	48	戸				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	近年、目標戸数を上回る申し込みがあるなど、継続的な需要があるため、申込数の確保に向けた取り組みが必要となっている。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度の周知に努める。			
	令和5年度	R4年度の課題を改善し、取り組みを進める。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	空家等対策事業	担当部署	都市建設部 まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	空家等の推進に関する特別措置法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	26	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると				終期		
(小項目)		居住環境						
施策	1	良好な居住環境の整備						
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①老朽空き家の除却の促進 ②空家等の適正管理の促進		事業 内容 (R3)	①老朽危険空き家除却支援事業の実施 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等への助言・指導、勧告等 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免制度の周知 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会の実施				
実施方針	①補助制度や減免制度による除却の促進 ②特に緊急を要する危険な空家等の特定空家等への認定・措置 ③所有者等への指導や意識啓発による、適正管理・除却の促進							

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 補助金・減免相談対応件数	59	43	60	60	60	件
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	空家等除却実施戸数(補助・減免によるもの)	28	18	30	30	30	戸

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④特定空家等の解体設計 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④特定空家等の略式代執行 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家実態調査の実施 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家実態調査の実施 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家相談会の実施

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	20,899	△ 1,640	19,259	12,329	12,215

◎当初からの変更点

変更内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請負差額分の減額(空き家実態調査業務)</li> <li>・補助実施の見込みに併せて減額(空き家除却補助) 等</li> </ul>
------	--

事務事業名	空家等対策事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①老朽危険空き家除却支援事業の実施 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等予備軍への指導 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免制度の周知 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会の実施 ⑤空き家実態調査の実施					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	補助金・減免相談対応件数	48	77	80	80	80	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	空家等除却実施戸数(補助・減免によるもの)		26	31	30	30	30	戸
	目標達成率(実績/目標)			103.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		21,124,300	0	16,875,000	0	16,875,000	
	財源内訳	国庫支出金	8,608,000	0	8,419,000	0	8,419,000	
		県支出金	1,850,000	0	1,985,000	0	1,985,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		10,666,300	0	6,471,000	0	6,471,000		
補助制度(名称、補助率など)		空き家対策総合支援事業(国の制度)…補助率1/2(直接補助は2/5) 老朽危険空き家等除却支援事業(県の制度)…補助率1/4						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	空家等除却実施戸数(補助・減免によるもの)		成果指標に対する所見	募集戸数以上に実施することができた。		
	目標	30	戸				
	実績	31	戸				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・老朽危険空き家除却支援事業は、予算の範囲内でできる限り多く実績を増やしていく必要がある。 ・特定空家等候補についても、特定空家等となる前の段階での解決を目指すため、除却に繋がるよう進めていく必要がある。 ・空き家除却促進のため、空き家除却後の跡地の固定資産税減免やブロック塀等安全対策支援事業等の関連制度の活用について、引き続き周知を行う工夫が必要。 ・空き家実態調査の結果を踏まえた空き家対策の新たな取り組みが求められる。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	・空家等除却実施戸数(補助・減免によるもの)の目標戸数を30戸とし、制度の周知を図る。 ・特定空家等の候補に対する指導を行うとともに、特定空家等の認定を検討する。 ・他の関係団体と連携した空き家相談会等により、意識啓発を行う。 ・空家等対策計画の改定を行い、新たな取り組み等について検討を行う。			
	令和5年度	・R4年度に生じた課題に対し、改善を行う。			

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定	担当部署	都市建設部 まちづくり課			
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法、都市再生特別措置法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	令和	3	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると				終期		
(小項目)		市街地						
施策	1	活気に満ちた市街地の形成						
基本事業	1	市街地の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	現行のマスタープランが策定から9年経過しており、社会経済情勢の変化に伴い、見直しの時期となっている。人口減少社会の中、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進していくための計画として、マスタープランの一部とみなされる「立地適正化計画」が重要とされており、マスタープランと併せて、R3～R4年度の2か年にかけて策定する。		事業内容(R3)					
実施方針	①都市計画マスタープランの見直し 「市の都市計画に関する基本的な方針」として、都市全体の将来像や地区ごとの整備課題に応じた整備等の方針を定める。 ②立地適正化計画の策定 人口減少や少子高齢化の中、持続可能な都市経営を実現する観点から、居住や都市機能の両面で緩やかに誘導することで都市全体の構造の見直しを図る。			①都市計画マスタープランの見直し(全体構想) ②立地適正化計画の策定(基本方針) ③防災指針の策定(基本方針) ④市民意識調査等				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	未来のまちづくり計画策定検討会の実施回数	0	0	3	4	0	回
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
対象にどのような効果があつたかを示す指標 都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定			—	—	—	策定	推進	—
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	—	—	①現状把握・分析・課題整理 ②全体構想・基本方針作成 ③防災指針の検討 ④市民意識調査等	①地域別構想の検討 ②居住誘導区域・都市誘導区域の検討 ③防災指針反映 ④地区別懇談会等	—		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	23,066	△ 9,272	13,794	16,467	—

◎当初からの変更点

変更内容	・請負差額分の減額
------	-----------

事務事業名 都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①都市計画マスタープランの見直し(全体構想検討) ②立地適正化計画の策定(基本方針、誘導区域等検討) ③防災指針の策定(基本方針検討) ④市民意識調査等の実施 ⑤関係団体(農業委員会)説明会の実施 ⑥未来のまちづくり計画策定検討会の開催(2回)、都市計画審議会の開催(1回)					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	未来のまちづくり計画策定検討会の実施回数	—	2	5	—	—	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定		—	—	1	—	—	—
	目標達成率(実績/目標)			—	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		—	0	13,794,000	0	13,794,000	
	財源内訳	国庫支出金	—	0	5,100,000	0	5,100,000	
		県支出金	—	0	0	0	0	
		地方債	—	0	0	0	0	
		その他	—	0	0	0	0	
一般財源		—	0	8,694,000	0	8,694,000		
補助制度(名称、補助率など)		集約都市形成支援事業補助金(国費:補助率1/2) ※立地適正化計画策定業務のみ						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定		成果指標に対する所見	年度内に予定していた検討会の開催及び議会への中間報告について、新型コロナウイルスの影響により令和4年度に延期し、第2回定例会での中間報告となったが、令和4年度中策定へ向けては概ね順調に進んでいる。		
	目標	—	—				
	実績	—	—				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地区懇談会を通じて各地域ごとの課題抽出 立地適正化計画の誘導区域・防災指針について国との協議・調整 等				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	都市計画マスタープランの改定(地域別構想)、立地適正化計画策定(誘導区域、防災指針)、各地区自治振興会へ懇談会実施、都市計画審議会・未来のまちづくり計画策定検討会の開催、素案の作成、パブリックコメント実施 等			
	令和5年度				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	排水機場樋門整備事業	担当部署	都市建設部 土木課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	河川法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期	未定	
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①浸水被害を最小限に食い止める。 ②市民生活の安全確保 ③住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減		事業 内容 (R3)					
実施方針	①現地調査等や定期点検結果の精査 ②事業費の算出や計画年次の決定 ③排水機場長寿命化計画の策定による適正な維持管理			①藻塩橋排水機場他排水機場修繕工事 ②式軒家第二排水機場改良工事 ③堂浦地区排水機場新設工事 ④立岩四枚排水機場新設工事				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	施設更新基数	4	4	4	4	4	基
	2	目標更新基数	4	4	4	4	4	基
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
更新達成率			100	100	100	100	100	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①立岩区画排水機場 直流電源盤更新工事 ②明神第一排水機場 更新工事 他2件	①市場排水機場水中 ポンプ更新工事 ②大桑島排水機場水 中ポンプ更新工事 他2件	①藻塩排水機場他修 繕工事 ②式軒家第二排水機 場改良工事 ③堂浦地区排水機場 新設工事 ④立岩四枚排水機場 新設工事	長寿命化計画に沿って 維持管理	長寿命化計画に沿って 維持管理		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移 (千円)	320,000	56,987	376,987	325,300	272,000

◎当初からの変更点

変更内容	堂浦第二排水機場建設において、新たに仮設矢板が必要となった。また、仮設矢板を設置するにあたり周辺家屋への影響を考慮し家屋事前・事後調査も必要となった。よって、これらの費用を9月に補正要望した。 9補10,500 流△3,153 繰50,000 R2から
------	---

事務事業名	排水機場樋門整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		・藻塩橋排水機場水中ポンプ更新工事 ・弐軒家第二排水機場改良工事 ・四枚水尾川排水機場新設工事 ・堂浦第二排水機場新設工事					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	施設更新基数	4	11	4	4	4	基
	2	目標更新基数	4	4	4	4	4	基
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	更新達成率		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	100	100	100	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		287,554,100	50,000,000	288,065,500	38,921,500	376,987,000	
	財源内訳	国庫支出金	50,649,000	25,000,000	10,500,000	0	35,500,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	207,600,000	25,000,000	262,200,000	38,900,000	326,100,000	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		29,305,100	0	15,365,500	21,500	15,387,000		
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金 緊急自然災害防止事業債等 公共施設等適正管理推進事業債						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	更新達成率		成果指標に対する所見	計画通り事業は実施できている。今後も引き続き、計画的に事業を推進していく。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	排水機場整備には大きな予算が必要となっている。このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業を採択を模索しながら事業を推進していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	排水機場長寿命化計画及び中長期にわたる施設強靱化計画をもとに事業を実施。 ・立岩排水機場長寿命化工事 ・西条排水機場長寿命化工事 ・明神第八排水機場新設工事など			
	令和5年度	排水機場長寿命化計画及び中長期にわたる施設強靱化計画をもとに事業を実施。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	道路維持補修事業	担当部署	都市建設部 土木課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	道路法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	令和	元 年度	
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期			
(小項目)								
施策	4	安全で快適な道路の整備						年度
基本事業	1	道路網の整備					年度	
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	道路の路面や側溝の老朽化に伴い、機能が低下している箇所について補修を行い、一般交通に支障をきたさないよう、安全を確保することを目的とする。							
実施方針	①主要な路線や防災計画、重要な路線の舗装については、「道路舗装修繕計画」に基づき、計画的な舗装修繕を行う。 ②路面や側溝の老朽化により機能低下しているなど、緊急性の高い箇所から優先順位を勘案し、計画的な維持補修に取り組む。		事業内容(R3)	①舗装工事(舗装修繕計画に基づく対象路線の事業) ②舗装工事(上記以外の通常事業) ③土木一式工事				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	道路舗装修繕計画策定進捗率	39	100	-	-	-	%
	2	舗装修繕計画に基づく発注路線数	-	-	2	5	4	路線
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
対象にどのような効果があつたか示す指標 道路維持補修事業			推進	推進	推進	推進	推進	-
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①重要路線の調査・計画 ②道路維持補修工事	①重要路線の調査・計画 ②道路維持補修工事	①重要路線の舗装工事 ②道路維持補修工事	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	74,020	69,791	143,811	154,000	154,000

◎当初からの変更点

変更内容	社会資本整備総合交付金の前倒しや緊急に実施すべき事業が発生したことに伴い、補正により予算増額となった。
------	---

事務事業名	道路維持補修事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容	<input type="checkbox"/> 舗装修繕計画に基づく舗装工事 ⇒社会資本整備総合交付金を活用した「板東藍住線舗装補修工事」 ⇒公共施設等適正管理推進事業債を活用した「大正橋線舗装補修工事」および「板東藍住線舗装補修工事」  <input type="checkbox"/> 道路維持補修工事(39件)						
		<b>標名</b> 令和2年度実績   令和3年度実績   令和4年度目標   令和5年度目標   令和6年度目標   単位						
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	道路舗装修繕計画策定進捗率	100	-	-	-	-	%
	2	舗装修繕計画に基づく発注路線数	-	2	5	4	5	路線
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	道路維持補修事業		推進	推進	推進	推進	推進	-
	目標達成率(実績/目標)			100	100	100	100	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	108,513,800	0	143,625,900	0	143,625,900		
	財源内訳	国庫支出金	2,430,000	0	13,626,000	0	13,626,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	33,700,000	0	33,700,000	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源	106,083,800	0	96,299,900	0	96,299,900			
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金(補助率50%) 公共施設等適正管理推進事業債(37.5%)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	道路維持補修事業		成果指標に対する所見	舗装修繕計画において、優先度が最も高かった「板東藍住線」と「大正橋線」の舗装修繕が完了した。		
	目標	推進	-				
	実績	推進	-				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	舗装工事着手前に、舗装の損傷が著しい路線については、舗装解析調査を実施するが、調査の結果、改良が必要と判断された場合は、舗装設計が必要となるため、着工までに日数を要す。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	舗装修繕計画において、2番目に優先度が高い路線について、工事着手する。			
	令和5年度	舗装修繕計画において、3番目に優先度が高い路線について、工事着手する。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	道路橋梁長寿命化事業	担当部署	都市建設部 土木課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	道路法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	24	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと						
(小項目)		道路						
施策	4	安全で快適な道路の整備			終期	未定		
基本事業	3	橋梁の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	既設橋梁は高度経済成長期に大量建設されており、今後急速に、老朽化が進んでいくため、老朽化した橋梁の事後的な修繕・架替から、予防的な修繕・更新へと政策転換し、橋梁の延命化を図ることを目的とする。							
実施方針	①道路法施行規則に基づき、5年/回の点検を実施 ②計画に基づいた、修繕設計・修繕工事の実施		事業内容 (R3)	①橋梁定期点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	橋梁定期点検橋梁数	78	138	183	192	126	橋
	2	主要橋梁(10橋)の橋梁数	4	3	2	2	1	橋
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
主要橋梁健全率			85	90	93	96	100	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①橋梁点検・計画策定 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検・計画策定 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	328,050	103,059	431,109	355,050	397,000

◎当初からの変更点

変更内容	橋梁補修工事における建設資材の調達や関係機関との協議に、不測の日数を要したため、令和2年度から令和3年度へ繰越が伴ったことによる変更。
------	---

事務事業名	道路橋梁長寿命化事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①橋梁定期点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事						
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	橋梁定期点検橋梁数	138	183	192	126	78	橋
	2	主要橋梁(10橋)の橋梁数	3	2	2	1	-	橋
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	主要橋梁健全率		90	93	96	100	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	100	100	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		225,592,500	102,618,770	230,525,240	97,964,400	431,108,410	
	財源内訳	国庫支出金	110,660,000	55,990,000	122,460,000	39,743,000	218,193,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	73,800,000	40,500,000	73,700,000	28,700,000	142,900,000	
		その他	4,488,550	0	4,529,800	0	4,529,800	
	一般財源	36,643,950	6,128,770	29,835,440	29,521,400	65,485,610		
補助制度(名称、補助率など)		道路メンテナンス補助(55%)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	主要橋梁健全率		成果指標に対する所見	成果指標対象橋梁である「板東跨線橋」の修繕工事に継続して着手し、「木津神橋」の修繕設計にも、計画どおり着手することができた。		
	目標	93	%				
	実績	93	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度末時点で、健全度判定Ⅲの橋梁数は66橋となっており、早急に対応すべき橋梁が多いことが現状である。この中でも、まず耐震化を実施するなど、主要な橋梁と選定した10橋のうち、健全度がⅢのみである「板東跨線橋」と「木津神橋」の損傷が進行し、健全度がさらに悪化する前に、早急に健全化を図る必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	成果指標達成に向けて、令和4年度に、主要橋梁のうち「板東跨線橋」の橋梁修繕を完了させる。			
	令和5年度	成果指標達成に向けて、令和4年度に、主要橋梁のうち「木津神橋」の橋梁修繕を完了させる。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	河川改良事業	担当部署	都市建設部 土木課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	河川法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	不明 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと					
(小項目)		河川・海岸			終期	未定	
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備					
基本事業	1	河川整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	市内の準用河川・普通河川の改良を行うことにより、以下の目的を達成する。 ①浸水被害を最小限に食い止める。 ②市民生活の安全確保 ③護岸崩壊や吸出しから背後地を守る。		事業 内容 (R3)	実施事業内容 ①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事(その1) ③立岩排水路改良工事(その2) ④徳長排水路改良工事 ⑤三ツ石地区排水路改良工事 ⑥島田地区護岸改良工事 ⑦高島大水尾川河川改良工事 ⑧弁財天排水路改良工事 ⑨大須地区排水路改良工事 ⑩板東地区排水路改良工事 他2件				
実施方針	①現地調査等や住民要望を集約し優先順位をつける ②事業費の算出や計画年次の決定							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	事業要望箇所数	10	10	12	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	9	9	12	10	10	箇所
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
市民要望着手率			90	90	100	100	100	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事(その1)(その2) ③徳長排水路改良工事 他8件	継続実施	継続実施		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	13,000	91,626	104,626	12,900	13,000

◎当初からの変更点

変更内容	令和2年度からの繰越 91,626千円(アイノ水尾川護岸改良工事)
------	-----------------------------------

事務事業名	河川改良事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		・アキノ水尾川護岸改良工事(R2より繰越) ・徳長排水路改良工事 ・島田地区護岸改良工事 ・三ツ石地区排水路改良工事 ・南浜排水路改良工事 ・立岩地区排水路改良工事 ・立岩地区排水路補修工事 ・三ツ石地区排水路改良工事(その2) ・中島田地区排水路改良工事 ・堂浦地区排水路改良工事					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	事業要望箇所数	10	12	10	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	8	10	10	10	10	箇所
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	市民要望着手率		80	83	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			83.3	100	100	100	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		53,472,900	91,625,900	12,854,600	0	104,480,500	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	52,300,000	91,600,000	11,500,000	0	103,100,000	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,172,900	25,900	1,354,600	0	1,380,500		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市民要望着手率		成果指標に対する所見	目標は概ね達成できた。今後も引き続き費用対効果を考えながら事業を推進したい。		
	目標	100	%				
	実績	83	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域住民から、未整備水路の整備や老朽化した水路の改修などの要望が寄せられている。このため、地域の現状などを検討し計画的に整備を進めたい。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。			
	令和5年度	要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)	担当部署	都市建設部 下水道課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	昭和 43 年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる				終期	未定
(小項目)		危機管理・防災					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進					
基本事業	3	防災施設・資器材等の整備					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。							
実施方針	①優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。 ②施設の適正な維持管理を図るため、ストックマネジメント計画の策定に取り組む。		事業内容 (R3)	雨水事業(ポンプ場) ①施設のストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ②施設の耐震・耐津波対策を進める。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	管渠の耐震化・長寿命化割合	73	85	85	85	89	%
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合	18	19	32	43	55	%
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合			48	55	61	66	73	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む。	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む。	①ストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む。	優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	100,340	0	100,340	200,310	200,310

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	国庫補助金(防災・安全社会資本整備交付金)を活用して、優先度の高い雨水施設の耐震・耐津波化及び長寿命化に取り組んだ。					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 管路施設の改築修繕	39	0	43	0	55	m
	2 ポンプ場の耐震化割合	21	21	41	66	73	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	雨水施設整備	推進	推進	推進	推進	推進	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	149,439,431	0	15,027,440	85,065,000	100,092,440	
	財源内訳	国庫支出金	74,670,400	0	7,472,500	42,527,500	50,000,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	59,500,000	0	0	42,500,000	42,500,000
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	15,269,031	0	7,554,940	37,500	7,592,440		
補助制度(名称、補助率など)	防災・安全社会資本整備交付金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合		成果指標に対する所見
	目標	61	%	
	実績	推進	%	
	評価	A:目標を達成できた		
施設の耐震化の推進が図られたのでA評価とした。				

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害の未然防止や、施設の適正な維持管理のため、施設の耐震・耐津波化、及び長寿命化を図っており、事業を推進するための国庫補助等財源確保が課題となっている。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の適正な維持管理を円滑に行う。			
	令和5年度	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の適正な維持管理を円滑に行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道整備事業(汚水)	担当部署	都市建設部 下水道課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成 13 年度	
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると				終期	未定
(小項目)		生活排水対策					
施策	3	生活排水対策の推進					
基本事業	1	公共下水道事業の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共水域の水質改善を図る。		事業 内容 (R3)	汚水事業 ①第3期計画区域の整備を進める。 ②供用開始区域を拡大 ③下水道普及率の向上を図る。				
実施方針	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の財源確保に努めるとともに、補助金を最大限に活用しながら、下水道整備を進めていく。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	整備面積	168.9	179.2	186.8	194.4	202	ha
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	下水道普及率		10.7	11.3	11.7	12.2	12.7	%
事業の 実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	第2期事業区域の整備を進めるとともに第3期事業計画の事業認可を取得し整備を進めた。	第2期事業区域及び第3期事業区域の整備を進める。	第3期事業区域の整備を進める。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	314,203	281,600	595,803	316,966	316,966

◎当初からの変更点

変更内容	繰越281,600千円
------	-------------

事務事業名	公共下水道整備事業(汚水)
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用して、第3期事業区域の下水道整備にかかる管渠築造工事を実施した。						
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	整備面積	172.8	187.6	194.4	202.0	209.6	ha
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	下水道普及率		10.9	11.0	12.2	12.7	13.2	%
	目標達成率(実績/目標)			94.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		268,830,799	272,160,900	37,184,481	283,558,774	592,904,155	
	財源内訳	国庫支出金	115,938,850	104,216,900	14,440,000	96,169,500	214,826,400	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	138,900,000	154,800,000	20,800,000	160,200,000	335,800,000	
		その他	9,148,250	13,047,100	0	14,600,000	27,647,100	
一般財源		4,843,699	96,900	1,944,481	12,589,274	14,630,655		
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金 補助率 1/2						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	下水道普及率		成果指標に対する所見	目標である下水道普及率の達成状況や有効性・効率性からB評価とした。		
	目標	11.7	%				
	実績	11.0	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も事業を推進するために、国庫補助等の財源確保を行うことが重要であり、課題となっている。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			
	令和5年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	下水道普及促進事業	担当部署	都市建設部 下水道課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	都市計画法、下水道法、鳴門市下水道条例、鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	13	年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと				終期		
(小項目)		生活排水対策						
施策	3	生活排水対策の推進						
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①環境衛生の向上及び都市の健全な発達、公共用水域の水質の保身に資する。 ②使用料収入の早期確保により、下水道事業の健全経営を実現		事業内容(R3)					
実施方針	①下水道接続工事を実施する方へ助成金の交付 ②下水道供用開始区域に対し、普及促進員によるサポートを実施し、水環境に関する普及啓発に取り組む。 ③下水道水洗化率(加入率)の向上を図り、健全経営を図る。			①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	下水道接続人口	2,478	2,600	2,461	2,580	2,697	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
水洗化率(加入率)			41.1	43.1	37.3	38.0	38.6	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	12,000	0	12,000	17,000	17,000

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	下水道普及促進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	下水道接続工事を実施に対し助成金を交付した。また、供用開始区域内にお住まいの市民に、普及推進員による戸別訪問を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容や水環境について説明し、下水道への早期接続をお願いした。						
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	下水道接続人口	2,573	2,711	2,580	2,697	2,811	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	水洗化率(加入率)		42.5	44.7	38.0	38.6	39.2	%
	目標達成率(実績/目標)			119.8	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	11,768,500	0	8,781,000	0	8,781,000		
	財源内訳	国庫支出金	5,884,250	0	4,390,500	0	4,390,500	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
	一般財源	5,884,250	0	4,390,500	0	4,390,500		
補助制度(名称、補助率など)		社会資本整備総合交付金(効果促進事業) 補助率 1/2(普及促進対策助成金)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	水洗化率(加入率)		成果指標に対する所見	職員による周知啓発だけでなく、国庫補助金制度を活用したサポート事業により、効率性は高くなっている。 また、グループ申請制度の要件緩和を図り、それを周知徹底することにより、下水道への接続者は増加しており、水洗化率の目標を達成することができた。		
	目標	37	%				
	実績	45	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①水環境に関する啓発を実施していくことで、下水道事業に対する理解を得る必要がある。 ②今後とも更なる普及促進に向けて、助成金制度(グループ申請制度)の見直しが必要である。 ③区域内の人口増と接続率向上を図ることで、持続可能な経営を目指す必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。 ②新たな助成金制度を考えていくことで、普及促進を進め、持続可能な経営を目指す。			
	令和5年度	①今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。 ②新たな助成金制度を考え実施していくことで、普及促進を進め、持続可能な経営を目指す。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業	担当部署	都市建設部 下水道課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	水質汚濁防止法、循環型社会形成推進交付金交付要綱、徳島県浄化槽整備事業補助金交付要綱、鳴門市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、鳴門市環境基本計画			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	5	年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと				終期		
(小項目)		生活排水対策						
施策	3	生活排水対策の推進						
基本事業	3	合併処理浄化槽の普及促進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①生活環境の改善と水環境の保全 ②合併処理浄化槽の普及		事業内容 (R3)	前年度と同様に、補助事業を実施するとともに、水環境の改善や単独処理浄化槽・合併処理浄化槽の違いや転換への補助制度など生活排水処理に関する内容について、広報なると等を通じて、啓発活動に努める。				
実施方針	①合併処理浄化槽への転換補助の実施 ②汚水処理人口普及率の向上を図る。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	転換補助申請受付数	14	17	20	20	20	基
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	転換補助基数		14	17	20	20	20	基

事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①合併処理浄化槽への転換に係る補助事業の実施 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施 ③「鳴門のまつり」の時、啓発パンフレットを配布	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、補助金の新設と増額改定を実施 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	修正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	16,993	0	16,993	16,922	16,922

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①前年度と同様に、合併処理浄化槽への転換に係る補助事業を実施。 ②下水道設備指定工事店への案内を実施。 ③広報紙に水環境パンフレットの折込を入れて全戸配布。 ④環境政策課と共同して市庁舎で啓発展示。 ⑤鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	転換補助申請受付数	17	20	20	20	20	基
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	転換補助基数		17	20	20	20	20	基
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		10,194,807	0	12,031,977	0	12,031,977	
	財源内訳	国庫支出金	2,404,000	0	7,227,000	0	7,227,000	
		県支出金	2,024,000	0	2,334,000	0	2,334,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		5,766,807	0	2,470,977	0	2,470,977		
補助制度(名称、補助率など)		循環型社会形成推進交付金(補助率 1/2、1/3) 徳島県浄化槽整備事業補助金(補助率4/15、3/15)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	転換補助基数		成果指標に対する所見	転換のタイミングとしては、既存の単独処理浄化槽が壊れた時、家族構成やライフスタイルの変更によるリフォーム時に実施される場合が多い。 R2年度に補助制度の増額改定と配管工事費の補助の新設をした結果、R3年度は目標を達成した。 補助金制度の増額改定に加え、広報へのチラシやパネル展示などの普及啓発を進めることで、合併浄化槽への転換数は増えているため、事業全体として計画通り進んでいると言える。		
	目標	20	基				
	実績	20	基				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	汚水処理人口普及率の向上に向け、個別処理の大半を占める単独処理浄化槽等を合併処理浄化槽に転換していく必要があるが、転換には多額の個人負担を伴うことや、各家庭における設置スペース等の確保が困難な場合もあり、事業促進は容易ではない。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。 ②県と連携した水環境改善への啓発事業を展開する。 ③新たな普及促進対策の検討。 ④市町村設置型浄化槽制度や民間を活用するPFI方式が有効であるかの調査研究を進める。			
	令和5年度	①水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。 ②県と連携した水環境改善への啓発事業を展開する。 ③新たな普及促進対策を実施予定。 ④市町村設置型浄化槽制度や民間を活用するPFI方式が有効であるかの調査研究を進める。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ドイツ村公園整備事業	担当部署	都市建設部 公園緑地課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	都市公園法・都市計画法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	昭和 51 年度	
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると				終期	未定
(小項目)		公園・緑地					
施策	2	緑の保全と創出					
基本事業	1	公園の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	第一次世界大戦当時のドイツ兵との交流の歴史を後世に伝えるためにドイツ村公園の整備を行う。							
実施方針	ドイツ村公園の環境整備		事業内容(R3)	①ドイツ村公園の環境整備 ・ボランティア委託による管理 ・板東俘虜収容所跡環境改善				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	ドイツ村公園の整備進捗率		75	75	80	80	80	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,557	0	2,557	2,289	2,289

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	ドイツ村公園整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	平成30年に板東俘虜収容所跡が国指定史跡に指定されており、国の史跡にふさわしい環境整備を行うために美化事業を実施した。					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	ドイツ村公園の整備進捗率	75	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		125.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	1,762,187	0	1,870,850	0	1,870,850	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	1,762,187	0	1,870,850	0	1,870,850		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ村公園の整備進捗率		成果指標に対する所見 地元民間団体の協力を得て、公園内を良好な状態に維持管理することができた。
	目標	80	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	昭和51年度に総合公園として都市計画決定、平成30年に板東俘虜収容所跡地として公園の一部が国の史跡指定されており、全面積54.3haの内、現在は10.6haを供用部分としている。今後においても、社会情勢の変化等にも留意しながら、国の史跡にふさわしい環境整備を継続していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	民間団体との協議を行って清掃活動等環境維持整備を実施し、観光資源としての魅力を維持できるように努める。			
	令和5年度	民間団体との協議を行って清掃活動等環境維持整備を実施し、観光資源としての魅力を維持できるように努める。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	担当部署	都市建設部 公園緑地課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成 15 年度	
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると				終期	未定
(小項目)		公園・緑地					
施策	2	緑の保全と創出					
基本事業	1	公園の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	①子どもの主体的な体験学習の支援 ②親子のふれあいの場の提供 ③公園利用者の拡大	
実施方針	①子どもを対象とした事業の実施 ②公園利用者を拡大する事業の実施	
事業内容(R3)	①子どもを対象とした事業の実施 ・U-10フットサル大会、キッズサッカー ・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント ②公園利用者を拡大する事業の実施 ・端午の節句、ひなまつり、パークセンターギャラリー ・婚活イベント	

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 活動(イベント)開催参加人数	9,946	2,700	18,000	18,000	18,000	人
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	活動(イベント)開催件数	8	1	9	9	9	件

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー 等	①パークセンターギャラリー	①U-10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー 等	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	4,168	0	4,168	3,968	3,968

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、中止。 ②新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、端午の節句、ひなまつり、婚活イベントは中止。パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携して実施。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	活動(イベント)開催参加人数	2,700	1,650	10,000	10000	10,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	活動(イベント)開催件数		1	1	9	9	9	件
	目標達成率(実績/目標)			11.1	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		100,720	0	88,000	0	88,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	100,720	0	88,000	0	88,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)			徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定(100%)					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		未達成	
成果指標に対する評価	指標名	活動(イベント)開催件数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントの中止せざるを得なかった。今後の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえた上で、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していく。		
	目標	9	件				
	実績	1	件				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していく必要がある。 また、イベントを開催するにあたっては、新型コロナウイルスの拡大状況を十分考慮した上で、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルスの感染状況を考慮した上で、可能なイベントを実施していく。			
	令和5年度	新型コロナウイルスの感染状況を考慮した上で、可能なイベントを実施していく。			



---

# 各実施計画兼評価シート

---

産 業 振 興 部



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域経済活性化推進事業(エコミックガーデニング)	担当部署	産業振興部 商工政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市中小企業振興基本条例等		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成 24 年度		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定	
(小項目)		産業					
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化					
基本事業	1	地場産業の育成と振興					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	地元の企業が活動しやすいビジネス環境を整え、成長意欲あふれる中小企業が多く存在することで、地域経済の活性化を図る施策であり、本市での雇用創出や税収拡大に繋げることを目的とする。	
実施方針	①主に市内の企業訪問を実施し、直接、中小企業振興基本条例による企業支援の考え方と各種支援制度を周知していく。 ②新規施策の検討や推進事業の見直しのため、鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催する。 ③鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を実施する。	
	事業内容(R3)	①企業訪問を随時行い、市の支援事業を紹介するとともに、個別企業の情報やニーズを把握する。 ②鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催し、外部委員の視点から、パッケージ事業の見直しや新たな振興施策に向けた意見を聞く。 ③鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を広く募集し実施する。なお、事業拡大・創業促進は、鳴門市中小企業新規チャレンジ検討委員会の外部委員の意見を聴取する。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 企業訪問数(延べ)	124	150	150	150	150	件
	2 起業・創業相談件数	23	20	20	20	20	件
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	10	6	5	5	5	件

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	7,867	0	7,867	7,864	7,864

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名 地域経済活性化推進事業(エコノミック  
ガーデニング)

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業訪問を実施した。</li> <li>鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催した。</li> <li>鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	企業訪問数(延べ)	98	76	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数	23	16	20	20	20	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		6	8	5	5	5	件
	目標達成率(実績/目標)			160.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		2,932,111	0	3,865,336	0	3,865,336	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		2,932,111	0	3,865,336	0	3,865,336		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		成果指標に対する所見	がんばる中小企業応援パッケージ事業を通じて、地元事業者が実施する事業拡大や創業促進、販路開拓事業等を支援し、目標を超える成果に結びつけることができた。今後も引き続き、地元中小企業への支援を積極的に実施する。		
	目標	5	件				
	実績	8	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	企業訪問による事業者の実態把握や、新たなニーズの掘り起こし等を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者のアフターコロナを見据えた新たな取り組みを支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業の成長につなげる必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業訪問を実施する。</li> <li>鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催する。</li> <li>鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施する。</li> </ul>			
	令和5年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品振興対策事業	担当部署	産業振興部 商工政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律等		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成 17 年度	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)		産業					
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化					
基本事業	1	地場産業の育成と振興					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	国の伝統工芸品に指定されている大谷焼、その他本市が誇る製塩業・製菓業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業・加工品製造業(わかめ加工)等の地場産品を振興するための施策を行う。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①伝統的工芸品のPRイベントの開催を行う。 ②鳴門わかめの信頼を維持するため、徳島県と連携する。 ③他県へ外向き、地場産品のセールス活動を行う。			①伝統的工芸品振興事業補助金を活用し、市内PR事業の開催を支援する。 ②徳島県と連携し、鳴門わかめの同位体検査を行う。 ③鳴門市うずしお観光協会と連携し、県人会や桐生市での物産展など、イベント出展を行う。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数			7	2	4	4	4	件
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,635	△ 559	1,076	2,095	2,095

◎当初からの変更点

変更内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、桐生市物産展、各県人会が中止のため、不要減額。 ・3月補正 地場産品振興対策事業費 507千円 減額 (内訳) 旅費 232千円(桐生市交流物産展、近畿・愛媛県人会) 委託料 275千円(桐生市交流物産展出展業務) ・流用 企業誘致推進費へ流用 52千円 減額 (内訳) 手数料 52千円
------	--

事務事業名	地場産品振興対策事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回「大谷焼の里」スプリングフェスタの開催を支援した(オンライン開催)。</li> <li>・第47回大谷焼窯まつりの開催を支援した。</li> <li>・鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		2	2	4	4	4	件
	目標達成率(実績/目標)			50.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		713,349	0	779,294	0	779,294	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		713,349	0	779,294	0	779,294		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		成果指標に対する所見	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、県外での地場産品のPRイベント等へ参加ができなかったが、大谷焼スプリングフェスタをオンラインで開催するなど、コロナ対策を講じながら実施できるイベントへの支援を行った。		
	目標	4	件				
	実績	2	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しながら、地場産品PRイベントへの出展を検討するとともに、オンラインを活用したイベント開催や新たな販路開拓・拡大に向けた取り組みをすすめる必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外で開催される地場産品をPRするためのイベント等へ参加するとともに市内でのイベント開催を支援する。</li> <li>・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査を実施する。</li> <li>・地場産品の新たな販路開拓・拡大のための支援を行う。</li> </ul>			
	令和5年度	前年度の実施内容を検討し、決定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	就職マッチング事業	担当部署	産業振興部 商工政策課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	雇用対策連携協定、鳴門市中小企業振興基本条例		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 24 年度	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)		産業					
施策	2	雇用の安定					
基本事業	1	就職機会の拡大					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	人材を求める市内企業と求職者とのマッチングを促進することで、地場産業の振興に寄与するとともに、地元企業を知る機会を創り出し、地元就職を促進させる。		事業内容 (R3)					
実施方針	①ハローワークと連携し、合同就職面接会等を開催する。 ②小中学生を対象に地元企業を知り、勤労観を醸成するような事業を実施する。 ③働き方に関する情報の発信や相談業務を行う。			①合同就職面接会「鳴門市マッチングフェア2021」を年2回開催する。 ②市内企業おしごと体験事業を実施し、事業成果報告用冊子及び動画を作成する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	就職面接会の参加人数	34	15	30	30	30	人
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	就職者数(臨時雇用含む)		6	3	6	6	6	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業の実施	①コロナウイルス感染症対策を踏まえた合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業の実施	①コロナウイルス感染症対策を踏まえた合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業の実施	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,433	△ 760	673	1,449	1,449

◎当初からの変更点

変更内容	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内企業おしごと体験事業中止により、不要減額。 3月補正 労働諸費 760千円減額 (内訳) 委託料 760千円
------	--

事務事業名	就職マッチング事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		・ハローワークと連携し、就職マッチングフェアを2回開催した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	就職面接会の参加人数	37	37	30	30	30	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	就職者数(臨時雇用含む)		5	7	6	6	6	人
	目標達成率(実績/目標)			116.7	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		331,377	0	630,300	0	630,300	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		331,377	0	630,300	0	630,300		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	就職者数(臨時雇用含む)		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の長期化により、多くのニーズを見込み、就職面接会を2回実施したが、前年度と比較し、就職者や参加人数に顕著な増加は見られなかった。今後は就職者を増やすために、事業内容の見直しを行いながら、積極的に雇用促進に取り組む。		
	目標	6	人				
	実績	7	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	合同就職面接会の開催にあたっては、感染症対策をしっかりと講じるとともに、参加企業が固定化していることから、新たな企業の参加を促し、面接会の参加人数を増やす取り組みが必要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	・UIターンをはじめ移住施策と連携するとともに、就職希望者に参加企業を知ってもらう機会を創出するなど、合同就職面接会を開催する。 ・市内企業おしごと体験事業をはじめ、小中高の連続した勤労観の醸成に取り組む。			
	令和5年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	企業誘致推進事業	担当部署	産業振興部 商工政策課				
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市企業立地奨励条例等				
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	①市内への立地希望企業に、鳴門市が把握している遊休資産の情報を提供する。また、空き家バンクを活用した空き事務所等の情報や、宅建協会、地域金融機関、徳島県担当課と連携して、各種の情報を提供する。 ②企業立地奨励条例等による支援措置を実施する。 ③サテライトオフィス等誘致のため、企業訪問、専用Webサイトの開設や助成制度の創設を行うことで、地元雇用の創出・定住人口の増加などにつなげる。	事業期間	開始	平成	11	年度	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定			
(小項目)		産業							
施策	2	雇用の安定							
基本事業	2	企業誘致の推進							
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無					
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要(PLAN)

目的	県内外の優良企業を誘致することにより、就業機会の増大や地域経済の活性化、市民所得の向上等を図り、活力あるまちづくりを推進する。		事業内容(R3)					
実施方針	①市内への立地希望企業の要望に応えるため、関係機関と連携しながら、土地建物に関する情報等を収集し、把握する。 ②企業立地奨励条例を活用し、企業誘致に取り組む。 ③サテライトオフィス等の誘致を促進する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	企業誘致相談対応案件数	10	7	10	10	10	件
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		2	1	1	1	1	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施 ③サテライトオフィスの誘致	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	20,359	52	20,411	30,284	30,284

◎当初からの変更点

変更内容	・地元企業と都市部企業のマッチングにより企業誘致を推進するにあたり、市内の企業情報を取得。(流用額52千円)
------	--

事務事業名	企業誘致推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>本市への立地を検討する企業等からの相談に対して、関係機関と連携し、遊休資産や手続き等に関する情報を提供した。</li> <li>企業立地奨励条例に基づき、企業への奨励措置(補助金の交付、固定資産税の課税免除)を実施した。</li> <li>サテライトオフィスを中心とした企業誘致にこれまで以上に積極的に取り組むため、助成制度を創設するとともに新たに企業誘致専門サイト「NARUTO.biz(ナルト・ビズ)」を開設した。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	企業誘致相談対応案件数	11	12	10	10	10	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		1	1	1	1	1	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		309,100	0	18,049,344	0	18,049,344	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		309,100	0	18,049,344	0	18,049,344		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		成果指標に対する所見	サテライトオフィスが市内で1箇所開設され、雇用の創出や企業間連携の促進による地元企業の活性化につながった。		
	目標	1	件				
	実績	1	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>本市の産業団地については、全区画が分譲済であることから、企業からの引き合いを待つだけではなく、民有地を含めた立地候補地のピックアップやデベロッパー等への営業活動など、関係機関との連携を図りながら積極的な誘致活動を行う必要がある。</p> <p>また、今年度は、企業間連携・地方進出等に興味のある都市部企業と地元企業等とのマッチングによりサテライトオフィスを誘致することとしており、テレワークの普及や企業の地方移転等が進む現況を捉え、積極的に施策を推進する必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休校施設の活用をはじめ、企業立地候補地のリストアップ、また、進出検討企業に提案できる条件整備を行う。</li> <li>・金融機関や宅建協会との連携、デベロッパー等への営業など、企業誘致に向けた誘致活動を実施する。</li> <li>・鳴門市企業立地奨励条例を活用した企業支援を実施する。</li> <li>・都市部企業と地元企業のマッチングにより、サテライトオフィス誘致を推進する。</li> </ul>			
	令和5年度	前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	移住交流支援事業	担当部署	産業振興部 商工政策課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	空き家等対策の推進に関する特別措置法等			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	28	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと						
(小項目)		シティプロモーション						
施策	2	シティプロモーションの推進			終期	未定		
基本事業	3	移住・交流の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	移住希望者に対して、本市の魅力や各種支援制度を情報発信するとともに空き家の利活用により、移住交流を促進し、定住人口の増加につなげる。		事業 内容 (R3)	①移住相談対応において、お試し滞在助成金をはじめとした各種支援制度を案内するなど、移住者の増加を図る。 ②県外での移住相談会に参加するとともに、移住意思のある県外在住の方に、鳴門市の魅力WEB等で伝える。 ③空き家バンクの運用と登録件数を拡大する。				
実施方針	①移住交流支援センターにおける相談窓口対応により移住交流を促進する。 ②県外での移住相談会に参加するとともに、積極的な情報発信を行う。 ③空き家バンク制度を運用し、移住者への住まいの案内などを通して空き家の利活用を促進する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	移住相談件数(延べ件数)	193	50	50	50	50	件
	2	移住者数	16	2	2	2	2	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	空き家バンク登録件数		6	5	5	5	5	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①移住交流支援センターにおける移住促進 ②県外での移住相談会への参加 ③空き家バンク制度の運用	①移住交流支援センターにおける移住促進 ②県外での移住相談会への参加(オンライン) ③空き家バンク制度の運用	①移住交流支援センターにおける移住促進 ②県外での移住相談会への参加(オンライン) ③空き家バンク制度の運用	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,017	△ 35	1,982	5,417	5,417

◎当初からの変更点

変更内容	・旅費を要する移住交流支援案件がなかったため不要減額。 3月補正 地域経済振興費 35千円減額(内訳) 旅費 35千円
------	---

事務事業名	移住交流支援事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住交流支援センターにおいて、移住希望者からの相談業務(移住支援制度の紹介、就職先の企業情報提供等)を実施した。</li> <li>・空き家バンクに関する業務(現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトにより空き家の情報発信)を実施した。</li> <li>・税務課と連携し、固定資産税納税通知書にチラシを同封し、空き家バンク制度の周知を実施した。</li> <li>・徳島県移住相談会in大阪にオンラインで参加した。</li> </ul>							
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	移住相談件数(延べ件数)	116	131	50	50	50	件
	2	移住者数	4	5	2	2	2	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	空き家バンク登録件数		9	14	5	5	5	件
	目標達成率(実績/目標)			280.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		392,463	0	221,743	0	221,743	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	30,000	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	200,000	0	90,000	0	90,000	
一般財源		162,463	0	131,743	0	131,743		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	空き家バンク登録件数		成果指標に対する所見	空き家バンク制度専用ウェブサイトによる情報発信及び、納税通知書の裏面を活用した周知啓発等により、空き家バンク制度が認知され、実績につながった。		
	目標	5	件				
	実績	14	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	このコロナ禍において、テレワークの普及がすすむとともに、若年層を中心に感染リスクの高い都市部から地方移住への関心が高まっている。この絶好の好機を逃すことなく、移住交流促進に向けたブランディングを図ることが必要。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の強みである農業をテーマとした新たな移住コンセプト「半農半X」の推進や「移住交流PR大使」による情報発信により、移住交流促進に向けたブランディングを図る。</li> <li>・移住交流専用WEBサイトの設置や移住パンフレットを作成するとともに、大学生と連携し「半農半X」ツアーの開催やSNSでの情報発信を行う。</li> <li>・県・民間団体等が主催する移住相談会や移住交流支援センターにおける相談窓口において、空き家バンク制度やお試し滞在助成金、子育て応援パッケージなど各種支援制度を幅広く周知する。</li> </ul>			
	令和5年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	中心市街地活性化推進事業	担当部署	産業振興部 商工政策課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	中心市街地活性化法等			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	12	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		市街地						
施策	2	活気に満ちた市街地の形成						
基本事業	2	中心市街地の賑わいの創出						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	中心市街地の活性化を図り、地域の魅力向上とにぎわい創出を図る。		事業内容 (R3)	鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、中心市街地活性化事業を実施する。 【実施内容】 大道商店街にて「100円商店街」と「納涼市」、「まちづくり勉強会」を開催する。				
実施方針	①中心市街地でのにぎわいの場を創出する。 ②鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、中心市街地活性化事業を実施する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
中心市街地での事業実施回数			3	0	6	3	3	件
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	中心市街地活性化事業の実施	中心市街地活性化事業(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	中心市街地活性化事業の実施	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,100	0	1,100	700	700

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	中心市街地活性化推進事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		・鳴門商工会議所等の関係機関と連携し、商店街の活性化に向けて「まちづくり勉強会」を開催した。 ※「100円商店街」及び「納涼市」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	中心市街地での事業実施回数		0	3	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)			50.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	0	0	400,000	0	400,000		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	400,000	0	400,000			
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	中心市街地での事業実施回数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、「100円商店街」や「納涼市」といったイベントが中止となったが、「まちづくり勉強会」を開催した。		
	目標	6	件				
	実績	3	件				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和3年度は長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントが中止となった。今後も感染拡大の状況を踏まえながら、鳴門商工会議所をはじめとした関係機関と連携し、イベント開催等、中心市街地の活性化に向けて取り組む必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	大道商店街にて「100円商店街」「納涼市」を開催する。			
	令和5年度	前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)	担当部署	産業振興部 観光振興課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	観光	事業 期間	開始	平成	21	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると						
(小項目)								
施策	1	観光・交流のまちづくり						
基本事業	1	観光ブランドづくり		終期	未定			
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録をめざす取り組みを進めるなど、市内における観光地のブランド化を推進する。	
実施方針	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、世界遺産化に向けた取り組みを推進する。 ①自然・文化両分野の学術調査 ②普及啓発活動	事業内容(R3) ①推進協議会において引き続き学術調査を進め、機運醸成を図るとともに普及啓発活動を実施する。 ②パンフレットやポスター等を用いて、県内外でPRキャンペーン等を実施するとともに、市においては、3つの遺産(鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料)を巡る旅行商品の企画・作成に対する助成を行う。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 実施事業数	8	8	8	8	8	回
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	観光入込客数	2,333,625	1,200,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容 内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①学術調査(自然・文化) ②①をもとに取り纏め文書を作成 ③講演会の開催 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査(自然・文化) ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査(自然・文化) ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,000	0	3,000	3,000	3,000

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 (鳴門海峡の世界遺産化に向けて)
-------	------------------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>協議会において、昨年度に引き続き、兵庫県は自然分野、徳島県は文化分野を担当し、鳴門の渦潮にアプローチを行い、自然・文化の両面から、世界遺産登録を目指し、各種取組を推進した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、学術講演会等の開催や「渦開き」「島びらき」の共同開催を実施することができなかったが、自然・文化両面からの学術調査や普及啓発イベント、世界遺産化ツアー一助成の実施など、コロナ禍においても実施できる取組を進め、鳴門海峡の渦潮の世界遺産化を推進した。</p>					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 実施事業数	6	6	8	8	8	回
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	観光入込客数	1,151,348	1,162,047	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)		58.1	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	2,103,740	0	2,062,640	0	2,062,640	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	2,103,740	0	2,062,640	0	2,062,640		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は依然として少なく、目標を達成することができなかった。世界遺産化に向けた取組を進めるとともに、鳴門海峡の渦潮の魅力を県内外に広く発信し、観光客の回復を図る必要がある。		
	目標	2,000,000	人				
	実績	1,162,047	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	世界遺産に登録されるための暫定リスト入りに向け、引き続き、自然・文化の両面から世界遺産登録基準やOUV(顕著な普遍的価値)等を鑑みて調査・研究を進めるとともに、地域の機運低下を防ぐため、住民等への継続的な普及啓発活動を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	自然・文化両面からの学術調査を引き続き実施するとともに、機運醸成を図るため、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、県内外でのPR等の普及啓発活動を実施する。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	阿波踊り振興事業	担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	観光	事業 期間	開始	昭和	21 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)							
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	1	観光ブランドづくり		終期	未定		
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	阿波おどりそのものの魅力向上や各種イベント開催、情報発信などを行うことで、県内外からの観光誘客を図り、阿波おどりの振興を通じた交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。 また、関係団体と連携し、阿波おどりの担い手育成を推進する。		事業 内容 (R3)	①メッセージ花火を実施するとともに、有料観覧席を設置する。 ②鳴門市阿波踊振興協会所属連やゲスト連による舞台形式の阿波おどりを披露する。 ③ゲスト招聘や新たな企画などにより、県内外から誘客を図る。 ④県外の旅行会社等に対し、直接セールスを行うなど誘客を図る。 ⑤関係団体と連携して、担い手育成や阿波踊り連の連員増に向けた取り組みを推進する。 ⑥インターネットやSNS、マスメディア等を活用して、広く情報を発信する。 ※開催に向けて、納涼花火大会や阿波踊り実施時の新型コロナウイルス感染症対策を検討する。				
実施方針	①鳴門市納涼花火大会の開催 ②鳴門市選抜阿波おどり大会の開催 ③鳴門市阿波おどりの開催 ④県内外への情報発信 ⑤阿波おどり担い手育成							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	1 栈敷入場者数	5,344	0	6,000	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
鳴門市阿波おどり来場者数			79,000	0	80,000	80,000	80,000	人
事業の 実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会(中止) ②選抜阿波おどり大会(中止) ③鳴門市阿波おどり(中止) ④情報発信 ⑤担い手育成	①納涼花火大会 ②鳴門市阿波おどり ③情報発信 ④担い手育成	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	15,545	0	15,545	15,545	13,133

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	阿波踊り振興事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容						<p>・新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、開催の是非を判断をするに当たり、徳島市で行われた阿波踊りの実証実験や、イベントガイドライン、他市のまつりの開催状況、鳴門市阿波踊振興協会の意見を総合的に検討した結果、連員や来場者、地域住民の不安の払拭及び万全な安全確保が困難であったため、中止の判断に至った。</p> <p>・昨年度作成した阿波踊りPR動画をYouTubeで配信するとともに、観光案内所のサイネージで放映するなど情報発信に努めた。</p>					
	指標名							令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	1	1	1	1	1	0	0	6,000	6,000	6,000	人
	2	2	2	2	2	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	鳴門市阿波おどり来場者数						0	0	80,000	80,000	80,000	人
	目標達成率(実績/目標)							0.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算							
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費				
	計		0		0	0	0	0				
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
		県支出金	0	0	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0	0				
その他		0	0	0	0	0	0					
一般財源		0	0	0	0	0	0					
補助制度(名称、補助率など)												

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市阿波おどり来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止を決定したが、伝統文化としての阿波踊りの継承に繋がる事業を計画するとともに、イベントガイドラインやコロナ禍における他のイベント等を参考に、次年度の開催方法の検討を進める必要がある。		
	目標	80,000	人				
	実績	0	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	2年連続の中止となったことで、阿波踊り連の連員離れが進むなどの問題が生じており、伝統文化の継承に繋がる施策を検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた開催方法を検討するとともに、開催にあたっては、これまで以上に「鳴門市阿波おどり」の魅力創出や情報発信を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の状況や他市のまつりの開催状況、鳴門市阿波踊振興協会の意見等の情報収集を行い、コロナ禍における開催方法、伝統文化に繋がる施策の検討を行う。 ※令和4年5月に鳴門市納涼花火大会、鳴門市阿波おどりの開催中止を決定した。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業	担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	観光	事業 期間	開始	平成	19 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	2	国内外の観光客受け入れ態勢の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	団体から個人単位の旅行に変化していく中で、観光ボランティアガイドに対するニーズが高まっており、観光客とソーシャルディスタンスを保ちつつ本市の観光資源を紹介・案内する、市民参加による「なんと観光ボランティアガイド」の育成を図る。		事業 内容 (R3)	①観光ボランティアガイド養成講座の実施。 ②様々な媒体を利用したPRを行い、養成講座受講者数の増加に努める。 ③”ニューノーマル”に対応したガイド方法の説明等を、養成講座に取り入れる。				
実施方針	①観光ボランティアガイドへのニーズに対応するため、観光ボランティアガイド養成講座の実施 ②養成講座受講者数の増加に向けたPR活動の実施 ③養成講座受講者がボランティアガイドとして定着するような組織、体制づくりを図る。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	観光ボランティア養成講座実施回数	10	0	10	10	10	回
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
観光ボランティアガイド数			47	39	50	50	50	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	300	0	300	300	300

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ボランティアガイド養成講座を開催するにあたり、市の公式ウェブサイトや広報、自治振興会や婦人会連合会の会合で募集の周知を行った。</li> <li>・観光ボランティアガイド養成講座を計10回実施し、8名の講座修了者のうち、7名の方に新たになると観光ボランティアガイド会に入会いただいた。</li> <li>・「レベルUP研修を兼ねたウォーキング」を開催するなどし、活動機会の創出、会員のスキルアップ及び定着化を図った。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	観光ボランティア養成講座実施回数	0	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	観光ボランティアガイド数		36	37	50	50	50	人
	目標達成率(実績/目標)			74.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	0	300,000	0	300,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	300,000	0	0	300,000	
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光ボランティアガイド数		成果指標に対する所見	ボランティアガイド養成講座の開講により、ガイド会に7名が加入し、会員数が増加した。今後もボランティアガイド養成講座の受講者数増に向けたPR等を実施し、目標の会員数達成を目指す。		
	目標	50	人				
	実績	37	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ガイド数の増加や、若い世代の加入を促進するため、周知方法や講座内容を検討し、養成講座の受講者を増やす必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、観光ボランティアガイド養成講座を開催する。また、開催にあたっては、養成講座の受講者増を図るため、様々な媒体を活用し、広く周知を行う。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業		担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系					根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり			事業 期間	開始	平成 25 年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					終期	未定
(小項目)		観光						
施策	1	観光・交流のまちづくり						
基本事業	3	観光情報の発信強化						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無					<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求					<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	本市への観光客の大半を占める関西圏をターゲットとしたセールスプロモーションを実施することにより、観光客増加を図る。							
実施方針	各種のセールスプロモーション事業を実施することにより、観光誘客を図る。 ①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業		事業内容(R3)	①全国放送番組へのアプローチを行い、PR効果を高める。 ②観光資源などの画像を高速バスにラッピングし運行することで観光PRを図る。 ③関西圏を中心とした交通拠点等にイベントポスターやチラシなどを掲出することにより誘客を図る。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	テレビ番組ロケ誘致数	4	2	4	4	4	回
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	観光入込客数		2,333,625	1,200,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,274	△ 600	2,674	6,977	6,274

◎当初からの変更点

変更内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、旅番組のロケ等が減少したことにより、予算を減額するとともに、東京で開催される全国ロケ地フェアへの参加を取りやめた。 3月補正 番組制作委託料 委託料:△500千円 ロケ誘致事業(全国ロケ地フェア参加料) 負担金:△100千円
------	--

事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業
-------	--------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>セールスプロモーション事業は、「ロケ誘致事業」、「走る広告塔事業」、「交通広告事業」の三つを柱として実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「ロケ誘致事業」は実施することができなかった。 「走る広告塔事業」では、本市の観光資源やベトーヴェン「第九」アジア初演の地、3つの世界遺産をモチーフにしたラッピングバス3台を徳島～関西間で運行し、本市のPRを行った。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	テレビ番組ロケ誘致数	0	0	4	4	4	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	観光入込客数		1,151,348	1,162,047	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)			58.1	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,980,000	0	1,980,000	0	1,980,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,980,000	0	1,980,000	0	1,980,000		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は依然として少なく、目標を達成することができなかった。アフターコロナを見据え、新たなプロモーション手法を検討するなど、観光客の回復を図る必要がある。</p>		
	目標	2,000,000	人				
	実績	1,162,047	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの感染者数の増減が繰り返される情勢を鑑み、SNS等活用するなど新たなプロモーション手法を検討する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>関西圏を中心に、「走る広告塔事業」、「交通広告事業」を継続的に実施することで、本市のPRを行う。なお、「交通広告事業」においては、掲出素材や媒体等の検討も行う。 「ロケ誘致事業」では、多くのテレビ局・制作会社のある東京・大阪にアプローチを行う。 新型コロナウイルス感染症の状況に応じてSNS等を活用するなど、新たなプロモーション手法を検討する。</p>			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広域観光推進事業	担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	観光	事業 期間	開始	平成	15 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)							
施策	1	観光・交流のまちづくり			終期	未定	
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	瀬戸内三都市広域観光推進協議会やイーストとくしま観光推進機構など広域連携を推進し、観光情報の効果的発信や周遊ルートの設定、受入環境の整備を進め、訪日外国人を含む全国からの観光客誘致を図る。		事業 内容 (R3)	①アジア圏域をターゲットに情報発信等を行い、外国人観光誘客を推進する。 ②国内観光客をターゲットに観光プロモーションを行い、観光誘客を図る。 ③観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、官民連携で国内外の商談会へ参加する。				
実施方針	広域連携による取り組みを推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。 ①インバウンド事業の推進 ②国内観光客誘致事業の推進							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
観光入込客数			2,333,625	1,200,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,240	0	3,240	3,260	3,260

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	広域観光推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		瀬戸内三都市広域観光推進協議会では、英語版公式ホームページの構築や観光プロモーション動画の制作等により、アフターコロナのインバウンド需要を見据えた情報発信強化を行った。 また、イーストとくしま観光推進機構では、マイクロツーリズム推進事業等により、国内観光客誘致を図るとともに、新規観光コンテンツ造成や観光コーディネーター養成講座等により、インバウンド誘客促進等を行うための受入環境整備を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	観光入込客数		1,151,348	1,162,047	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
	目標達成率(実績/目標)			58.1	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算		令和4年度決算		
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		3,094,000	0	3,240,000	0	3,240,000	
	財源内訳	国庫支出金	746,545	0	899,000	0	899,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		2,347,455	0	2,341,000	0	2,341,000		
補助制度(名称、補助率など)		地方創生推進交付金(1/2)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの感染の影響により、目標は達成できなかったが、受入環境整備、情報発信強化を継続的に実施した。今後も、アフターコロナを見据えて広域連携の強みを活かした施策を推進し、観光客の回復を図る必要がある。		
	目標	2,000,000	人				
	実績	1,162,047	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	インバウンド事業については、国の外国人観光客の入国制限の状況を注視しつつ、誘客促進や受入環境整備などアフターコロナに向け効果的な事業を検討する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	瀬戸内三都市広域観光推進協議会では、公式ホームページの多言語化や国内外に向けた情報発信を強化し、認知度向上及び誘客促進を図る。また、イーストとくしま観光推進機構では、引き続き、新たな観光コンテンツの造成や人材育成事業を推進することにより、受入環境整備を行う。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コンベンション誘致支援事業	担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 12 年度	
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると					
(小項目)		観光			終期	未定	
施策	01	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への交流人口増大及び地域経済の活性化を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	①新規コンベンションの誘致に努める。 ②各スポーツ団体や文化活動団体、県内の大学などへ制度の紹介を行うなど、本市での各種会議や大会などの開催促進を行う。			①新規コンベンション誘致に努めるとともに、前年度助成対象外であった継続大会への助成を行う。 ②スポーツ大会等を主催する団体に対し、助成内容の案内を行うことにより、本市で定例的に開催されている大会の継続実施を促進する。 ③インバウンドなどに対応した新制度により、コンベンション助成を推進する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	助成金交付件数	10	0	10	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	4,000	0	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	コンベンション宿泊数		3,849	0	3,700	3,900	3,900	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①助成制度の見直し ②情報発信	①開催経費に対する助成 ②情報発信	①開催経費に対する助成 ②情報発信	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,000	0	2,000	2,000	2,000

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	コンベンション誘致支援事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	徳島県スポーツコミッションをはじめとした関係団体と連携し、コンベンション主催者に対し、広く助成制度の周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのコンベンション等が開催中止となった。
--------	-----------	--

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 助成金交付件数	2	5	10	10	10	件
	2 コンベンション参加者数	928	1,356	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	コンベンション宿泊数	376	998	3,900	3,900	3,900	人
	目標達成率(実績/目標)		27.0	—	—	—	%

事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計	250,000	0	560,000	0	560,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	250,000	0	560,000	0	560,000

補助制度(名称、補助率など)	
----------------	--

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	コンベンション宿泊数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、助成金の申請を受けるも、中止となった事業も多く、実績を上げることが出来なかった。今後においても、交流人口の増大や地域経済の活性化を図るため、コンベンション誘致に努める。		
	目標	3,700	人				
	実績	998	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	定期的なコンベンション等を本市で開催してもらえるよう、関係団体へのアプローチを継続して行うとともに、関係機関と連携しながら本制度の周知及び鳴門市の魅力をPRし、コンベンション等の獲得に努める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、ターゲットを近隣県に変更するなど、施策の検討を行う必要がある。
----	---

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
--------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---	-------------------------------

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、誘致対象の精査を行う等、コロナ禍でも継続して実施可能なコンベンションの誘致方法の検討を行う。
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業	担当部署	産業振興部 観光振興課		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	令和	3 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと					
(小項目)		観光			終期	未定	
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	少子高齢化が急速に進展する鳴門・南あわじ両市にとって、中核産業である観光業の発展を図り、持続可能な地域づくりを目指す。						
実施方針	①鳴門・南あわじ両市で連携し、観光分野におけるブランド力を向上させ、地域のイメージ向上に繋げ、観光客の長期滞在化、若者の定住促進、移住者の増加、交流人口の増加等を図る。 ②地域の事業者とともに考え、実行することで、事業者のレベルアップを図り、地域の自助力・自走力を高める。 ③観光事業者から第1次産業をはじめとした他産業の発展に波及し、新たな雇用の創出に繋げる。						
事業内容(R3)	①広域連携計画策定 ・調査分析業務 ・戦略会議 計画立案 等 ②観光プロモーションの実施 ③うずしお商品(グルメ・サービス)開発 ④宿泊施設サービス向上事業 ・宿サービスの実態調査、分析、セミナーの実施等 ⑤体験型コンテンツサービス向上事業 ・体験施設サービス実態調査、セミナーの実施等						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	-	-	5	10	%
	2						
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高		-	-	-	20,000	40,000	千円
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	各年度の実施(予定)内容	-	-	①計画策定 ②プロモーション ③商品(グルメ)開発 ④宿泊・体験施設サービス向上	①プロモーション ②商品(グルメ)開発 ③体験開発 ④観光人材育成	①効果検証 ②プロモーション ③インバウンド向けグルメ開発 ④持続可能な宿経営の検討	

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	22,875	0	22,875	28,750	25,500

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業
-------	----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うずしお地域観光ブランディング事業広域連携計画」(令和3年度～5年度)を策定した。</li> <li>・旅行チャネルやSNS等を活用したプロモーション、ホームページ制作を行った。</li> <li>・飲食店や宿泊施設など25の事業者と連携し、新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」を開発した。</li> <li>・観光関連事業者を対象として、SNSを活用した情報発信や宿泊プラン造成等の研修会を開催した。</li> </ul>						
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	-	-	5	10	-	%
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高		-	-	20,000	40,000	-	千円
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計	-	0	22,792,935	0	22,792,935		
	財源内訳	国庫支出金	-	0	11,396,000	0	11,396,000	
		県支出金	-	0	0	0	0	
		地方債	-	0	0	0	0	
その他		-	0	11,396,935	0	11,396,935		
	一般財源	-	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)	地方創生推進交付金(1/2)ふるさと活性化基金繰入金							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高		成果指標に対する所見
	目標	-	千円	
	実績	-	千円	
	評価			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」については、誕生して間が無いことから、広域連携計画に基づき、プロモーション事業や参加事業者の拡充等を推進することによって、認知度及び売上向上を図る必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	広域連携計画に基づき、①四季を通じた「食」での年間誘客、②商品販促強化等による消費額向上、③ホスピタリティの育成・向上、④地域主体の継続的な情報発信を推進する。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業(イベント開催支援等)	担当部署	産業振興部 観光振興課 企画総務部 戦略企画課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成	28	年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定	
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり					
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	四国の玄関口となるべく、ソフト事業として、四国内外から集客できるイベントを開催し、四国の玄関口としてのブランド化を図り、交流人口の増加を目的とする。							
実施方針	①四国ゲートフェスタ鳴門(イベント)の開催支援 ②西のゲート(道の駅第九の里)環境整備		事業内容(R3)	①民間団体との共催によるイベントの開催支援。 ・民間団体への協力をベースとしたイベント開催支援を行う。 ・市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体へ貸出し設置等の補助を行う。 ②西のゲート(道の駅第九の里)の受入環境整備を行う。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	交流人口の増加		16,000	3,000	10,000	10,000	10,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	肉フェスの実施 イルミネーションの実施	①民間団体との共催によるイベント開催支援 ②広報(CM動画の活用)	①民間団体との共催によるイベント開催支援 ②西のゲート環境整備	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,520	△ 1,211	5,309	5,200	5,200

◎当初からの変更点

変更内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、食のイベント開催は中止とし、イルミネーション設置事業を拡充した。 食のイベント開催 負担金:①イルミネーション設置補助金へ流用△2,000千円、②3月補正△1,200千円 イルミネーション設置 補助金:食のイベント開催負担金より流用2,000千円
------	--

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業(イベント開催支援等)
-------	--------------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口の増加を図るため、民間団体が主催で実施する食のイベントを共催という形で支援するため、開催方法等について協議を重ねていたが、新型コロナウイルスの影響により中止。</li> <li>・市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体(3団体)への貸出等の補助を実施した。</li> <li>・西のゲートである「道の駅第九の里」について、サイクルラックやウッドデッキ、案内看板の設置等、受入環境整備を行った。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	交流人口の増加		3,000	31,800	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)			318.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		9,244,500	0	3,542,008	0	3,542,008	
	財源内訳	国庫支出金	4,622,250	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	4,622,250	0	3,542,008	0	3,542,008	
一般財源		0	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)		ふるさと活性化基金繰入金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の増加		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響によって、食のイベントは中止となったが、イルミネーションについては、多くの民間団体に設置補助を行うことで、交流人口の増加を図ることができた。		
	目標	10,000	人				
	実績	31,800	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	食のイベントについて、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた開催方法や、交流人口増加を図るため県外に対する情報発信について、共催する民間団体と検討する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①民間団体との共催によるイベントの開催支援。 ②イルミネーション設置補助事業の実施。			
	令和5年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ブランドの強化	担当部署	産業振興部 農林水産課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	もうかるブランド推進課関係事業補助金交付要綱 鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 鳴門市ブランド産地振興補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成	16	年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	年度	
(小項目)	農林水産業						
施策	3	農業の振興					
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	本市農水産物の総合ブランド化と各品目ごとの生産者の所得の確保。次世代の担い手を確保することにより、産業としての足腰の強い農業の持続的発展をめざす。		事業内容(R3)					
実施方針	①農協・漁協、生産者団体、関係機関等と連携し、生産・流通・販売振興に取り組む。 ②鳴門市ブランド産地振興事業補助金を活用したブランドの強化 ③各品目ごとに生産者の所得を確保 ④国補助制度を活用し、新規就農者への支援事業に取り組み、新規就農者の確保と営農の継続を図る。			①鳴門市ブランド産地振興事業補助金 ②れんこん食害対策調査業務 ③地区ごとの人・農地プランの見直し ④農業次世代人材投資資金・青年等就農資金(※)による支援 ⑤強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業による支援等により具体的な新規就農支援 ※平成26年度から新設された制度で、新たに農業経営を営もうとする青年等に対し、農業経営を開始するために必要な資金を長期無利子で貸し付ける制度(借入限度額3,700千円)				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	新規就農希望者相談・指導件数(経営継承除く)	5	14	14	14	14	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数	3	0	3	3	3	人
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	次世代の担い手の確保(新規・継続含む)		394	398	412	415	418	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①従来より認定を受けている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保する。 ②鳴門ブランドである農産物の被害防除の支援を行う。 ③認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。	①従来より認定を受けている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保する。 ②認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行う。	①従来より認定を受けている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保する。 ②認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行う。	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	33,540	13,213	46,753	67,319	61,800

◎当初からの変更点

変更内容	①9月補正11,906千円、12月補正24,900千円、3月補正△24,551千円、流用958千円 ②新型コロナウイルス感染症対策として市内農業者への給付金事業を実施 執行予定額が確定しているため減額補正を行った 申請していた事業が採択されなかったため減額補正を行った
------	---

事務事業名	鳴門ブランドの強化
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>市内各JA・県農業支援センターと連携・協力し、認定農業者の認定更新の推進を行い、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。また、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。</p> <p>鳴門ブランド農産物を確立するため、れんこん食害対策への支援によるブランド産地の生産振興を図った。また、かんしょ栽培用の手入れ砂及びれんこん田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」による支援を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対する支援策として、収入が減少している市内の農業者に対し、本市の農業の持続的な発展を促すことを目的として、農業者が負担している次期作に向けた資材等への支援を行うとともに、市内農協に事務委託を行い、支援事業を実施した。</p>					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	新規就農希望者相談・指導件数(経営継承除く)	7	18	20	20	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数	0	2	0	0	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	次世代の担い手の確保(新規・継続含む)		408	412	415	418	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		32,111,534	0	45,785,554	0	45,785,554
	財源内訳	国庫支出金	17,159,000	0	22,763,000	0	22,763,000
		県支出金	12,750,000	0	9,750,000	0	9,750,000
		地方債	0	0		0	0
その他		0	0	4,404,979	0	4,404,979	
一般財源		2,202,534	0	8,867,575	0	8,867,575	
補助制度(名称、補助率など)		<p>【県】農業次世代人材投資事業(10/10)</p> <p>【国】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p> <p>【その他】経営継承・発展支援事業補助金(1/2)</p>					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	次世代の担い手の確保(新規・継続含む)		成果指標に対する所見	目標達成することができたが、今後も各JA・県農業支援センターと協力しながら認定農業者数の増加に向けた取組をしていきたい。		
	目標	412	人				
	実績	412	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>認定農業者等担い手の育成状況は、特産物等の産地化が定着している地域においては毎年度増加し、新規認定者も確保できている。しかし、山間部や高齢化が進行している集落では担い手の確保が困難であり、農業生産や農地保全に対する合意形成が得られにくい。</p> <p>新たな担い手の育成と確保については、国補助制度等を活用しながら新規就農者への支援に取り組む、事務体制の整備と関係機関等の協力が必要不可欠となっている。また、農業次世代人材投資資金交付終了者に対し、個別に認定農業者への加入を進めていく。</p> <p>更なる農産物のブランド化を図っていくためには、農協等の生産者団体をはじめ、県市関係機関の協力体制や連携強化による事務事業の効率性を高めていくことが重要である。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<p>市内各JA・県農業支援センターと協力しながら、認定農業者の増加に向けた取組を進める。また、国補助制度を活用しながら、新規就農者に対する支援を行い、新規就農者の確保と営農定着を図る。</p> <p>農協・生産者等と連携し、主要消費地や市内でのPRをはじめ、生産振興策に取り組むとともに、「鳴門市ブランド産地振興補助金」として、かんしょ栽培用の手入れ砂及びれんこん田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する補助を実施する。</p>			
	令和5年度	R4年度と同様			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コウノトリブランド推進事業	担当部署	産業振興部 農林水産課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	24	年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期		
(小項目)		農林水産業						
施策	3	農業の振興						
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	本市に飛来している特別天然記念物「コウノトリ」に着目した、地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、生産支援を行う。						
実施方針	①「鳴門市コウノトリブランド認証制度」をもとに、鳴門藍住農業支援センター、JAと連携し、ブランド認証の条件となる「エコファーマー」のさらなる認定推進を図る。 ②県や地元住民等で構成する「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、「マナー対策」「餌場確保対策」「新たな商品のブランド化に向けた検討」等に取り組む。						
	事業内容 (R3)	①新たなコウノトリブランドの推進に関する情報収集等 ②周辺対策警備業務					
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	22	23	24	25	26	件
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	コウノトリブランド認証延べ件数	22	23	24	25	26	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	各年度の実施(予定)内容	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	継続	継続	

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	4,440	△ 992	3,448	2,931	2,931

◎当初からの変更点

変更内容	①3月補正△35千円、流用△957千円 ②執行予定額が確定しているため減額補正を行った
------	--

事務事業名	コウノトリブランド推進事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①新たな商品のブランド認証を進めるため、新たに「調味料」、「清酒」について商標登録を追加した。 ②「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巢周辺対策警備業務を引き続き実施した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	コウノトリブランド認証延べ件数	30	30	32	34	36	件
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	コウノトリブランド認証延べ件数		30	30	32	34	36	件
	目標達成率(実績/目標)			125.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		481,892	0	1,206,854	0	1,206,854	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		481,892	0	0	0	0		
一般財源		0	0	1,206,854	0	1,206,854		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	コウノトリブランド認証延べ件数		成果指標に対する所見	新たな商品のブランド認証は増やすことができなかったが、新たに商標登録を追加し、今後のブランド認証に向け準備することができた。		
	目標	24	件				
	実績	30	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コウノトリブランド認証制度について、さらなる推進を図れるよう、今後も取り組んで行く必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて観察者が少ない状況となったが、付近の営農者や地元住民への負担がかかっている状況にある。引き続き、周辺対策警備業務を見直しながら実施していく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。			
	令和5年度	令和4年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.103

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	連携型の六次化(産直市・道の駅との連携)	担当部署	産業振興部 農林水産課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	6次産業化法 鳴門市農漁業六次産業化推進支援事業実施要領			
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成	24	年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期		
(小項目)		農林水産業						
施策	3	農業の振興						
基本事業	2	農業の高度化						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	産直市や道の駅に関わる生産者・生産者団体、関係機関等が生産・加工・流通・販売振興に連携して取り組み、産業間の有機的連携を深めることで本市産業の底上げを図り、魅力あふれるまちづくりに努める。	
実施方針	農協や漁協が運営主体となっている産直施設を拠点として、農水産物の六次産業化等を進めることで、産直市・道の駅の発展に努める。	
事業内容(R3)	①関西圏等のイベントに生産者、商工事業者、観光協会等と連携し、本市農水産物及び加工品等のPR・キャンペーンに取り組む。 ②農漁業6次産業化推進支援事業により、販売促進や新商品開発に向けた支援を行う。	

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 農漁業6次産業化推進支援事業の支援件数	2	3	2	3	3	件
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	農漁業6次産業化推進支援事業の支援件数	2	3	2	3	3	件

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②JA大津松茂が進めている産直施設の販売促進備品の整備に向けた支援。	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取組への支援。	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,825	0	1,825	2,425	2,425

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	連携型の六次化(産直市・道の駅との連携)
-------	----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①新型コロナウイルス感染症の影響もあり、PR・キャンペーンに取り組むことができなかったが、昨年度作成したブランドパンフレットを道の駅や観光案内所等に設置し周知を図った。 ②農漁業六次産業化推進支援事業により、かんしょを使った新商品の開発への支援や農産物直売所えがおで販売する農産物の販売促進のための支援等を行った。					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	農漁業6次産業化推進支援事業の支援件数	4	3	3	3	件
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	農漁業6次産業化推進支援事業の支援件数		4	3	3	3	件
目標達成率(実績/目標)			150.0	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	1,612,400	0	841,750	0	841,750	
	財源内訳	国庫支出金	400,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	1,212,400	0	841,750	0	841,750		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	農漁業6次産業化推進支援事業の支援件数		成果指標に対する所見	六次産業化推進支援事業に関する相談が3件あり、相談があった3件に対して支援を実施することができた。		
	目標	2	件				
	実績	3	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来実施している本市農水産物及び加工品等のPR、キャンペーンに取り組むことができなかった。このような状況が続く中で、販売促進やPRについての新たな手法を検討する必要がある。また、六次産業化事業及び補助事業について、今後新たな展開を進めていけるよう、制度周知にも努めていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。 ③市内産直施設との連携を図っていく。			
	令和5年度	令和4年度と同様			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.104

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	多面的機能支払交付金事業	担当部署	産業振興部 農林水産課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	多面的機能支払交付金実施要綱 多面的機能支払交付金交付要綱 徳島県多面的機能支払交付金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 26 年度	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると					
(小項目)		農林水産業					
施策	3	農業の振興			終期	未定	
基本事業	4	農業生産基盤の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等を行うことにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図り、地域の農業者だけでなく地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参加を得て、地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援を行う。	事業内容(R3)	令和2年度に引き続き全17地区が活動 全17地区 対象面積841.17ha 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段岡地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域資源保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三俣地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会				
実施方針	一定のまとまりのある地域を対象に、農業者やその他の地域住民を中心とし、JAや土地改良区等の関係団体で組織され、地域ぐるみで農地・農業用水等の保全活動を行っている団体に対し、支援を行う。						

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 活動回数	888	803	803	803	803	回
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	活動人数	11,158	10,698	10,698	10,698	10,698	人

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
各年度の実施(予定)内容		鳴門市内17団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保安全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行った。	鳴門市内17団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保安全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行った。	鳴門市内17団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保安全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行う。	鳴門市内19団体において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保安全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行う。	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	54,958	△ 5,999	48,959	60,000	60,000

◎当初からの変更点

変更内容	①3月補正△5,999千円(多面的機能支払交付金△5,819千円・多面的機能支払推進交付金△180千円) ②県から最終割当内示額にあわせて減額する。 また、農地転用等により、交付対象農地から除外された面積に対しても減額する。
------	--

事務事業名 多面的機能支払交付金事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		鳴門市内17地区において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保管理や農村環境の向上として植栽活動を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	活動回数	811	883	803	803	803	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	活動人数		8,735	8,061	10,698	10,698	10,698	人
	目標達成率(実績/目標)			75.4	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費		
	計		50,101,139	0	48,958,223	0	48,958,223	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	37,528,905	0	36,743,153	0	36,743,153	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		12,572,234	0	12,215,070	0	12,215,070		
補助制度(名称、補助率など)		国 1/2(県費に含まれる)、県 1/4、市 1/4						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	活動人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動組織における大人数での共同活動を中止もしくは縮減したため、活動人数が目標に達しない結果となった。		
	目標	10,698	人				
	実績	8,061	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	多面的機能支払交付金は農業振興地域農用地区域の農地が補助対象であることから、補助対象外の地区等においては市単独での対策が必要である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和4年度	新たに2活動組織(萩原地区・板東地区)が活動を開始する。 ●農地維持支払交付金 19団体 ●資源向上支払交付金(共同活動) 19団体 ●資源向上支払交付金(長寿命化) 19団体 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段関地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域自然保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三俣地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会 萩原地区資源保全協議会 板東地区資源保全協議会
	令和5年度	R4年度と同様

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)	担当部署	産業振興部 農林水産課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱、 鳴門市農林水産振興補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業 期間	開始	平成 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)						
施策	5	林業の振興				
基本事業	1	緑豊かな森林の整備				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。		事業 内容 (R3)	継続して鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。				
実施方針	①鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託 ②捕獲檻の設置							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	サル・イノシシ捕獲頭数		658	580	450	450	450	頭
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を実施した。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器によりサルやイノシシの有害駆除を実施する。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器によりサルやイノシシの有害駆除を実施する。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,340	1,716	4,056	1,894	1,894

◎当初からの変更点

変更内容	12月補正 1,000,000円【サル専用大型檻(囲い罠)1基追加導入費用】 流用 716,000円【林道維持補修費 → 駆除対策事業費】
------	--

事務事業名	鳥獣被害対策事業(捕獲檻等の設置)
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	サル・イノシシ捕獲頭数	550	894	450	450	450	頭
	目標達成率(実績/目標)		198.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	2,644,128	0	3,623,146	0	3,623,146	
	財源内訳	国庫支出金	1,778,480	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	1,870,000	0	1,870,000	
一般財源	865,648	0	1,753,146	0	1,753,146		
補助制度(名称、補助率など)	徳島県農山村振興関係事業補助金交付要綱						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	サル・イノシシ捕獲頭数		成果指標に対する所見	捕獲目標頭数において達成、内訳としてもイノシシ662頭・サル232頭と捕獲頭数も増加し農作物被害軽減に繋がっている。 市内各地に捕獲檻を設置することは有効性があつたため引き続き継続していく。
	目標	450	頭		
	実績	894	頭		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	主に導入している捕獲檻(スナガ式)については、イノシシ等、四足鳥獣に対して特化しているため、サルの場合になると檻自体になかなか入らないため、捕獲が困難である。 サル捕獲に有効とされる地獄檻が効果を上げており、これの追加設置を検討していきたいが、檻の価格が高額、大型になるため、設置箇所、予算配分等を考えていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。			
	令和5年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	海面環境保全推進事業	担当部署	産業振興部 農林水産課 水産振興室		
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県補助金交付規則 徳島県水産関係事業費補助金交付要綱 鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	昭和	55	年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると					
(小項目)		農林水産業					
施策	6	水産業の振興					
基本事業	1	漁業生産基盤の整備					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	海底に沈降している堆積物や海岸漂着物を除去し、生産基盤である漁場の保全及び漁業生産の向上を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、海岸漂着物除去活動の支援を行う。			①漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策として、漁場環境の保全を図るため、小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行う。 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動に対し、支援を行う。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	活動回数	12	11	6	6	6	回
	2	参加延人数	521	集計中	370	370	370	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	廃棄物処理量		226	計測中	150	150	150	m <sup>3</sup>
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理 ③市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理 ③市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,450	△ 1,842	1,608	6,095	6,095

◎当初からの変更点

変更内容	○ 小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去においては、当初の想定よりもごみの回収量が少なかったため、事業費が減額となったことに伴う減額補正を行った。(▲1,737千円) ○ 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援においては、国の交付決定額の減額に伴い、減額補正を行った。(▲105千円)
------	--

事務事業名	海面環境保全推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	① 小型底曳網漁船を使用して堆積物の処理を行った。 ② 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行った。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 活動回数	10	4	5	5	5	回
	2 参加延人数	407	211	290	290	290	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	廃棄物処理量	146	77	116	116	116	m <sup>3</sup>
	目標達成率(実績/目標)		51.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	1,927,200	0	1,517,551	0	1,517,551	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,245,000	0	1,073,000	0	1,073,000
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	682,200	0	444,551	0	444,551		
補助制度(名称、補助率など)	とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業(海面環境保全推進)補助金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	廃棄物処理量		成果指標に対する所見	各団体とも積極的な取組を進めたが、気象条件や、コロナ禍の影響により、活動回数が例年より少なくなった結果、廃棄物処理量は当初の目標に及ばなかった。
	目標	150	m <sup>3</sup>		
	実績	77	m <sup>3</sup>		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標数値である海底堆積物の除去量は、台風・大雨等の自然災害や気象条件に左右される場合が多いが、海底・海面環境を保全し、漁業経営の安定化を図るため、今後も実施していく必要がある。 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動についても、海洋ごみに対する意識啓発という面からも継続して実施していく必要がある。 しかしながら、いずれも参加者の高齢化が進んでおり、後継者の育成・確保に取り組まなければならない。 また、市内の漁業者からは、海水温の上昇など、海の環境が変わってきているという声もあることから、種苗放流事業等への支援を行うことにより水産資源の確保を図っていく必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行う。 また、徳島県漁連や市内漁協が実施する種苗放流事業等への支援を行うことにより、水産資源の確保を図る。			
	令和5年度	前年度に同じ。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.107

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ブランド産地推進事業(水産)	担当部署	産業振興部 農林水産課 水産振興室		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱 徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり		事業期間	開始	平成 19 年度	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)		農林水産業					
施策	6	水産業の振興					
基本事業	2	漁業経営の安定化とブランド化の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	本市の特産物「鳴門鯛」「鳴門わかめ」等の販売の促進及び販路の拡大により、本市の基幹産業である水産業の振興を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	①本市水産物の消費促進及び販路拡大のため、市内での料理教室や県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。			①新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や、「鳴門わかめの料理教室」、県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	県内外PR活動	3	3	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	6	9	7	7	7	回
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
指標名								
県内外PR活動来場者数			2,030	2,100	5,000	5,000	5,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,782	10,800	12,582	1,752	1,752

◎当初からの変更点

変更内容	○ 新型コロナウイルス感染症対策として、市内漁業者への支援給付金を給付するための予算を補正計上。 (12月補正 予算額: 10,800千円)
------	---

事務事業名	ブランド産地推進事業(水産)
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		本市水産物のPRのため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら県内でのPR活動を行うとともに、令和2年度に作成した「鳴門わかめ」PR動画を活用したWEB広告業務を実施した。また、魚のさばき方教室等の料理教室や、市内の若手漁業者の活動として、県内の小学校児童を対象に、ハマチの餌やり体験を実施した。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、市内漁業者への支援給付金の給付を行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	県内外PR活動	2	7	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	7	4	7	7	7	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	県内外PR活動来場者数		2,000	1,040	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)			20.8	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		10,798,032	0	11,972,234	0	11,972,234	
	財源内訳	国庫支出金	9,740,000	0	10,740,000	0	10,740,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		1,058,032	0	1,232,234	0	1,232,234		
補助制度(名称、補助率など)		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	県内外PR活動来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期等に開催予定としていたイベントが中止となったため、来場者数としては減少する結果となった。		
	目標	5,000	人				
	実績	1,040	人				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期の2月、3月に開催予定としていたイベントや料理教室が中止となったことから、指標である来場者数は減少する結果となった。しかしながら、WEB広告業務や漁業者への個人支援など、コロナ禍に対応した施策を実施することにより、産地の維持を図った。今後も漁業者や市内漁協の状況把握に努め、アフターコロナも見据えた産地の持続的な発展を支援する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援			
	令和5年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援			

---

## 各実施計画兼評価シート

---

消 防 本 部



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業	担当部署	消防本部 消防総務課			
総合計画体系				根拠法令計画など	消防法・消防組織法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	23	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		消防						
施策	2	消防体制の充実						
基本事業	2	消防力の強化						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団車両や資機材の整備により地域防災力の充実強化を図る。		事業内容(R3)	消防団配備の消防ポンプ車及び積載車の状況を踏まえ、以下の3分団の小型ポンプ付積載車等を更新する。 大谷分団・里浦仲分団・櫛木分団				
実施方針	消防団車両・資機材等を計画的に更新し、消防力の強化を図る。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備率	100	100				%
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
小型ポンプ付積載車更新達成率			100	100	100	100	100	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	小型ポンプ付積載車更新	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	22,440	5,959	28,399	21,615	21,615

◎当初からの変更点

変更内容	消防団が救助活動時に使用する「救命ボート」を30艇配備。
------	------------------------------

事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①令和3年6月に小型ポンプ付き積載車3台の入札を行い、8月に、大谷分団、里浦仲分団、櫛木分団に配備した。 ②救命ボートを30艇配備した。 【救命ボート配備箇所】 木津神分団、南浜分団、黒崎分団、里浦北分団、里浦仲分団、里浦南分団、土佐泊分団、明神分団、堂浦分団、北泊分団、島田分団、小海日出分団、大幸分団、段関分団、備前島分団、木津野分団、矢倉分団、大津第一分団、大津第二分団、粟田分団、折野分団、姫田分団、池高分団、松村分団、堀江南分団、堀江中分団、市場分団、板東南分団、板東分団、檢分団					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備率	100	100	-	-	-	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	小型ポンプ付積載車更新達成率		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算		令和4年度決算		
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		26,845,159	0	27,908,430	0	27,908,430	
	財源内訳	国庫支出金	4,877,000	0	1,578,000	0	1,578,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		9,800,000	0	13,800,000	0	13,800,000		
その他		0	0	3,157,000	0	3,157,000		
一般財源		12,168,159	0	9,373,430	0	9,373,430		
補助制度(名称、補助率など)		消防団設備整備費補助金 補助率1/3						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	小型ポンプ付積載車更新達成率		成果指標に対する所見	効率よく計画どおりできた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団の小型ポンプ積載車及びポンプ車は45台あり、年3台の更新でも全分団を更新するのに15年以上かかるため計画的に更新していく必要がある。H27年度以降は、社会資本整備総合交付金が適用できなくなるため、有効な地方債(防災対策事業債等)を活用していく。また、消防資機材は、使用頻度、劣化具合を見極めて、優先度の高いものから計画的に更新していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	小型ポンプ付積載車3台(池高分団・三ヶ谷分団・堀江中分団)を配備予定			
	令和5年度	小型ポンプ付積載車3台を配備予定			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防団安全装備品整備事業	担当部署	消防本部 消防総務課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律 消防団の装備の基準			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	令和	元	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期	未定		
(小項目)	消防							
施策	2	消防体制の充実						
基本事業	2	消防力の強化						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団員の安全装備を整備し、地域防災力の充実強化を図る。	
実施方針	消防団員が現場活動するための安全装備品を計画的に整備し、消防力の強化及び消防団員の安全の確保を図る。	<b>事業内容(R3)</b> ①消防団員の安全装備として防火長靴(救助用半長靴)を配付する。 ・団本部、新分団員 ・瀬戸・堀江の2地区 合計300足 ②消防団員の豪雨災害対策として雨衣を配付する。 ・全43分団に5着 ・団本部、女性分団 合計231着

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 救助用半長靴配付数	384	259	300	-	-	足
	2 雨衣	-	-	231	210	210	着
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
安全装備品整備達成率		100	100	100	100	100	%

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①救助用半長靴配付	①救助用半長靴配付	①救助用半長靴配付 ②雨衣の配付	①雨衣の配布	①雨衣の配布

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	8,724	0	8,724	3,581	3,581

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	消防団安全装備品整備事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①消防団員の安全装備として防火長靴(救助用半長靴)を236足配付した。 ②消防団員の豪雨災害対策として雨衣を226着配付した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	救助用半長靴配付数	259	236	-	-	-	足
	2	雨衣	-	226	210	210	254	着
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	安全装備品整備達成率		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		3,729,341	0	7,255,160	0	7,255,160	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		3,729,000	0	7,255,000	0	7,255,000		
一般財源		341	0	160	0	160		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	安全装備品整備達成率		成果指標に対する所見	効率よく計画どおりできた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団員の安全装備として雨衣を配備し、防災力の充実強化を図っていく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を210着配付予定。			
	令和5年度	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を210着配付予定。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防施設耐震化推進事業	担当部署	消防本部 消防総務課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	建築基準法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業期間	開始	平成	26	年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると						
(小項目)		消防						
施策	2	消防体制の充実			終期	未定		
基本事業	2	消防力の強化						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防施設の耐震化整備を実施する。	
実施方針	①大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防分団詰所及び大麻分署の耐震化整備を実施する。 ②分団の再編に伴って改築する分団詰所についても大規模災害時に使用可能な施設として整備する。	事業内容(R3) ①板東南分団詰所新築工事 ②旧板東南分団詰所解体設計 ③旧吉永分団詰所等解体撤去工事 ④旧折野分団詰所解体撤去工事

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 耐震診断	0	0	0	0	0	棟
	2 耐震設計(改築設計)・耐震工事(改築工事)	5	4	1	1	1	棟
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	耐震化着手数	4	4	1	1	1	棟

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移 <small>各年度の実施(予定)内容</small>	①折野分団詰所建築設計等 ②吉永・中江分団詰所建築設計等 ③徳長・長江分団詰所建築工事等 ④矢倉分団詰所建築工事等 ⑤備前島分団詰所耐震改修設計 ⑥大麻分署建設候補地を検討	①板東南分団詰所建築設計 ②備前島分団詰所耐震改修 ③折野分団詰所建築工事 ④吉永・中江分団詰所建築工事 ⑤大麻分署建設候補地を検討	①板東南分団詰所新築工事 ②板東分団詰所建築候補地の検討 ③大麻分署建築候補地の検討 ④再編協議中の分団詰所建築候補地の検討	①板東分団詰所建築候補地の検討 ②大麻分署建築候補地の検討 ③再編協議中の分団詰所建築候補地の検討	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	71,537	△ 4,641	66,896	3,058	5,000

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△4,641千円(委託料△1,359千円、工事請負費△3,282千円)
------	---

事務事業名	消防施設耐震化推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		○板東南分団詰所新築工事(監理業務含む)完了 ○旧吉永分団詰所等解体撤去工事(監理業務含む)完了 ○旧折野分団詰所解体撤去工事(管理業務含む)完了 (旧板東南分団詰所解体撤去設計業務は実施せず)					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	耐震診断	0	0	0	0	棟	
	2	耐震設計(改築設計)・耐震工事(改築工事)	4	1	0	0	棟	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	耐震化着手数		4	1	0	0	棟	
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		150,361,600	0	64,827,400	0	64,827,400	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	149,100,000	0	63,700,000	0	63,700,000	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,261,600	0	1,127,400	0	1,127,400		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	耐震化着手数		成果指標に対する所見	達成済み		
	目標	1	棟				
	実績	1	棟				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防施設耐震化整備について、現在新耐震基準を満たしていないのは4箇所(大麻分署、板東分団、斎田分団、松村分団)となっています。大麻分署、板東分団詰所については、(仮称)大麻町総合防災センター建設計画に沿って進めて行く。残りの斎田分団、松村分団については耐震化と再編の問題が絡んでいるため検討する必要があり、耐震化のみでは事業ができない。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	○(仮称)大麻町総合防災センターの建設計画に沿って大麻分署、板東分団詰所について諸課題を検討。 ○消防団詰所耐震化については施設の整備や再編等協議を進める。			
	令和5年度	三津大須分団詰所解体撤去工事(監理業務含む)			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急救命士等養成事業	担当部署	消防本部 警防課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	救急救命士法		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	5 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと					
(小項目)		救急			終期	未定	
施策	3	救急救助・医療体制の充実					
基本事業	1	救急体制の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	救急出場時の救急救命士乗車率を100%にする。また、救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置(特定行為)についてもその質を確保し、維持向上を図るため講習、研修等に派遣する。							
実施方針	①救急救命士養成のため、研修所に派遣 ②特定行為の認定を得るための病院実習 ③救急救命士、再教育の病院実習		事業内容(R3)	①新規養成課程に救急救命九州研修所に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、1名を病院実習に派遣				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	救急救命士(実働数)	18	17	18	18	18	人
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
救命士の乗車率			100	100	100	100	100	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	救急救命士1名養成 指導救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	救急救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	救急救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	3,105	△ 29	3,076	3,352	3,200

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△29千円 新型コロナウイルス感染症拡大のため旅費減額
------	---------------------------------

事務事業名	救急救命士等養成事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①新規養成課程に救急救命九州研修所に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、1名を病院実習に派遣					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	救急救命士(実働数)	17	19	19	20	20	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	救命士の乗車率		100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算		令和3年度決算			
					前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		2,930,474	0	3,034,262	0	3,034,262	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		2,930,474	0	3,034,262	0	3,034,262		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	救命士の乗車率		成果指標に対する所見	目標である救急救命士の乗車率100%を維持することができた。		
	目標	100	%				
	実績	100	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後の課題としては、救急車への救急救命士2名乗車体制の構築がある。救急需要の増大、活動時間の延伸等、救急活動を取り巻く環境は過酷なものとなっており、救急活動全体の質向上、隊員の負担軽減に繋がる救急救命士2名乗車体制が望まれる。現状、救急救命士の救急車乗車率100%は維持できているが、2名乗車体制を行うには救急救命士が不足しており、救急救命士養成事業を拡充する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。			
	令和5年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。			

---

# 各実施計画兼評価シート

---

企 業 局





◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業	担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期	未定
(小項目)		上水道				
施策	3	安全で強靱な水道の持続				
基本事業	1	経営基盤の強化と適正な料金水準の設定				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	水道事業の経営基盤強化		事業 内容 (R3)					
実施方針	経営戦略に掲げた各種取り組みの推進			①経営戦略に基づく経営改革 ②鳴門市水道事業審議会への報告と審議				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	1	1	1	1	1	回
	2							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	累積欠損金		0	0	0	0	0	円
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①4月から料金改定実施 ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	①経営戦略の見直し ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	①経営戦略に基づく経営改革 ②鳴門市水道事業審議会への報告と審議	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	0	0	0	—	—

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容 ①鳴門市水道事業審議会への報告と審議						
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	1	1	1	1	回
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	累積欠損金		0	0	0	0	円
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		-	-	-	-	-
	財源内訳	国庫支出金		-	-	-	-
		県支出金		-	-	-	-
		地方債		-	-	-	-
その他		-	-	-	-		
一般財源		-	-	-	-		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	累積欠損金		成果指標に対する所見	料金改定に伴う増収や経費削減により、当年度純利益を計上し、累積欠損金は発生しなかった。		
	目標	0	円				
	実績	0	円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人口減少等により有収水量は減少傾向にある一方で、老朽化に伴う施設更新や防災対策には多額の経費が必要となる。今後も安全で安心な水道を安定的に持続していくために、引き続き経営改革を推進する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進する。			
	令和5年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	担当部署	企業局 水道事業課 浄水場			
総合計画体系				根拠法令 計画など	水道法			
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり		事業 期間	開始	平成	21	年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと						
(小項目)		上水道			終期	未定		
施策	3	安全で強靱な水道の持続						
基本事業	3	着実な施設の更新・耐震化と応急給水・復旧体制の整備						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	①浄水場は水道事業の根幹となる施設であり、早急に南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから、施設を更新 ②コスト削減等の効果があるため、北島町と浄水場の共同化を実施		事業 内容 (R3)	①鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ・整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)に着手 ・整備事業の施工監理業務を実施				
実施方針	①鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ②老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同して進める							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況	発注準備	事業者決定	事業実施	事業実施	事業実施	—
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
浄水場の更新			整備事業の発注準備	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	—
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①基本計画の策定(R1.8) ②事前検討業務の実施 ③共同浄水場整備事業の発注準備 ④関係機関と協議	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,936,000	△ 1,646,755	289,245	2,261,823	2,565,734

◎当初からの変更点

変更内容	計画策定時は、事業費の年度割が未確定のため、全体事業費を平準化して計上 令和3年3月にDB事業、令和3年5月に施工監理業務を契約し、年度別事業費が確定したため、令和3年度3月補正予算で契約額にあわせて減額計上
------	---

事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業
-------	------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業(DB方式)のうち調査・設計業務に着手し、令和3年10月に安全祈願祭を実施 建設工事(準備工、天日乾燥床の一部建設)、既設天日乾燥床の撤去工事を実施 ② 整備事業の施工監理業務					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況	事業者決定	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	-
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	浄水場の更新		整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	-
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		66,000,000	0	289,245,000	0	289,245,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	63,962,000	0	63,962,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	72,800,000	0	72,800,000	
その他		24,282,500	0	152,026,950	0	152,026,950		
	一般財源	41,717,500	0	456,050	0	456,050		
補助制度(名称、補助率など)		厚生労働省 生活基盤施設耐震化等交付金のうち「水道事業運営基盤強化推進等事業」の「水道施設共同化事業」 補助率: 1/3						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新		成果指標に対する所見	DB方式による設計業務、建設工事を実施		
	目標	詳細設計・建設工事等の実施	—				
	実績	詳細設計・建設工事等の実施	—				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業を円滑に進め、双方にとって有益な事業とするため、北島町と必要な事項の検討、関係機関との協議を行う必要がある。 現施設を稼働しながら新施設を建設するため、複雑な工程管理、施工方法等の検討が必要となる。 共同浄水場完成後の維持管理等について、北島町と協議、検討を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)を実施 ②整備事業の施工監理業務			
	令和5年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)を実施 ②整備事業の施工監理業務			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	担当部署	企業局 ポートレース企画課 ポートレース事業課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	モーターボート競走法 経営戦略アクションプラン2021	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動 みんなで創る まちづくり		事業期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				
(小項目)		行財政運営			終期	未定
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業	2	財政の健全化				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	ポートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる経営理念を達成する。 ①ポートレース事業の安定的な運営を継続 ②市民に親しまれる施設としてランドマーク化を推進 ③市の財政に貢献	事業内容(R3)	経営計画に掲げる個別施策に順次取り組む。 【広域発売戦略】 ①電話投票売上の向上(取組項目7・個別施策17) ②他場委託発売売上の向上(取組項目3・個別施策4) 【本場活性化戦略】 ①本場売上の向上(取組項目8・個別施策24) ②他場発売委託売上の向上(取組項目2・個別施策3) ③施設整備及び改善(取組項目2・個別施策5) ④ポートレースパーク化の推進及び地域貢献(取組項目3・個別施策9) 【体質改善等の推進】 ①経費の見直し及び組織体制の充実(取組項目4・個別施策9) ②危機管理等対応及びギャンブル依存症対策(取組項目4・個別施策10)
実施方針	ポートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる経営戦略を推進するため、経営計画に定める各種施策を実施する。 ①広域発売戦略 ②本場活性化戦略 ③体質改善等の推進		

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ポートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる施策の実施率	—	—	25	40	55 %
	2						
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		ポートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の事業利益	—	—	20	20	20 億円

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期) ②モーニングレース開催(下半期) ③GⅡレディースオールスター開催 ④ウズホール整備、開設	①サマータイム(薄暮)レース開催(上半期) ②モーニングレース開催(下半期) ③SGオーシャンカップ開催 ④外向発売所に指定席棟の整備、開設 ⑤経営戦略アクションプラン2021の策定	アクションプラン2021に掲げる施策の推進 ①広域発売戦略21施策 ②本場活性化戦略41施策 ③体質改善等の推進19施策	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	—	0	—	—	—

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化 推進事業
-------	----------------------------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		令和2年度に策定した経営戦略アクションプラン2021に基づき、PG I BBCTーナメント競走の開催、モーニングレースの日数増加(141日)、各競走場等への発売協力依頼、鳴門支部選手の出演したCM動画の作成及び放送、BOATRACE振興会による事業を活用した市民向けイベント等を実施し、事業利益73億を計上した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる施策の実施率	-	25	40	55	70	%
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の事業利益		-	73	20	20	20	億円
	目標達成率(実績/目標)			365.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		-	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	-	0	0	0	0	
		県支出金	-	0	0	0	0	
		地方債	-	0	0	0	0	
その他		-	0	0	0	0		
	一般財源	-	0	0	0	0		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の事業利益		成果指標に対する所見	令和3年度はPG I BBCTーナメントの開催、モーニングレースの日数増加等により売上は順調で、計画どおりであった。		
	目標	20	億円				
	実績	73	億円				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	業界的課題ではあるが、電話投票売上が好調である一方、本場売上、専用場外売上、他場委託売上は減少傾向にある。経営戦略アクションプラン2021に基づき、課題解決及び健全経営に取り組む。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	経営戦略アクションプラン2021に基づき、健全経営に取り組む。			
	令和5年度	経営戦略アクションプラン2021に基づき、健全経営に取り組む。			

---

# 各実施計画兼評価シート

---

教 育 委 員 会





実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.115

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業	担当部署	教育委員会 教育総務課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	食育基本法、学校給食法(学校給食実施基準、学校給食衛生管理基準)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 17 年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)	教育行政				終期	未定	
施策	1	教育行政の充実					
基本事業	5	学校給食の充実と食育の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	①子供たちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解促進 ②給食への愛着や地域理解、郷土愛の醸成		事業 内容 (R3)			
実施方針	①地域の特産物を使った学校給食の推進を図る ②給食献立を活用した食育の重点的な推進を図る			①地域の特産物を用いた学校給食の推進 ・学校給食への地場産品活用促進 ②給食献立を活用した食育の推進 ・なると学校食育の日(毎月19日)の実施		

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	68	55	55	55	55	件
	2 なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	給食の食材のうち地場産品の占める割合	49	40	40	40	40	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	40	0	40	40	40

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<p>地域の特色を生かした学校給食を実施するため、栄養教諭等が調理実習を実施し、試作品づくりを通して地場産品を活用した献立の作成に努めるとともに、毎月19日を「なると学校食育の日」と定め、「給食発ふるさとの味」をテーマとした地産地消及び食育の推進を図った。</p> <p>なお、「なると学校食育の日」には、地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図るとともに、給食献立の嗜好等の実態を把握し、今後の学校給食運営に役立てるため、児童・生徒を対象にアンケート調査を行った。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	64	66	55	55	55	件
	2	なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	給食の食材のうち地場産品の占める割合		44	65	65	65	65	%
	目標達成率(実績/目標)			162.5	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		37,217	0	16,620	0	16,620	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		37,217	0	16,620	0	16,620		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	給食の食材のうち地場産品の占める割合		成果指標に対する所見	給食センターの栄養教諭等と連携し、地場産品の活用に努め、全市的な食育の推進を図った。		
	目標	40	%				
	実績	65	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食における地場産品を活用した献立を増やすことで、郷土に根付いた料理を食べる機会を増やし、次世代を担う子供たちの郷土への愛着を育み、郷土料理についての知識を深める。</li> <li>自分の食生活を見直し、正しい知識や情報に基づいて望ましい食事の取り方を自ら判断できる「食の自己管理能力」を身に付ける。</li> </ul>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地域の特産物を使った給食のレシピを市公式ウェブサイトに掲載し、地産地消に向けた周知を図る。			
	令和5年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地域の特産物を使った給食のレシピを市公式ウェブサイトに掲載し、地産地消に向けた周知を図る。			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.116

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校安全施設整備事業	担当部署	教育委員会 教育総務課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条の8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項第7号都市公園における遊具の安全確保に関する指針		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 18 年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)	教育行政				終期	未定	
施策	1	教育行政の充実					
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	安全で安心な教育環境の整備充実								
実施方針	①児童・生徒等の安全確保のため計画的な施設整備を推進する ②倒壊等の危険がある箇所の安全対策を推進する。		事業内容 (R3)	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進 ・現地調査等による改修等が必要な箇所の把握 ②危険箇所の安全対策の推進 ・精華幼稚園連絡橋改修工事 ・第一幼稚園旧園舎解体工事設計					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	年度中に改修や設置を行った件数		34	30	30	30	30	件
	2	前年度までに改修や設置を行った件数	240	274	304	334	364	件	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数			34	30	30	30	30	件
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②危険箇所の改修工事等の実施	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②危険箇所の改修工事等の実施	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	23,846	4,400	28,246	9,000	9,000

◎当初からの変更点

変更内容	・精華幼稚園連絡橋改修工事設計業務(令和2年度からの繰越)
------	-------------------------------

事務事業名	学校安全施設整備事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進 ・現地調査等による改修等が必要な個所の把握 ②危険個所の安全対策の推進 ・精華幼稚園連絡橋改修工事設計業務、改修工事の実施 ・第一幼稚園旧園舎解体工事設計の実施					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	年度中に改修や設置を行った件数	42	41	40	40	40	件
	2	前年度までに改修や設置を行った件数	274	316	357	397	437	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数		42	41	40	40	40	件
	目標達成率(実績/目標)			136.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		62,129,742	4,400,000	23,839,008	0	28,239,008	
	財源内訳	国庫支出金	3,336,000	0	0	0	0	
		県支出金	211,000	0	0	0	0	
		地方債	23,500,000	0	14,000,000	0	14,000,000	
		その他	0	0	2,291,000	0	2,291,000	
一般財源		35,082,742	4,400,000	7,548,008	0	11,948,008		
補助制度(名称、補助率など)		地方債:緊急防災・減災事業 その他:ポートルース鳴門まちづくり基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	改修や設置などにより改善した設備・遊具等の件数		成果指標に対する所見	必要な整備を実施することにより、園児・児童・生徒の安全な教育環境を確保することができた。		
	目標	30	件				
	実績	41	件				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	定期点検等をはじめ、現地調査やヒアリング等を通じて各学校(園)施設の劣化状況等の把握に努めるとともに、予防保全に考慮し事業を推進する必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進。 ・防球ネット他、倒壊や落下等により事故につながる恐れのある、工作物及び機器などの安全対策の推進。 ②危険箇所の安全対策の推進 ・第一幼稚園旧園舎解体撤去等工事、プロパン庫等解体撤去工事(撫養小ほか2校)			
	令和5年度	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進。 ・防球ネット他、倒壊や落下等により事故につながる恐れのある、工作物及び機器などの安全対策の推進。 ②危険箇所の安全対策の推進			

実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.117

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	小中学校特別教室等空調設備整備事業	担当部署	教育委員会 教育総務課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第7号、学校保健安全法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	令和	2	年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると				終期	未定	
(小項目)		教育行政						
施策	1	教育行政の充実						
基本事業	7	安全で快適な教育環境の整備充実						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	安全で快適な学校施設の整備充実		事業内容 (R3)	①快適な学習環境の整備 ・小学校13校の特別教室等空調設備設置工事 ・中学校5校の特別教室等空調設備設置工事				
実施方針	快適な教育環境で学習できる施設整備を推進する							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	設置工事等の進捗状況	—	設計業務実施・完了	設置工事	—	—	—
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 設置工事等の進捗状況			—	設計業務実施・完了	設置工事	—	—	—
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	—	工事設計の実施	設置工事	—	—		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	0	257,799	257,799	—	—

◎当初からの変更点

変更内容	設置工事に係る国庫補助の追加内定を受けることができたため、令和2年度12月補正に工事費等を前倒して計上。※監理費(委託料)含む。 予算額303,399千円のうち令和2年度に支出した前払金45,600千円を除いた残額を令和3年度に繰り越し。
------	--

事務事業名	小中学校特別教室等空調設備整備事業
-------	-------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①快適な学習環境の整備 ・小学校13校の特別教室等空調設備設置工事 ・中学校5校の特別教室等空調設備設置工事					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	設置工事等の進捗状況	設計業務実施・完了	設置工事	-	-	-	-
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	設置工事等の進捗状況		設計業務完了 ・設置工事実施	設置工事	-	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		51,771,000	233,904,500	0	0	233,904,500	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	66,410,000	0	0	66,410,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	38,800,000	106,200,000	0	0	106,200,000	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		12,971,000	61,294,500	0	0	61,294,500		
補助制度(名称、補助率など)		国庫支出金:学校環境改善交付金(大規模改造(空調) 補助率1/3) 地方債:学校教育施設等整備事業						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	-		
成果指標に対する評価	指標名	設置工事等の進捗状況		成果指標に対する所見	計画通りに設置工事を完了したことで快適な学習環境を整備できた。
	目標	設置工事	-		
	実績	設置工事	-		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度				
	令和5年度				

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校づくり計画推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがい感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			終期	未定
(小項目)	教育行政					
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	4	鳴門の学校づくり計画の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門の学校づくり計画」に基づき、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校の子どもたちが、将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整える。	
実施方針	①「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消を図るとともに、公立幼稚園の再編を推進する。 ②学校運営に地域の声を積極的に生かし、特色ある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入する	①複式学級編制となる学校で学校再編に関する意見交換会を実施する。 ②瀬戸中学校区において、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園の再編計画を進め、黒崎幼・里浦幼・大津西幼・堀江南幼及び休園中の4園を閉園する。 ④市内7校(中2校・小5校)をモデル校として、コミュニティ・スクールを導入する。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市教委主催の説明会の開催回数	1	12	1	未定	未定	回
	2 地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	1	1	1	未定	未定	回
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	複式学級のある小中学校	1	1	1	1	1	校

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園のあり方を検討	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園のあり方を検討	①複式学級編制となる学校で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園の再編計画を進め、8園を閉園する。 ④コミュニティ・スクールを導入する。	①複式学級編制となる学校で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園を再編後の新体制で運営する。 ④全ての小中学校においてコミュニティ・スクールを導入する。	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	1,350	791	2,141	3,513	3,513

◎当初からの変更点

変更内容	9月補正 学校づくり計画推進事業に、幼稚園閉園関係費用を計上 消耗品費 250千円、役務費 13千円、委託料 528千円
------	---

事務事業名	学校づくり計画推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、説明、意見交換を行った。</li> <li>・瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育の充実をはかった。</li> <li>・「鳴門市公立幼稚園のあり方について」に沿って、公立幼稚園の再編を行った。</li> <li>・7校の小・中学校でコミュニティ・スクールを導入した。</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	市教委主催の説明会の開催回数	13	1	2	未定	未定	回
	2	地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	-	-	-	未定	未定	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	複式学級のある小中学校		1	1	1	-	-	校
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		497,930	0	1,464,932	0	1,464,932	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	350,000	0	300,000	0	300,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		147,930	0	1,164,932	0	1,164,932		
補助制度(名称、補助率など)		小中一貫教育推進事業委託金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	複式学級のある小中学校		成果指標に対する所見	適正規模への再編を行うためには、保護者・地域の理解を得ることが先決であり、そのための協議を重ねている。		
	目標	1	校				
	実績	1	校				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、丁寧な説明、意見交換を進めていく必要がある。</li> <li>・瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育について、取組を継続し、さらに充実させる必要がある。</li> <li>・再編された公立幼稚園について、教育環境の改善・充実がなされるよう適正配置に努める。</li> <li>・コミュニティ・スクールについて、市内すべての小中学校において円滑な導入を図る。</li> </ul>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級編制となる学校で学校再編に関する意見交換会を実施</li> <li>・瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。</li> <li>・公立幼稚園を再編後の新体制で運営する。</li> <li>・全ての小中学校においてコミュニティ・スクールを導入する。</li> </ul>			
	令和5年度	継続実施			



実施計画兼評価シート(令和3年度事業分)

事業No.119

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	幼児教育支援センター事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	発達障害者支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			終期	未定
(小項目)		学校教育				
施策	2	幼稚園教育の充実				
基本事業	1	教育活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	市内就学前の幼児(3歳~6歳)のうち、特別な支援を必要とする幼児や気がかりな幼児は増加傾向にあるため、子育てに悩み、不安を持った保護者が安心して子育てができる環境づくりをめざす。		事業内容 (R3)	3歳~就学前の幼児の保護者を対象に、年8回程度「幼児教育等の専門家による教育相談」を実施する。				
実施方針	子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう、定期的に「教育相談」の機会を設ける。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教育相談実施回数	8	7	8	8	8	回
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
相談利用者数			24	22	24	24	24	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	教育相談を年8回実施し、24人が利用	教育相談を年8回実施し、24人が利用	教育相談を年8回実施し、24人が利用	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	120	0	120	120	120

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	幼児教育支援センター事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあること、家庭での保育や子育てに悩んでいる保護者が増え、公立幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申し込みも多いことから保護者が気軽に相談できるよう教育相談を実施した。					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	回
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	相談利用者数		22	20	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			83.3	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	110,000	0	100,000	0	100,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源	110,000	0	100,000	0	100,000		
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	相談利用者数		成果指標に対する所見	相談員の都合により、例年より4人分利用者が少ない実施となったが、不安を持つ保護者や、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多く、ほぼ計画した利用者数を達成した。		
	目標	24	人				
	実績	20	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どもの現状を把握できていない保護者もいることから、専門家による教育相談をそのきっかけづくりの一つとして継続して実施するとともに、相談員とも調整し、保護者の利用しやすい時間帯や曜日において実施する。 また、関係課においても連携しながら、保護者にとって安心して子育てができる環境づくりを推進していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者も多いことから、引き続き教育相談を実施する。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	一時預かり事業	担当部署	教育委員会 学校教育課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市立幼稚園における一時預かり事業の実施に関する条例及び施行規則、幼稚園教育要領		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)		学校教育			終期	未定	
施策	2	幼稚園教育の充実					
基本事業	3	一時預かり事業の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	幼稚園教育要領に基づく保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に幼稚園施設を開放して預かり保育を実施することにより、園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。		事業内容 (R3)	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施する。				
実施方針	市内の公立幼稚園11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	預かり保育実施園	11	11	11	未定	未定	園
	2	土曜預かり保育実施園	4	4	4	未定	未定	園
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	一時預かり受入率		100	100	100	100	100	%
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。	再編後の体制となることから、新たに実施園及び土曜預かり保育実施園を検討・決定する。	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移 (千円)	54,261	0	54,261	54,261	54,261

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	一時預かり事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	11園で一時預かりを実施するとともに、4園で土曜日の一時預かりを実施した。					
指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 預かり保育実施園	11	11	7	7	7	園
	2 土曜預かり保育実施園	4	4	4	4	4	園
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	一時預かり受入率	100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	38,557,485	0	47,772,929	0	47,772,929	
	財源内訳	国庫支出金	3,705,000	0	9,004,000	0	9,004,000
		県支出金	3,705,000	0	9,004,000	0	9,004,000
		地方債	0	0	0	0	0
その他		320,400	0	604,000	0	604,000	
	一般財源	30,827,085	0	29,160,929	0	29,160,929	
補助制度(名称、補助率など)	一時預かり事業補助金(国庫補助金、県補助金)						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	一時預かり受入率		成果指標に対する所見	希望者が全員利用できる体制を維持した。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	幼稚園の一時預かり担当は志願者が少ない傾向にある。勤務条件の改善を行い、預かり保育担当職員を含む幼稚園の臨時職員について、継続的に優秀な人員を確保することが課題となっている。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	幼稚園の再編に伴い実施園は減少するが、希望者全員が利用できる体制は引き続き維持する。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学力向上対策推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 28 年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			終期	未定	
(小項目)		学校教育					
施策	3	義務教育の充実					
基本事業	1	学力向上の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	学校と家庭が連携し、市内小中学生の基本的な生活習慣や学習習慣の育成を図り、確かな学力の向上と定着をめざす。		事業 内容 (R3)	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催				
実施方針	鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策を検討し、各種施策を実施する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学力向上推進施策の実施	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	—
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		68	-	70	70	70	%
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,852	△ 66	2,786	2,842	2,842

◎当初からの変更点

変更内容	学校教育指導関係費 報償費 3月補正 △66千円
------	--------------------------

事務事業名	学力向上対策推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策の検討を進めた他、小学校3～6年・中学校1～3年を対象にQUアンケートを実施し、各学校に新聞を配備した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた理数オリンピックについては翌年度へ延期した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学力向上推進施策の実施	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	未定	未定	
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		-	-	70	70	70	%
目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		1,517,461	0	2,390,533	0	2,390,533	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,517,461	0	2,390,533	0	2,390,533		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、該当事業が実施できなかった。		
	目標	70	%				
	実績	-	%				
	評価	D:目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。また、学力の定着には学校での学習以外に、家庭での過ごし方も深く関係しており、どのようにして家庭での生活習慣や学習習慣を身につけるかが課題である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。 また、家庭と連携し、基本的な生活習慣と学習習慣の育成を図る。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特別支援教育推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると				
(小項目)		学校教育			終期	未定
施策	3	義務教育の充実				
基本事業	4	特別支援教育の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	特別な支援を必要とする児童・生徒が抱える学習や学校活動上の困難を改善・克服するとともに、子どもの発達や特別支援教育に関する保護者や教職員の理解を向上させる。		事業 内容 (R3)	①特別支援教育支援員を22名配置する。 ②鳴門教育大学との連携のもと、特別支援教育サポーターを30名程度配置する。				
実施方針	特別支援教育支援員や特別支援教育サポーターを配置する。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特別支援教育サポーターの登録人数	29	21	30	30	30	人
	2							
成果指標			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
特別支援教育支援員の配置人数			21	21	22	未定	未定	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置する	特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置する	特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置する	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	62,995	△ 16,180	46,815	62,995	62,995

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正 報酬△13,000千円、職員手当△3,000千円、報償費△180千円
------	---

事務事業名 特別支援教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		・前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、特別支援教育支援員を22名配置 ・鳴門教育大学との連携のもと、学生の意向を尊重した上で、特別支援教育サポーター 6名を配置					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特別支援教育サポーターの登録人数	21	6	20	20	20	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	特別支援教育支援員の配置人数		21	22	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		42,229,698	0	45,104,614	0	45,104,614	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		42,229,698	0	45,104,614	0	45,104,614		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	特別支援教育支援員の配置人数		成果指標に対する所見	計画通りの人数を配置できた。		
	目標	22	人				
	実績	22	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	支援員やサポーターを必要とする幼児・児童・生徒の増加等により、学校現場からは支援員の増員を強く求められており、特別支援教育に係る学校現場の人員を確保する必要がある。また、入学後あるいは学年途中でも教育的判断から支援員の配置が必要となった場合に、臨機応変に対応できるような体制の整備が急がれる。 また、特別支援教育に係る学校現場をサポートするため、引き続きサポーターの登録を推進していく必要があるが、コロナ禍の影響等で学生サポーターの登録は伸び悩んでいる。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、支援員を配置する。			
	令和5年度	継続実施			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	担当部署	教育委員会 学校教育課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市学校・幼稚園防災推進計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 26 年度	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)		学校教育			終期	未定	
施策	3	義務教育の充実					
基本事業	6	生命を守る防災安全教育の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、本市の幼児・児童・生徒及び職員の災害発生時の安全確保対策の推進と一時避難に必要な災害対応備品等を計画的に整備するとともに、防災教育及び防災管理・組織活動の充実と推進を図る。		事業 内容 (R3)	①学校防災推進会議(重点取り組み項目の決定) ②学校防災推進会議実務者部会(重点取り組み項目の取り組みを推進)				
実施方針	①「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づいた取り組みを推進する。 ②学校現場と協力して、授業にフェーズフリーの考え方を取り入れ、児童生徒が災害時に備えた感覚を身に付けられる状態をめざす。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
重点取組項目数			2	7	7	7	7	個
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進 ③国の委託事業「学校安全総合支援事業」を実施	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	396	0	396	755	755

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		<p>「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証をするとともに、共通理解事項の確認・改善を図った。  事務者部会は年度内に3回開催し、各地域の自主防災会と連携した避難所運営支援と、学校防災の意識と知識の更新についての取組を中心に進めた。  市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援した。  令和2年度に作成したフェーズフリーに関する冊子を増刷して配布し、学校の防災意識の向上を図った。</p>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	重点取組項目数		7	7	4	4	5	個
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額		決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		1,699,905	0	328,469	0	328,469	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	1,400,000	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		299,905	0	328,469	0	328,469		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	重点取組項目数		成果指標に対する所見	防災教育と防災管理の2つの視点から、重点取組項目を設定し、重点的に取り組んだ。		
	目標	7	個				
	実績	7	個				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	重点取組項目のそれぞれの項目について、より実効性のある取組にしていく必要がある。学校によって、地域連携しやすい地域とそうでない地域があり、取組に違いがある。今後は、学校・地域・保護者が一丸となって防災教育の取組を推進していく必要がある。今後は、深く掘り下げて取り組む重点項目を設定していくことも必要と思われる。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、取組を推進し、実務者部会において、地域連携を強化していく。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市、鳴門市教育委員会及び鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると				
(小項目)		大学連携			終期	未定
施策	4	大学連携の推進				
基本事業	2	学校教育における連携				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門市、鳴門市教育委員会及び国立大学法人鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書」に基づき、現在の連携協力校(園)における課題解決や教育・保育の充実・向上を行い、将来的には、市内全域の認定こども園、幼稚園、小学校及び中学校が連携協力校(園)となり、鳴門市学園都市化をめざす。							
実施方針	①鳴門教育大学教育拠点校に認定されている鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、教育・保育のより一層の充実・向上を図る。 ②将来的には、連携協力校(園)を市内全域に拡充し、鳴門市学園都市化をめざす。		事業内容(R3)	①実施計画に基づき、鳴門町地区をモデル地区として、地区内の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園での連携・協力を推進する。 ②過去の取り組みを検証し、連携・協力内容について大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。				
指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学習支援サポーター活動人数	20	18	30	30	30	人
	2							
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
<small>対象にどのような効果があったか示す指標</small> 連携協力認定こども園・幼稚園・小学校・中学校		5	5	5	5	5	校	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	継続	継続		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	441	0	441	424	424

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業
-------	-----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		令和3年度の取組について定めた鳴門市学園都市化構想実施計画に基づき、鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、鳴門教育大学により研究事業を実施し、教育の充実・向上に取り組んだ。また、学習支援サポーター29名及び部活動支援サポーター7名の派遣を行い、連携・協力を推進した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学習支援サポーター活動人数	18	29	30	30	30	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	連携協力認定こども園・幼稚園・小学校・中学校		5	5	5	5	5	校
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		154,671	0	129,235	0	129,235	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		154,671	0	129,235	0	129,235		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	連携協力認定こども園・幼稚園・小学校・中学校		成果指標に対する所見	学校(園)は鳴門教育大学から、その教育資源の提供を受けるとともに、大学の教育研究への協力を行うといったように、相互に連携協力を行っており、学校(園)の教育環境の充実・向上が図られている。		
	目標	5	校				
	実績	5	校				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門教育大学が鳴門町地区の認定こども園、小学校、中学校の5校園を鳴教大研究拠点校に認定したことに伴い、教育・保育の分野において、より一層の充実・向上を図っていく。 また、将来的に、市全体に取組を拡充し、市内の教育・保育の充実・向上を図るために、教育研究拠点校の5校園における課題や効果の検証を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。 学習支援サポーター・部活動等支援サポーターについては、学生・学校双方の利益になるよう、登録を推進していく。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	鳴教大研究拠点校となった鳴門町地区の認定こども園、小学校、中学校の5校園と、鳴教大との連携・協力をより推進する。また、これまでの取組を検証し、次年度に向けての連携・協力内容を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。			
	令和5年度	継続実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	外国語教育推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課 教育支援室		
総合計画体系				根拠法令 計画など	『英語が使える日本人』育成のための戦略構想(H14)、学習指導要領(H20 3月)、「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」(H23 6月)、「世界にはばたく鳴門の子ども」育成プラン(H25 5月鳴門市教育委員会策定)、「グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言」(H26)、「中教審教育課程企画特別部会論点整理」(H27 8月)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり			事業 期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)	教育行政		終期			未定	
施策	1	教育行政の充実					
基本事業	6	教育支援体制の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	国際化への対応が求められる中、小・中・高を見通した外国語教育の充実を図り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力をもった「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する。		事業 内容 (R3)					
実施方針	①達成状況の把握・検証 ②モチベーションの喚起 ③体験の場の設定 ④教員の指導力向上・授業改善 ⑤情報発信			①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励(市内全中学生、全級対象、1人年1回) ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ⑤市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑥グローバル人材講演会の実施 ⑦ALTの学校派遣(幼・小・中) 外国語活動支援員の派遣(小) ⑧イングリッシュ・デイ・キャンプの実施 等				

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 外国語支援員訪問日数(総日数)	698	784	752	752	752	日
	2 研修会参加者数(小中学校教職員)	248	0	250	250	250	人
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
対象にどのような効果があったか示す指標 中学3年生時にCEFR A1レベル(英検3級以上)相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合		44.8	50	55	60	60	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	修正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	8,286	0	8,286	8,593	—

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	外国語教育推進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励(市内全中学生, 全級対象, 1人年1回) ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④We Love NARUTO!~中学生英語発信コンテスト~の実施 ⑤市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑥グローバル人材講演会の実施 ⑦ALTの学校派遣(幼・小・中) 外国語活動支援員の派遣(小)					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 外国語支援員訪問日数(総日数)	742	746	790	790	790	日
	2 研修会参加者数(小中学校教職員)	20	202	250	250	250	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	中学3年生時にCEFR A1レベル(英検3級以上)相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	47	54	60	60	60	%
	目標達成率(実績/目標)		98.2	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	6,284,863	0	7,288,604	0	7,288,604	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,284,863	0	7,288,604	0	7,288,604		
補助制度(名称, 補助率など)							

◎評価 (CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	中学3年生時にCEFR A1レベル(英検3級以上)相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 各種事業の実施方法変更や制限等があったにもかかわらず, 目標をおおむね達成できたことは, これまで積み重ねてきた取り組みの成果の現れであると考えます。		
	目標	55	%				
	実績	54	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	小中学校での授業改善のために, 教員対象の研修の機会を確保し, 市内全体で共通理解をしながら授業実践につながるようにする。また, 小中高連携外国語教育研究委員会で課題や取組を検討し, 各中学校区毎に交流や実践を行い, 小中高の円滑な連携につなげる。コロナ禍においても, 感染対策を実施しながら児童生徒の外国語教育に対するモチベーションの喚起として「イングリッシュキャンプ」や「世界で活躍する先輩からの出前授業」「We Love Narutoコンテスト」などを展開するとともに, 言語活動を中心とした授業改善の推進や英語力アップ対策講座を鳴門教育大学と連携しながら実施していき, 外国語が好きな児童生徒数や中学卒業時のCEFFR A1レベルの生徒数の増加を目指す。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で, 以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業の最終年度を迎えるため, 目標の達成に向けて, より充実した教員研修の確保や小中高連携ができるように小中高連携外国語教育研究委員会の場を効果的に活用する。学校や鳴門教育大学と連携し, 英語力アップ対策講座の参加者や英検受験者を増やし, 中学卒業時のCEFFR A1レベルの生徒数が6割達成を目指す。また, これまでの取組と成果について検証を行い, 事業の在り方について見直すとともに, 新プラン策定を目指す。			
	令和5年度	令和4年度に策定された新プランに基づき事業実施予定。			

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	GIGAスクール構想推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課 教育支援室			
総合計画体系				根拠法令計画など	文部科学省「教育の情報化ビジョン」「学校教育の情報化の推進に関する法律」			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	令和	2	年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると				終期		
(小項目)		教育行政						
施策	1	教育行政の充実						
基本事業	6	教育支援体制の充実						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input checked="" type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	令和元年度に示された「GIGAスクール構想」推進に向け、校内のICT環境を整備するとともに、教員がICT活用スキルを身に付ける取り組みを行う。								
実施方針	①新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして情報活用能力の育成が求められていることから、必要なICT環境を整備する。 ②整備したICT環境を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、教員の指導力の向上及び授業改善を図るための取り組みを行う。		事業内容(R3)	①文部科学省が提示している「学校のICT化に向けた環境整備5か年計画」が目標としている水準に基づき、特別教室や特別支援学級への大型提示装置・実物投影機の100%整備やICT支援員の配置に取り組んでいく。 ②教職員がタブレット端末を活用した効果的・効率的な授業ができるよう、鳴門教育大学と連携し、指導力向上を図るための研究や研修を積極的に行っていく。					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標	1	教員1人あたりがICT活用に関する研修を受講した回数		—	1.5	3	2	2	回
成果指標	指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
	教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICT活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合		—	60	65	70	75	%	
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	—	—	①ICT環境整備 ②教員向け研修・検討会実施	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	36,997	△ 5,868	31,129	38,202	24,713

◎当初からの変更点

変更内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業間流用(消耗品費・小学校費)1,409千円</li> <li>・事業間流用(消耗品費・中学校費)723千円</li> <li>・3月補正 備品購入費△8,000千円</li> <li>・特別支援学級用モニター・特別教室用モニター入札による執行額減</li> <li>・デジタル教科書不要による未執行</li> </ul>
------	--

事務事業名	GIGAスクール構想推進事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用委託支援事業としてICT支援員6名を配置</li> <li>校内ICT環境整備としてアクセスポイント更新(特別支援教室)、ワイヤレスディスプレイアダプター整備</li> <li>市内全小中学校の特別教室に65型モニター整備(各校2台完備)、児童生徒が3名以上在籍する全ての特別支援教室に42.5型モニター整備</li> <li>タブレット端末より出力できる学習系カラープリンタ整備</li> </ul>					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教員1人あたりがICT活用に関する研修を受講した回数	2.07	3	6	6	6	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICT活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合		78	83	88	90	95	%
	目標達成率(実績/目標)			127.7	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		349,969,620	0	29,722,765	0	29,722,765	
	財源内訳	国庫支出金	267,552,040	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	79,400,000	0	0	0	0	
その他		0	0	4,213,000	0	4,213,000		
一般財源		3,017,580	0	29,722,765	0	25,509,765		
補助制度(名称、補助率など)		その他:ふるさと活性化基金						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICT活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合		成果指標に対する所見	タブレット端末の活用が開始されたことにより、当初こそ不安の声もあったが、研修等により、多くの教員がICT活用の指導に必要な能力を概ね身に付けることができた。		
	目標	65	%				
	実績	83	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>教員が自身の児童生徒のICT活用を指導する能力を「ややできる」以上とした割合は、83%となり高水準であるが「できる」とした教員は29%にとどまっている。また、「あまりできない」とする教員も一定数おり、教員が受け持つ授業やクラスによってICT活用の頻度や程度に差ができてしまうことが懸念されている。今後、教員間のICT格差をなくしていくことに加え、取得した知識が授業に反映できるよう支援していく必要がある。またGIGAスクール構想は、ICT機器の整備と活用、双方の視点に立ち推進を図る必要があることから、現在持っているICT環境の水準が維持できるよう、導入経年に応じ機器の買換えやメンテナンスを行っていく必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 3.現状維持	<input type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	前年度に引き続き6名のICT支援員を配置し、ICTを積極的に活用した授業がスムーズに行えるよう支援していく。また、平時の持ち帰り等さらなる活用に向け、児童生徒・教員・保護者が安全なインターネット環境の下において安心してタブレット端末を使用できるよう「授業支援システム」の導入を行う。			
	令和5年度	前年度の活用状況や課題についての検討を図り、改善を行った上で継続実施する。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権教育推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成	4	年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		人権						
施策	1	人権の尊重						
基本事業	2	人権教育の推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	人権教育・啓発を推進し、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現をめざす。	
実施方針	①市主催人権問題研修会等の実施 ②人権教育推進協議会の活動支援 ③その他、人権教育啓発活動の実施	①市主催人権問題研修会等の実施 ・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ・人権教育研究大会(第一中学校区)の開催 ②人権教育推進協議会の活動支援 ・人権教育推進協議会との連携による啓発活動(研修会等)の実施 ・活動、運営補助 ③その他、人権教育啓発活動の実施 ・「広報なんと」を活用した人権啓発記事の掲載等 ・街頭啓発活動の実施

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市主催人権問題研修会等の実施回数	3	3	3	3	3	回
	2 人推協主催人権問題研修会等の実施回数	3	0	3	3	3	回
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数		970	220	1,100	1,100	1,100	人

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業の実施内容推移	各年度の実施(予定)内容 ①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会(瀬戸中学校区)の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会(瀬戸中学校区)の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会(瀬戸中学校区)の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	継続	継続

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	2,483	0	2,483	2,466	2,466

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	人権教育推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<p>○ 人権地域フォーラム(11/19)、ヒューマンライツメッセージなると(12/3)を開催した。          ○ 人権教育推進協議会の活動を本部役員会(4/16)、総会(6/1書面開催)、企業部会総会(6/8書面開催)において支援するとともに、人権啓発を協力して行なった。          ○ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載や企業部会独自の街頭啓発(11/10)、人権週間に合わせた街頭啓発(12/8)を行った。</p>					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 市主催人権問題研修会等の実施回数	2	2	3	3	3	回
	2 人推協主催人権問題研修会等の実施回数	0	0	3	3	3	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	220	158	1,100	1,100	1,100	人
	目標達成率(実績/目標)		14.4	—	—	—	%
事業費推移(円)	年度	令和2年度決算	令和3年度決算				
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計	2,275,250	0	2,331,826	0	2,331,826	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	317,000	0	322,000	0	322,000
		地方債	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0		
一般財源	1,958,250	0	2,009,826	0	2,009,826		
補助制度(名称、補助率など)	人権啓発活動地方委託事業						

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり		
成果指標に対する評価	指標名	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症対策のため、ほとんどの活動が書面開催となり、研修会等を開催できていない。人権に関する多くの課題が残されている中、すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会がその役割を果たせるよう、引き続き取り組む必要がある。
	目標	1,100	人		
	実績	158	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>新型コロナウイルス感染症に関連し、いわれなき偏見や差別が人々を苦しめている。インターネット上での誹謗・中傷をはじめとして、悪質な差別事象が後を絶たない。このような状況において、市人権教育推進協議会との連携を強固にし、人権地域フォーラムやヒューマンライツメッセージなると、市人権教育研究大会における人権問題研修会の開催や、広報なるとへの記事掲載、街頭啓発などを通して、「部落差別解消推進法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。          研修会等への参加者が固定化している現状もあり、広く市民に伝わる理解しやすい内容とするなど、啓発方法の研究と改善に取り組む必要がある。</p>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな差別事象の抑止に向け、人権啓発活動に引き続き取り組む。</li> <li>あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるよう、研修テーマや方法などの検討を行う。</li> <li>人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。</li> <li>より多くの市民の人権学習機会の創出のため、人権推進課と協働で人権フェスティバルを開催する。</li> </ul>			
	令和5年度	令和4年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会教育法			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	昭和	36	年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると						
(小項目)		生涯学習			終期	未定		
施策	1	生涯学習の推進						
基本事業	1	学習活動の推進						
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	女性学級・成人学級・高齢者学級および公民館短期講座を開設することにより、市民の多様な学習ニーズに応え、自主的な学習を通じて市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことができる環境を作る。	
実施方針	①社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと、学級長を中心に円滑な学級運営を行うとともに、適宜、社会教育指導員が助言・サポートを行うことで学習内容の充実を図る。 ②公民館短期講座については、市民の興味関心の高い分野に焦点を当てたテーマ学習を引き続き取り入れることにより、多様な学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。	事業内容(R3) ① 女性学級 10学級 ② 成人学級 4学級 ③ 高齢者学級 8学級 ④ 公民館短期講座 2講座 学級・講座開催に当たっては、市内社会教育施設の積極的な活用を併せて図る。

指標名		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 学級開設数	22	22	24	24	25	学級
	2 学級参加延人数	2,988	1,860	2,300	3,300	3,400	人
成果指標		令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
<small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	学級学習の内容を有意義と思った割合	100	99.0	99.0	99.0	99.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各年度の実施(予定)内容	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①各種学級の増設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	530	0	530	535	535

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業
-------	-----------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容		1. 女性学級9、成人学級4、高齢者学級9の計22学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートにより学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習のサポートに努めた。 2. 公民館短期講座では、女性を対象としたライフスタイル講座と、鳴門市で実施された各分野の注目すべき調査研究成果や、最新の学術研究成果について学ぶ、歴史文化講座の2講座を開設した。 3. 学習満足度・ニーズ等をアンケートにより把握し、学級長や公民館長に結果を還元した。 4. 令和4年度から各種学級での学習をSDGsの各目標と結び付けて進めていくため、専門の講師を招いた全学級対象の研修会を実施した。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	学級開設数	22	24	25	25	26	学級
	2	学級参加延人数	1,942	2,140	2,500	3,300	3,500	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	学級学習の内容を有意義と思った割合		100.0	99	99	99	99	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
事業費推移(円)	年度		令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		295,924	0	380,774	0	380,774	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		295,924	0	380,774	0	380,774		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合		成果指標に対する所見	学級・講座終了時に受講者を対象に実施したアンケート調査においては、学習内容について「大変よかった」「よかった」と回答したものの割合が成果指標以上であり、高い満足度を得ている。		
	目標	99	%				
	実績	99	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	1. 各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材確保、資質向上が必要である。 2. 学習内容のマンネリ化を防ぐため、学級生・受講者のニーズに応えた様々な学習内容を積極的に取り入れる必要がある。 3. 各種学級の開設は、特定の熱意ある学級長に依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が必要である。 4. 新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知方法の見直しを常に行うことが大切である。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	各種学級の講座の構成や内容について常に見直しを行い、受講生のニーズに沿った学級の開設をめざす。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設に引き続き取り組むとともに、周知方法についても多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。			
	令和5年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しを行い、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館活用推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると				
(小項目)		生涯学習			終期	未定
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	2	公民館活動の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求		

◎事業概要(PLAN)

目的	公民館を地域活動の拠点として実生活に即した教育、学術、文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。								
実施方針	①地域の特色を活かした運営体制づくり ②利活用の促進		事業 内容 (R3)	①地域の特色を活かした運営体制づくり ・管理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行う ②利活用の促進 ・公民館短期講座の継続実施 ・社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ・快適な利用ができるよう必要な設備導入、施設修繕、備品購入を実施					
指標名				令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	公民館で開催している学級数		18	18	19	19	20	学級
	2								
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	公民館の利用者数		73,282	34,000	41,000	83,000	87,500	人	
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	各年度の実施(予定)内容	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②齋田、里浦公民館自動ドア修繕等 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②板東公民館エアコン修繕、北泊公民館ペランダ修繕等 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施 ④利用者向けインターネット設備の導入	継続	継続			

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	29,893	△ 37	29,856	28,499	26,810

◎当初からの変更点

変更内容	3月補正△37千円 新型コロナウイルスの影響による公民館研修集会の中止のため
------	---

事務事業名	公民館活用推進事業
-------	-----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		①地域の特色を活かした運営体制づくり ・管理業務の一部を地域に委託し、地域の実情に即した活動・運営を行う  ②利活用の促進 ・公民館短期講座の継続実施 ・社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ・快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施 ・利用者向けWi-Fi環境整備					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	公民館で開催している学級数	18	19	20	20	21	学級
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	公民館の利用者数		35,811	40,385	43,000	78,300	78,300	人
	目標達成率(実績/目標)			98.5	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		27,068,928	0	29,185,963	218,768	29,404,731	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
その他		684,265	0	641,296	0	641,296		
一般財源		26,384,663	0	28,544,667	218,768	28,763,435		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	公民館の利用者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響から、目標数値を見直したものの、感染予防を適切に実施した結果、利用者は前年度より増加し、概ね目標は達成できた。また、公民館で実施する各種学級が1学級増加するなど、学習機会の創出に努めた。		
	目標	41,000	人				
	実績	40,385	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られるため、さまざまな年齢や性別の方が利用できるような取組が必要である。 ②施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備を進める必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③新規公民館短期講座の実施			
	令和5年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施			

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後子供教室推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課			
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成	19	年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると				終期		
(小項目)		生涯学習						
施策	1	生涯学習の推進						
基本事業	3	青少年健全育成の推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無				
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求				

◎事業概要(PLAN)

目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちがスポーツ・文化活動や勉強、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		事業 内容 (R3)	①市内9小学校区で放課後子供教室を引き続き開設し、安定した教室運営をめざす。 ②各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的に開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行う。 ③放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催する。 ④人材確保策の一環として、大学生等に対し、活動の周知・勧誘チラシを配布する。				
実施方針	①地域の特色や人材を活かした様々な体験活動や交流活動を通して、子ども達の安全で安心な居場所づくりを進める。 ②実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者・活動場所の確保を進める。 ③国の「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえて、放課後児童クラブとの一体的または連携した実施を進める。							
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教室の実施回数	536	484	590	610	610	回
	2	教室の参加児童数	466	383	400	420	420	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
放課後子供教室利用者の延人数			14,656	13,000	16,000	16,500	16,500	人
事業の実施内容 推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	①8小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置	①8小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①9小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置	①9小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①10小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置		

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	6,583	0	6,583	7,013	7,540

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	放課後子供教室推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和3年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内9小学校区で放課後子供教室を開設した。</li> <li>○ 各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を年4回開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。</li> <li>○ 放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。</li> <li>○ 安定した人材の確保を図るため、指導者の謝金単価の引き上げを行った。</li> <li>○ 放課後子ども運営実行委員会を10月と3月に開催した。</li> <li>○ 「感染防止対策集中取組期間」に合わせ、R4.2/21～3/5の間、事業を中止した。その他、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定よりも61回分実施回数が少なくなった。</li> </ul>					
	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 教室の実施回数	480	485	575	595	605	回
	2 教室の参加児童数	560	599	500	520	520	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	放課後子供教室利用者の延人数	12,733	11,472	15,200	15,700	16,000	人
	目標達成率(実績/目標)		71.7	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算				
			令和2年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費
	計		5,542,686	0	5,406,931	0	5,406,931
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	3,695,000	0	3,604,000	0	3,604,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		1,847,686	0	1,802,931	0	1,802,931	
補助制度(名称、補助率など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県社会教育事業補助金(県補助金 1/3)</li> <li>・学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(国 1/3 ※県間接補助)</li> </ul>					

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響を受け、実施回数が予定よりも61回分少なくなり、目標が未達成となった。延べ人数は少ないものの、児童の登録数は前年度から増加しているため、計画どおり進められたら達成できていたと思われる。		
	目標	16,000	人				
	実績	11,472	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加への対応や教室の継続運営、新規教室を開設するための人材確保の方策が必要。</li> <li>・児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。</li> <li>・更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実情の確認が必要。</li> </ul>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現在開設している放課後子供教室の安定した運営及び更なるプログラムの充実を図るとともに、新たな放課後子供教室の開設や、放課後児童クラブとの連携強化に向けて、地域の団体・機関等と調整を行う。</li> <li>②実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。</li> <li>③放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。</li> <li>④人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。</li> <li>⑤安定した人材を図るため、謝金単価の引き上げを行う。</li> </ul>			
	令和5年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に働きかけ、引き続き指導者及び活動場所の確保に努める。			



◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業	担当部署	図書館		
総合計画体系				根拠法令計画など	なし		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業期間	開始	平成 15 年度	
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると				終期	未定
(小項目)		図書館					
施策	2	市民参加の図書館運営の推進					
基本事業	2	市民参加の図書館運営の推進とサービス向上					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無				<input type="checkbox"/> なんと未来づくり総合戦略2020掲載の有無			
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求				<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求			

◎事業概要(PLAN)

目的	図書館業務の一部業務委託等により、NPO法人との協働による運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。		事業内容(R3)					
実施方針	NPO法人との協働により、多くの市民が参加できる効率的な図書館運営に努めるとともに、移動図書館車を有効利用し市民サービスの向上に努める。			①定期的に「鳴門市立図書館運営連絡会」を開催し、教育委員会及び市立図書館とNPO法人との相互共通認識を深めつつ協働運営を行う。 ②毎月の館内整理日に市職員とNPO法人が研修及び図書館業務の確認等、日常業務についても意思の疎通を図り連携を深めることで効率的な図書館運営を行う。 ③リニューアルされた館内施設や移動図書館車を有効活用し、市民サービスの向上に努める。				
指標名			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ボランティアの正会員数	140	140	140	140	140	人
	2	図書館での行事件数	202	76	270	270	270	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>			令和元年度実績	令和2年度実績見込	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
行事に参加した人数			3,408	800	3,000	5,000	5,000	人
事業の実施内容推移	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	各年度の実施(予定)内容	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	

◎事業費

年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移(千円)	27,699	0	27,699	27,699	27,699

◎当初からの変更点

変更内容	
------	--

事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業
-------	---------------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	令和3年度実施内容		NPO法人との協働による図書館運営により、市民の視点に立ったきめ細やかなサービスを提供した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定期間臨時休館するとともに館内の利用制限を実施した。 来館者には、マスクの着用や手指の消毒、検温のほか、連絡先記入用紙への氏名や体温等の記入に協力してもらった。さらに、書籍消毒機により、返却された本を消毒し、感染拡大の防止に努めた。 なお、休館時は、普段でき難い書庫整理や書架整理、傷んだ本の修理作業などを行った。					
	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ボランティアの正会員数	140	122	140	140	140	人
	2	図書館での行事件数	158	154	270	270	270	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	行事に参加した人数		1,615	1,587	5,000	5,000	5,000	人
	目標達成率(実績/目標)			52.9	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和3年度決算					
			令和2年度決算	令和3年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和4年度への繰越額	最終事業費	
	計		25,410,000	0	27,698,400	0	27,698,400	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		25,410,000	0	27,698,400	0	27,698,400		
補助制度(名称、補助率など)								

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	行事に参加した人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベントの中止で、行事件数や参加人数が減少した。		
	目標	3,000	人				
	実績	1,587	人				
	評価	C:あまり目標を達成できなかった					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	利用者からの専門的かつ多岐にわたる要望や図書館の運営業務があるが、NPO法人や市職員の限られた職員数の中、サービスを後退させることなく、円滑な図書館運営業務に努めている。日ごろから図書館運営に携わる者が、より良い図書館運営に向けて、意見交換や情報共有を行う必要がある。				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1.廃止	<input type="checkbox"/> 2.要改善	<input type="checkbox"/> 3.現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 4.現状維持(新型コロナ)	<input type="checkbox"/> 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和4年度	NPO法人に図書館業務の一部業務委託を行う協働による図書館運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。策定された「鳴門市子どもの読書活動推進計画(第4次推進計画)」について、全般的な進捗管理や図書館が担当となる取組の効果的な実施に努める。			
	令和5年度	NPO法人に図書館業務の一部業務委託を行う協働による図書館運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。策定された「鳴門市子どもの読書活動推進計画(第4次推進計画)」について、全般的な進捗管理や図書館が担当となる取組の効果的な実施に努める。			

## 【参考】令和3年度決算における入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

### ■入湯税

入湯税は地方税法第701条の規定により以下のような費用に充てるものとされています。

- ・環境衛生施設の整備
- ・観光施設の整備
- ・鉱泉源の保護管理施設の整備
- ・観光振興
- ・消防施設等の整備

#### 〈令和3年度 入湯税の使途状況〉

区分	事業名	事業費	当該事業の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源等	
						入湯税	その他
観光施設の整備	観光情報センター管理費	22,680	-	-	409	6,445	15,826
観光振興	鳴門市うずしお観光協会補助金	18,000	-	-	-	6,000	12,000
合計		40,680	-	-	409	12,445	27,826

※「令和3年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」（令和3年1月20日総務省事務連絡）により、入湯税の趣旨を踏まえ、「入湯税収の具体的事業費への充当について予算書、決算書の事項別明細書あるいは説明資料等において明示することにより、その使途を明確にすること」とあることから、使途を明示するものです。

### ■引上げ分の地方消費税交付金

引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる「社会保障4経費」、「その他社会保障施策に要する経費」については、次のとおりです。

（歳入）	地方消費税交付金（社会保障財源化分）	701,213 千円
（歳出）	社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	10,198,215 千円

#### 〈令和3年度 引上げ分の地方消費税交付金の使途状況〉

（単位：千円）

事業名	経費	財源内訳				うち引上げ分の地方消費税交付金
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	地方債	その他		
社会福祉	障がい者福祉事業	2,077,094	1,642,655	-	434,439	701,213
	高齢者福祉事業	59,242	-	-	10,786	
	児童福祉事業（母子父子福祉事業含む）	3,593,719	2,673,204	-	127,448	
	生活保護扶助事業	1,279,647	991,867	-	287,780	
	小計	7,009,702	5,307,726	-	138,234	
社会保険	国民健康保険事業	630,443	302,390	-	328,053	
	後期高齢者医療事業	1,168,325	175,361	-	992,964	
	介護保険事業	1,046,762	79,795	-	966,967	
	小計	2,845,530	557,546	-	2,287,984	
保健衛生	救急医療対策事業	13,979	-	-	13,979	
	予防接種事業	245,240	131,533	-	113,707	
	母子保健事業	57,605	5,727	-	1,155	
	健康増進事業	26,159	2,762	-	23,397	
	小計	342,983	140,022	-	201,806	
合計	10,198,215	6,005,294	-	139,389	4,053,532	701,213

※「引上げ分に係る地方消費税収の使途の明確化について」（平成26年1月24日総務省通知）により、消費税率の引上げにより増加した地方消費税交付金の充当について、使途を明示したものです。

